

杉並区子ども・子育て支援事業の
利用状況等に関する調査報告書

平成31年3月
杉 並 区

第1章 調査の概要	3
1. 調査の目的	3
2. 調査の方法	3
3. 調査の内容	3
4. 回収結果	4
5. 地域区分	4
6. 報告書の見方	4
第2章 就学前児調査の結果	7
1. 家族の状況	7
(1) 宛名の子ども年齢	7
(2) 宛名の子ども家族	8
(3) 居住地	10
(4) 記入者	12
(5) 保護者の状況	13
2. 子育ての環境	14
(1) 子育てを主に行っている人	14
(2) 子育てをする上での心配や悩み	15
(2-1) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無	17
(2-2) 子育てに関しての相談先	19
3. 保護者の就労状況	25
(1) 保護者の就労状況	25
(1-1) 1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間	29
(1-2) 就労している曜日	30
(1-3) 出勤時刻と帰宅時刻	31
4. 保育園・幼稚園等の利用状況	32
(1) 保育園・幼稚園等の利用状況	32
(1-1) 定期的に利用している施設・事業	33
(1-2) 施設・事業の現在の利用頻度	35
(1-3) 延長保育の利用	37
(1-4) 施設・事業を利用していない理由	39

5. 一時預かり等の利用状況	40
(1) 不定期に利用している預かり事業	40
(1-1) 不定期に預かり事業を利用している理由	42
(1-2) 利用した施設・事業の実施場所	48
(1-3) 不定期の預かり事業を利用していない理由	50
(2) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無	53
(2-1) 宿泊を伴って子どもを預けた際の行動	54
(2-2) 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった理由	55
6. 子どもの病気の際の対応	56
(1) 子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無	56
(1-1) 施設・事業が利用できなかったときの対応	57
(1-2) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望	59
(1-3) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由	60
7. 地域での親子の集まりの利用状況	61
(1) 親子が集まって過ごす事業の利用状況	61
(1-1) 施設・事業を利用した際に大事だと思った点	66
8. 杉並区の子育てについて	67
(1) 杉並区の子育てのしやすさ	67
(2) 杉並区での子育ての継続意向	68
(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見	69
第3章 小学生調査の結果	75
1. 家族の状況	75
(1) 宛名の子どもの学年	75
(2) 宛名の子どもが家族	76
(3) 居住地	78
(4) 記入者	80
(5) 保護者の状況	80
2. 子育ての環境	81
(1) 子育てを主に行っている人	81
(2) 子育てをする上での心配や悩み	82
(2-1) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無	83
(2-2) 子育てに関しての相談先	84
3. 保護者の就労状況	91
(1) 保護者の就労状況	91
(1-1) 1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間	92
(1-2) 就労している曜日	93
(1-3) 出勤時刻と帰宅時刻	94

4. 子どもの放課後の過ごし方	95
(1) 現在の放課後の過ごし方	95
(1-1) 学童クラブの長期休暇中の利用	99
(2) 学童クラブを利用しない理由	101
5. 一時預かり等の利用状況	103
(1) この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験の有無	103
(1-1) この1年間に保護者の私用で子どもを預けた際の行動	104
(2) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無	105
(2-1) 宿泊を伴って子どもを預けた際の行動	106
6. 杉並区の子育てについて	107
(1) 杉並区の子育てのしやすさ	107
(2) 杉並区での子育ての継続意向	108
(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見	109
第4章 調査票	111

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に規定されている子ども・子育て支援事業計画（第二期）の策定にかかる検討にあたって必要とする、地域の子育てに関するニーズ及び利用状況の調査、現状の分析及び課題の整理並びに必要となる資料の作成を行うことを目的に実施した。

2. 調査の方法

- | | |
|--------------------|--|
| (1) 調査区域 | 杉並区全域 |
| (2) 調査対象者
及び標本数 | ①就学前の児童が属する世帯 4,800票（各歳児800票）
②小学生の児童が属する世帯 4,800票（各歳児800票） |
| (3) 抽出方法 | 住民基本台帳からの無作為抽出 |
| (4) 調査方法 | 郵送配布・郵送回収 |
| (5) 調査期間 | 平成31年1月7日（月）～1月28日（月） |
| (6) 調査機関 | 株式会社サーベイリサーチセンター |

3. 調査の内容

①就学前調査

- (1) 家族の状況
- (2) 子育ての環境
- (3) 保護者の就労状況
- (4) 保育園・幼稚園等の利用状況
- (5) 一時預かり等の利用状況
- (6) 子どもの病気の際の対応
- (7) 地域での親子の集まりの利用状況
- (8) 杉並区の子育てについて

②小学生調査

- (1) 家族の状況
- (2) 子育ての環境
- (3) 保護者の就労状況
- (4) 子どもの放課後の過ごし方
- (5) 一時預かり等の利用状況
- (6) 杉並区の子育てについて

4. 回収結果

調査票種別	調査票発送数	有効回収数	有効回収率
①就学前児調査票	4,800	2,978	62.04%
②小学生調査票	4,800	2,893	60.27%

5. 地域区分

本調査では、区民の通勤、買い物などの日常行動圏域として駅勢圏中心に設定した7地域を使用している。

井草地域	西武新宿線沿線の上井草、井荻、下井草の3駅の周辺地域
西荻地域	JR中央線の西荻窪駅の周辺地域
荻窪地域	JR中央線の荻窪駅の周辺地域
阿佐谷地域	JR中央線の阿佐ヶ谷駅の周辺地域
高円寺地域	JR中央線の高円寺駅の周辺地域
高井戸地域	京王井の頭線の久我山、富士見ヶ丘、高井戸、浜田山の4駅の周辺地域
方南・和泉地域	京王井の頭線の西永福、永福町の2駅と地下鉄丸ノ内線の方南町駅の周辺地域

6. 報告書の見方

- (1) 図表中の「n」は、各質問の回答者数を表す。
- (2) 選択肢の回答の比率はnを100.0%として算出し、小数点第2位を四捨五入して示した。
したがって、すべての選択肢の比率を合計しても、必ずしも100.0%ちょうどにならない場合がある。
- (3) 複数回答の質問では、すべての選択肢の比率を合計すると、通常100.0%を超える。
- (4) 実数値の記入を求めた質問では回答の平均値を表示しているが、この平均値は、nから無回答の人数を差し引いた数を母数として算出した。
- (5) クロス集計表による分析では、居住地域などの属性となる質問に無回答であっても、各質問の全体の回答には含まれるが、属性となる質問に無回答である集団の比率は割愛して示した。したがって、属性の各項目の該当者数を合計しても、全体の回答者数と一致しない場合がある。
- (6) 回答者数が10に満たないものについては、図示するに留め、この報告書の中では特に取りあげていない場合がある。

第2章 就学前児調査の結果

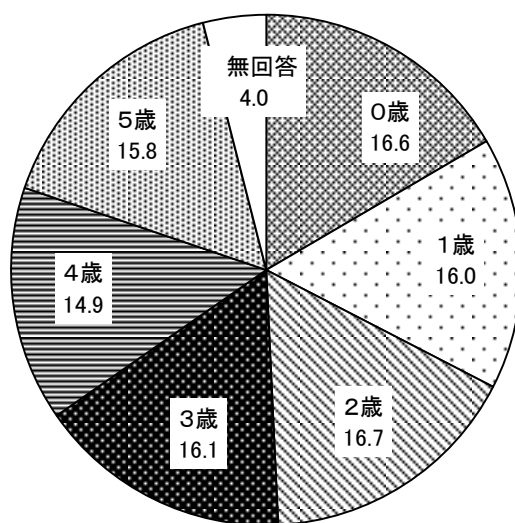
第2章 就学前児調査の結果

1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの年齢

問1 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

図表1-1



n = 2978

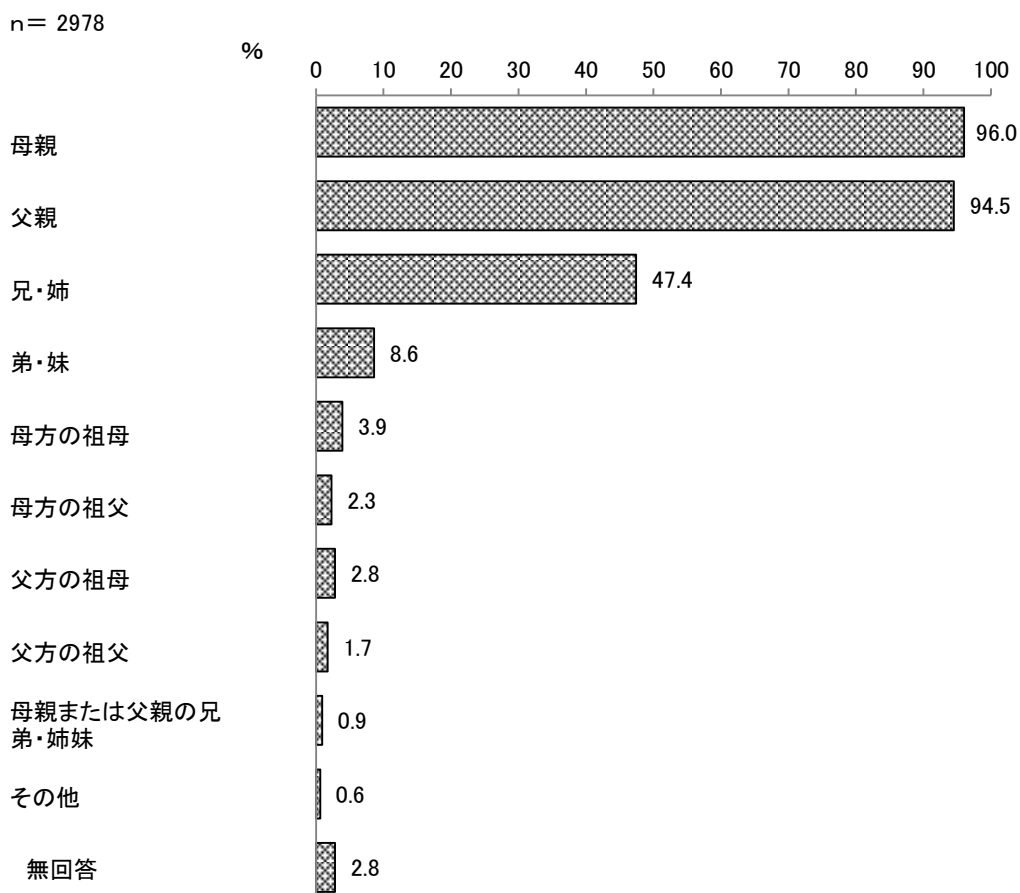
%

宛名の子どもの年齢は、どの年齢も1割半ばとなっており、おおむね均等に回答が得られた。
(図表1-1)

(2) 宛名の子どもの家族

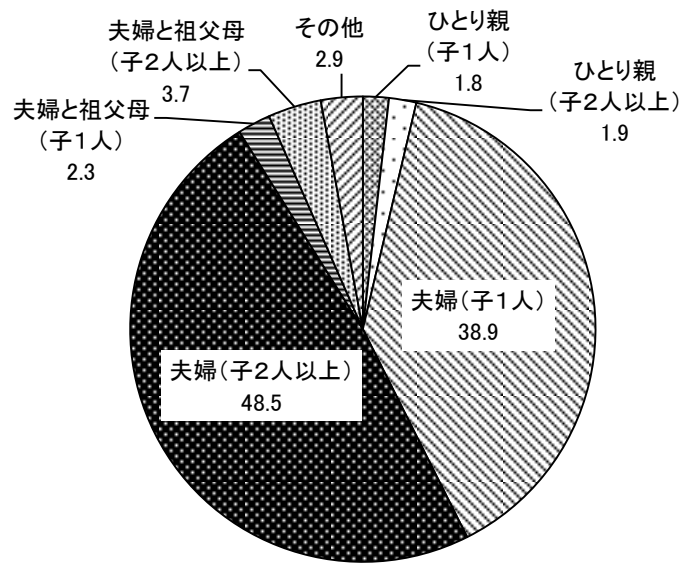
問2 宛名のお子さんのご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。
ご家族とは、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。
※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

図表 1 - 2



宛名の子どもの家族は、「母親」が96.0%で最も高く、次いで「父親」が94.5%、「兄・姉」が47.4%となっている。(図表 1 - 2)

図表 1-3 宛名の子どもの家族（家族構成）



n = 2978

%

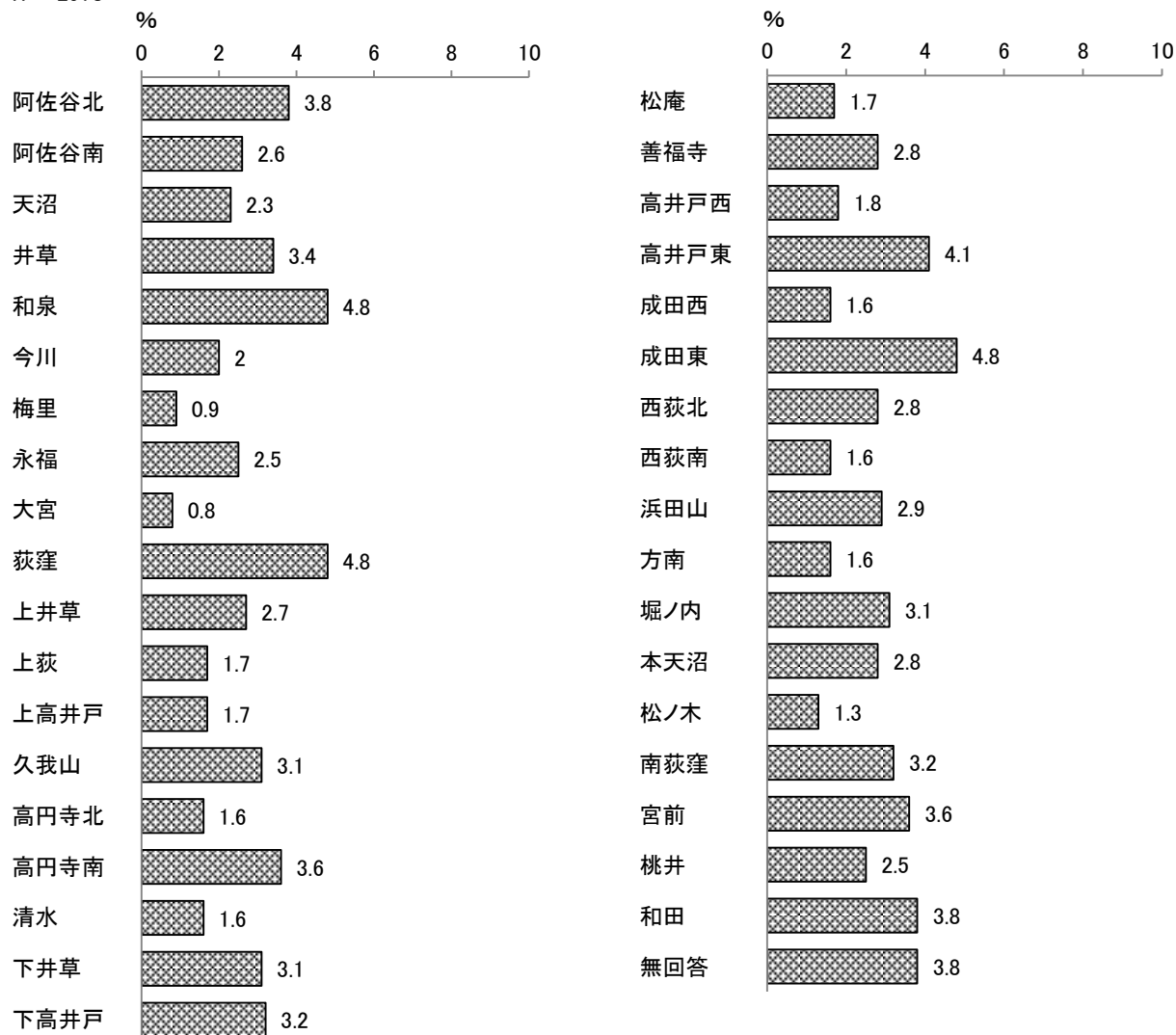
宛名の子どもの家族の家族構成は、「夫婦（子2人以上）」が48.5%で最も高く、次いで「夫婦（子1人）」が38.9%となっている。（図表1-3）

(3) 居住地域

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけてください。

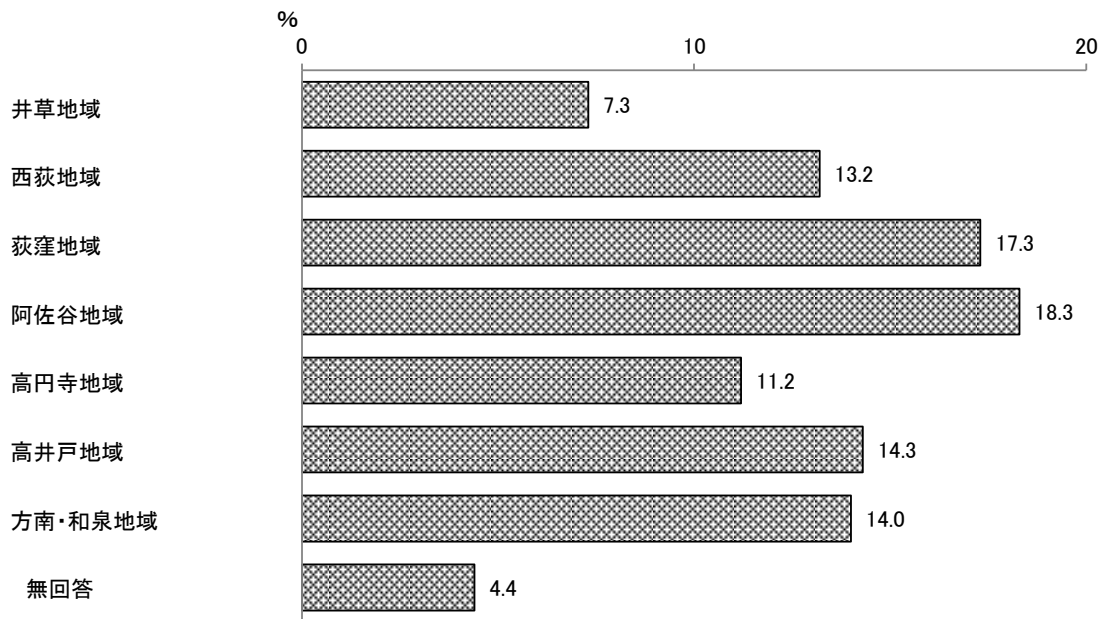
図表1-4

n = 2978



図表 1 - 5 居住地域（7地域別）

n = 2978

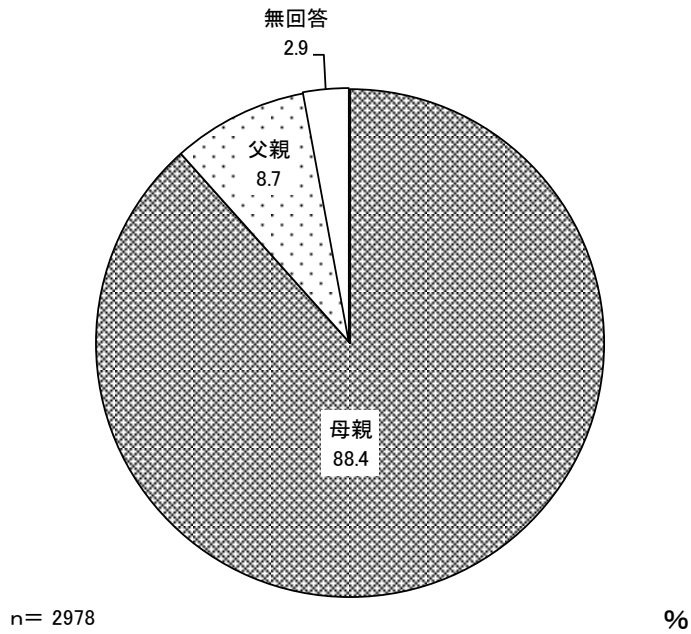


※居住地域の分類は、町名と丁目の結果を用いて行った。町名、丁目のいずれかが無回答の場合は、「無回答」に分類しているため、10 ページの居住地域の結果と無回答の割合が異なる。

(4) 記入者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表1-6

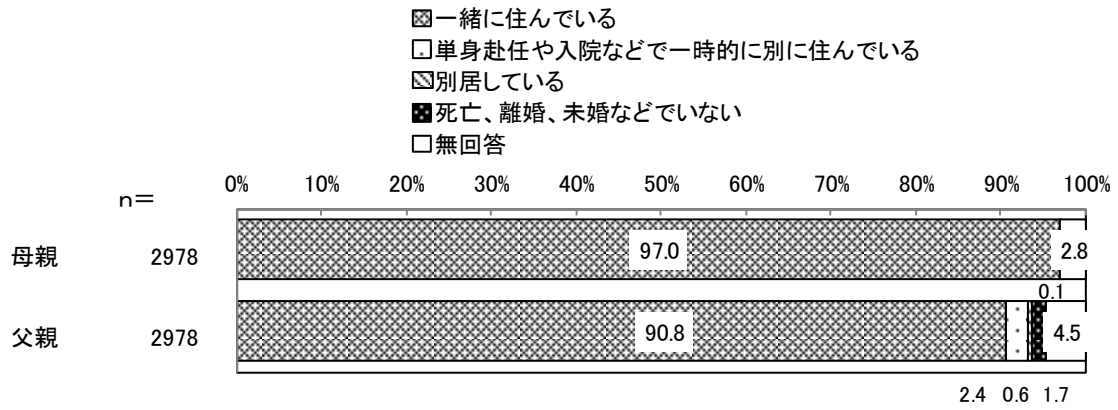


記入者は、「母親」が88.4%で最も高くなっている。(図表1-6)

(5) 保護者の状況

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

図表 1-7



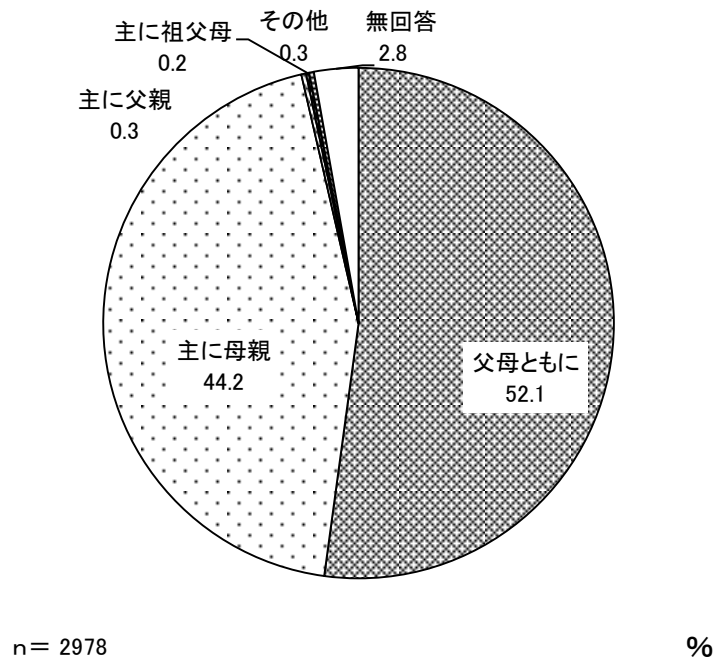
保護者の状況は、母親・父親ともに、「一緒に住んでいる」が最も高くなっている。(図表 1-7)

2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人

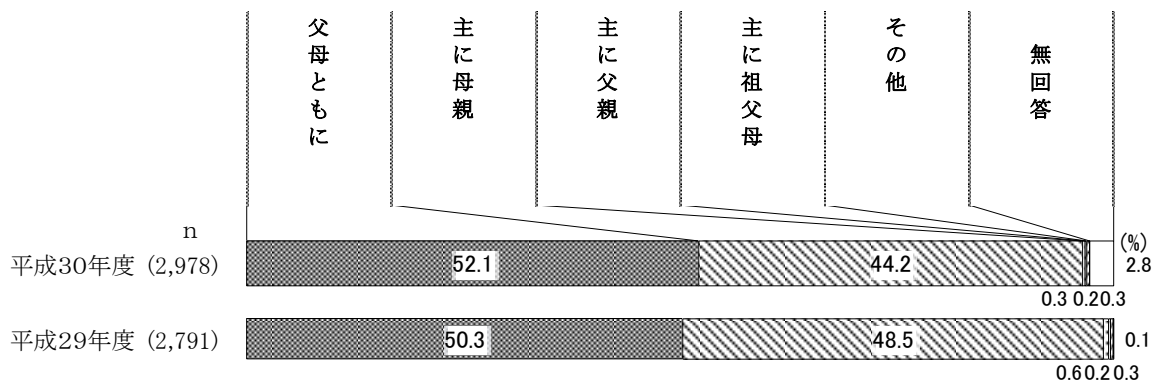
問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表2-1



子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が 52.1%で最も高く、次いで「主に母親」が 44.2%となっている。(図表2-1)

図表2-2 子育てを主に行っている人(経年比較)

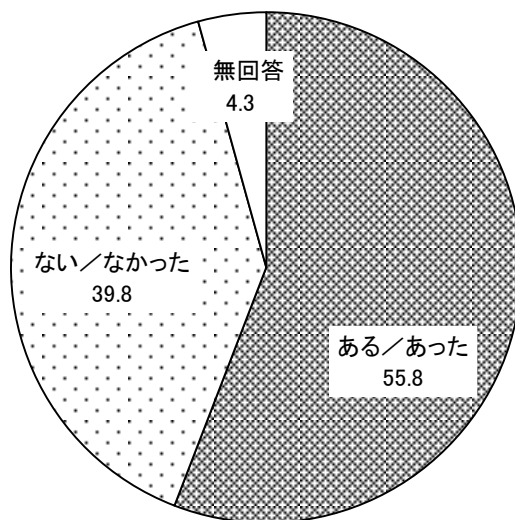


前回調査(平成29年度)と比較すると、「父母ともに」は1.8ポイントとわずかではあるが増加している。(図表2-2)

(2) 子育てをする上での心配や悩み

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表2-3

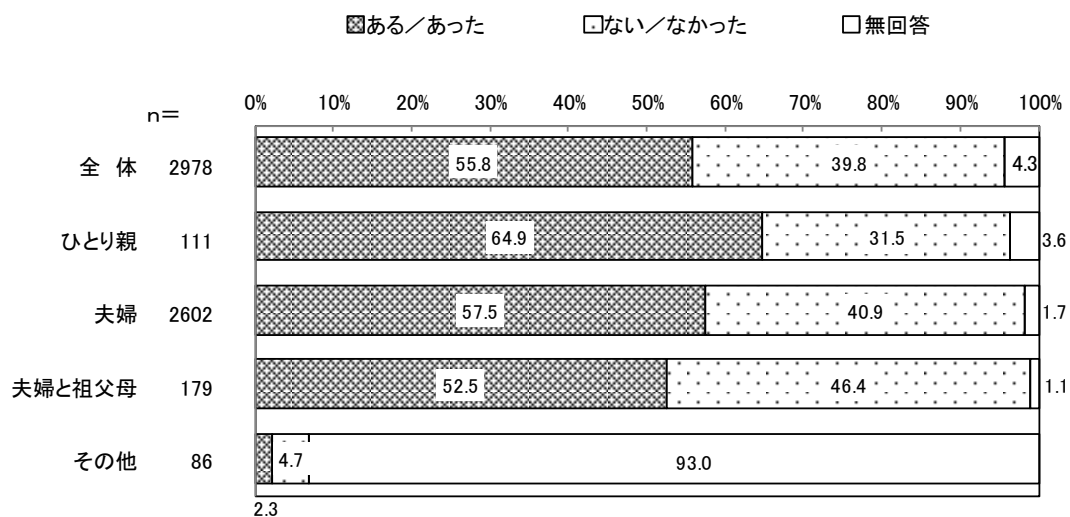


n = 2978

%

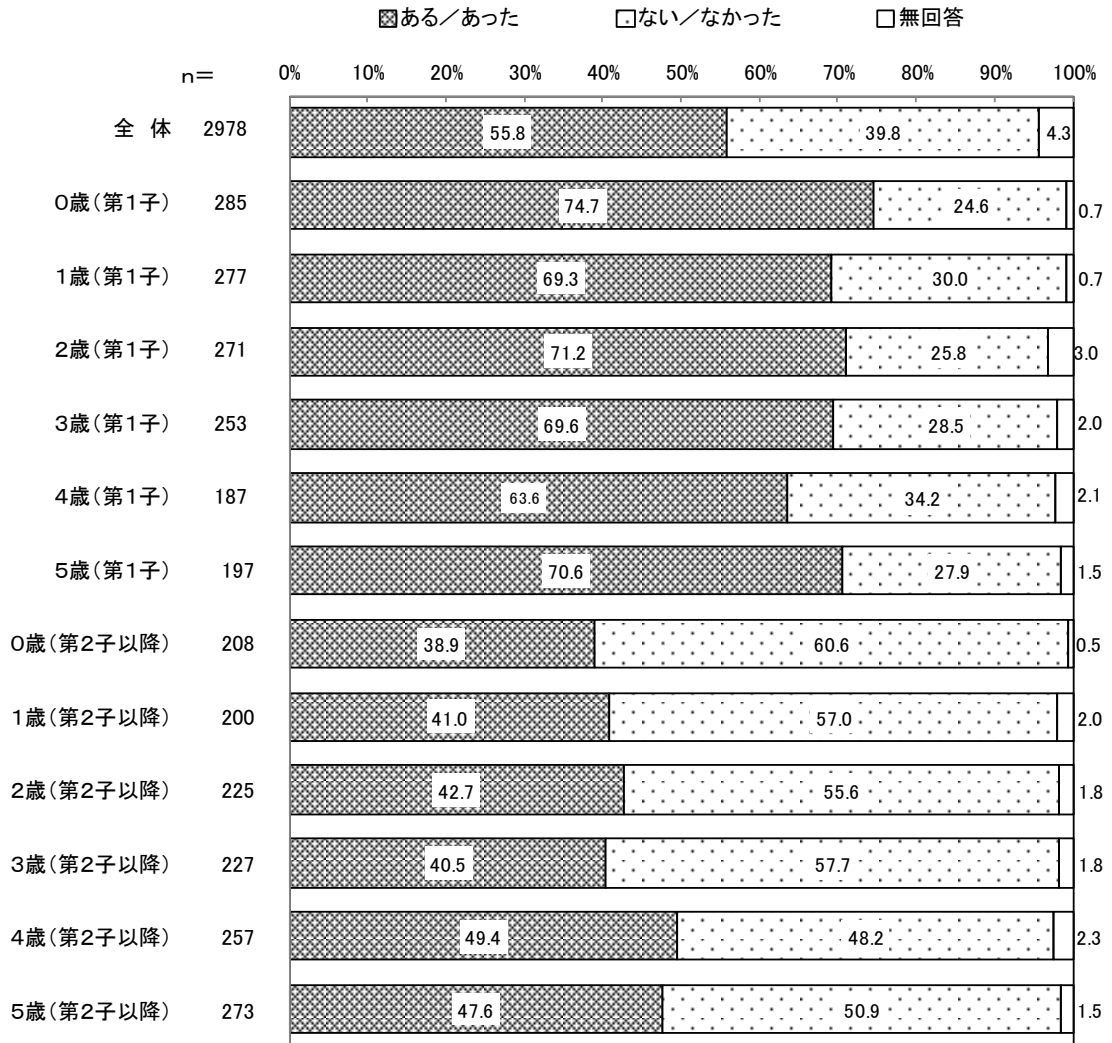
子育てをする上での心配や悩みは、「ある/あった」が 55.8%、「ない/なかった」が 39.8%となっている。(図表2-3)

図表2-4 子育てをする上での心配や悩み(家族構成別)



家族構成別にみると、どの家族構成でも心配や悩みが「ある/あった」が「ない/なかった」を上回っているが、ひとり親は64.9%で他の層よりも高くなっている。(図表2-4)

図表 2-5 子育てをする上での心配や悩み（子どもの年齢・出生順位別）

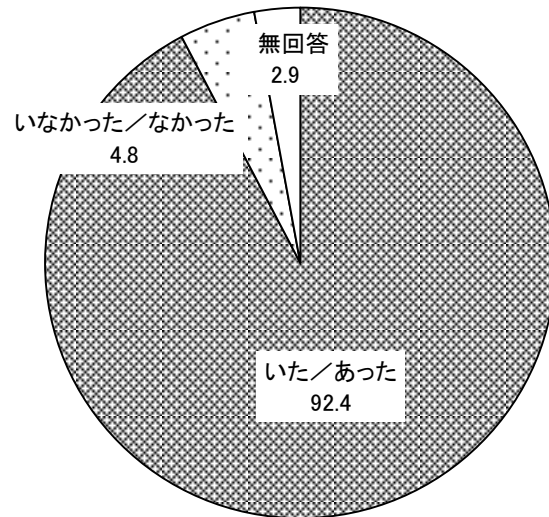


子どもの年齢・出生順位別にみると、第1子はその年齢でも、心配や悩みが「ある/あった」が「ない/なかった」を上回っている。一方、第2子以降はその年齢でも、心配や悩みが「ない/なかった」が「ある/あった」をおおむね上回っている。しかし、4歳（第2子以降）、5歳（第2子以降）は「ある/あった」が半数近くと、第2子以降の他の年齢よりも高い傾向にある。（図表2-5）

(2-1) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無

問7-1 宛名のお子さんの子育てをする上での悩みなどについて、相談できる人はいましたか。または、相談できる場所がありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表2-6

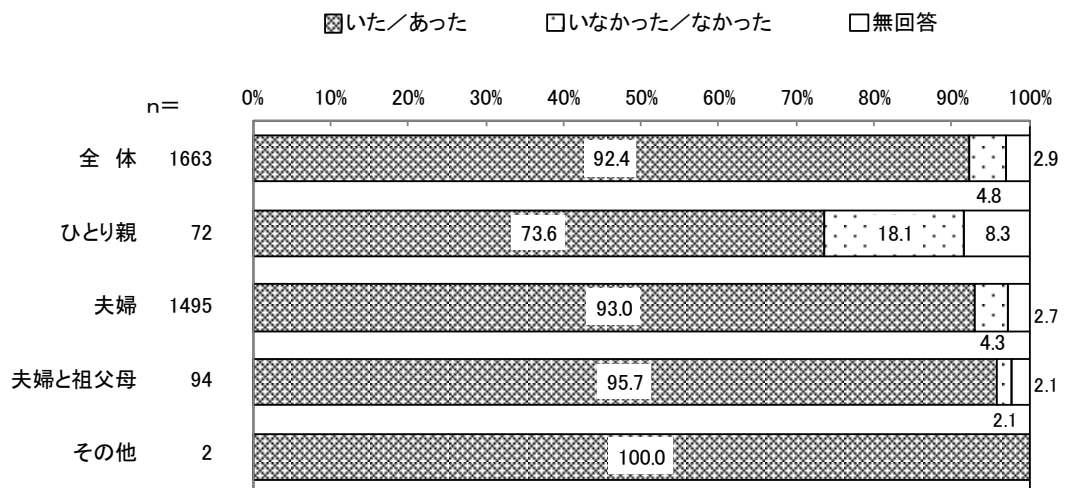


n = 1663

%

子育てに関して気軽に相談できる相手の有無は、「いた/あった」が 92.4%、「いなかった/なかった」が 4.8%となっている。(図表2-6)

図表 2-7 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無（家族構成別）



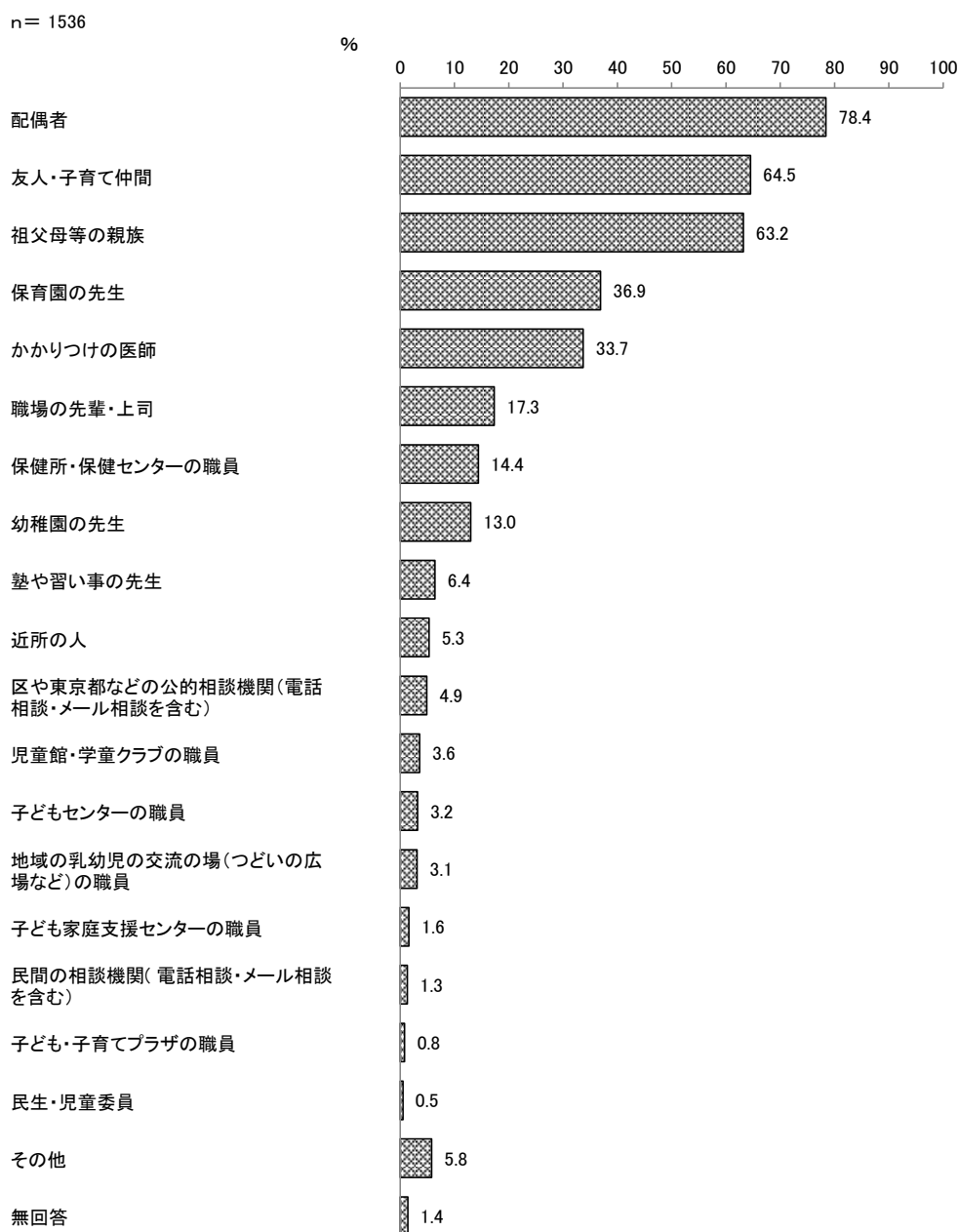
家族構成別にみると、ひとり親は気軽に相談できる相手が「いなかった/なかった」が18.1%で他の層よりも高くなっている。(図表 2-7)

(2-2) 子育てに関する相談先

(問7-1で、「1 いた/あった」に○をつけた方にうかがいます。)

問7-2 今年度(平成30年4月1日~12月31日)に、お子さんの子育てに関して相談した先は誰(どこ)ですか。当てはまるものすべてに○をつけて、[]内に相談した内容を下の表から選んで、番号(複数可)を記入してください。

図表2-8



子育てに関する相談先は、「配偶者」が78.4%で最も高く、次いで「友人・子育て仲間」が64.5%、「祖父母等の親族」が63.2%となっている。(図表2-8)

図表 2-9 相談した内容

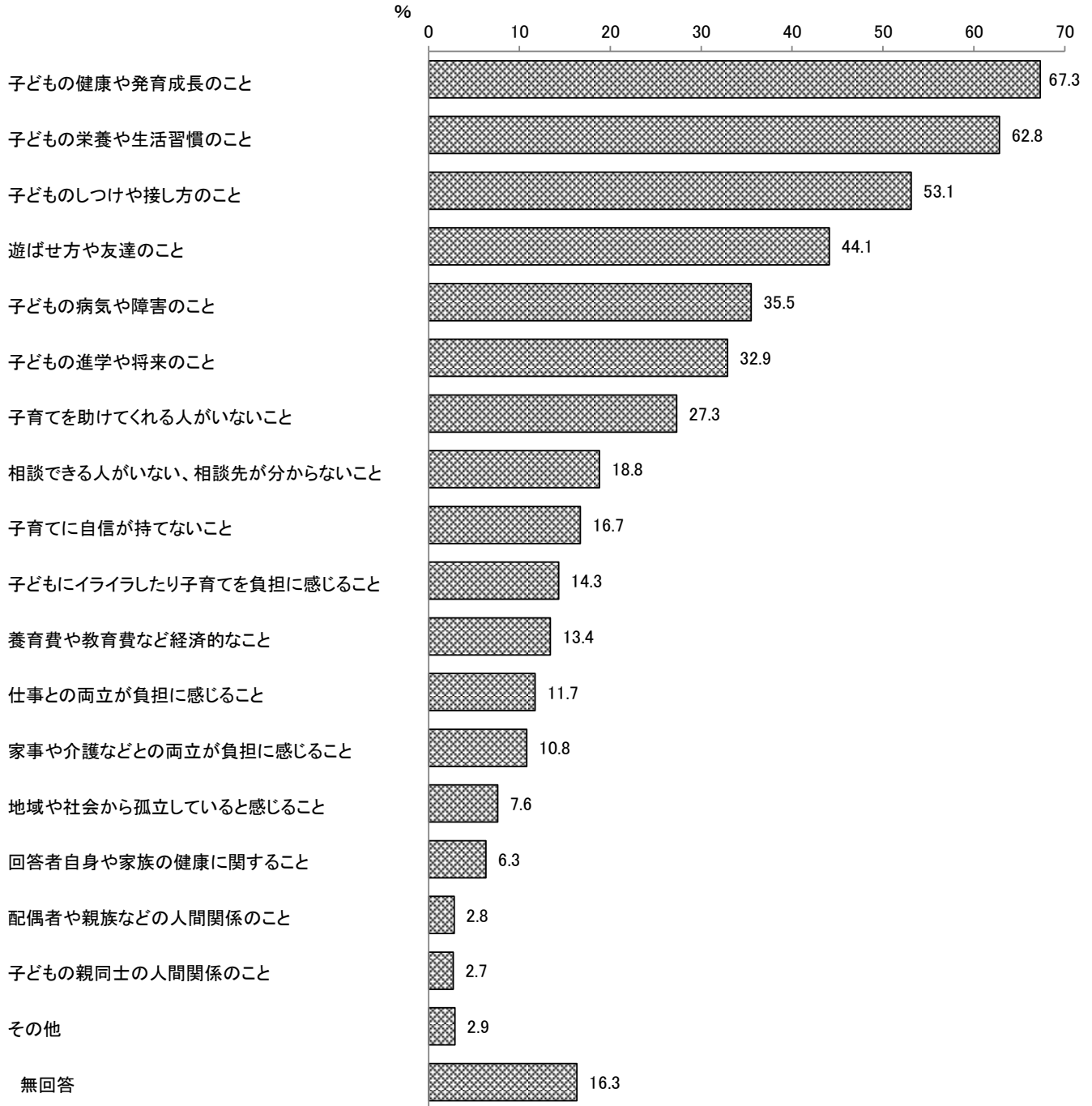
	調査数	長子 のこ の健 康や 発 育 成	慣子 のこ の栄 養や 生 活 習	方子 のこ のし つ け や 接 し	遊 ば せ 方 や 友 達 の こ と	こ ど も の 病 気 や 障 害 の こ と	こ ど も の 進 学 や 将 来 の こ と	人 が 育 て を 助 け て く れ る こ と	い い こ と 相 談 先 が 分 か ら な い こ と	相 談 で き る 人 が い ら な い こ と	子 育 て に 自 信 が 持 て な い こ と	子 育 て に イ ラ イ ラ し た こ と	養 育 費 や 教 育 費 な ど 経 済 的 な こ と
配偶者	1,204 100.0	747 62.0	545 45.3	747 62.0	404 33.6	332 27.6	432 35.9	48 4.0	17 1.4	102 8.5	299 24.8	213 17.7	
祖父母等の親族	971 100.0	546 56.2	390 40.2	471 48.5	183 18.8	202 20.8	175 18.0	34 3.5	12 1.2	67 6.9	153 15.8	70 7.2	
友人・子育て仲間	991 100.0	445 44.9	397 40.1	450 45.4	396 40.0	154 15.5	189 19.1	35 3.5	9 0.9	61 6.2	198 20.0	29 2.9	
職場の先輩・上司	266 100.0	85 32.0	58 21.8	81 30.5	50 18.8	34 12.8	50 18.8	6 2.3	2 0.8	6 2.3	25 9.4	10 3.8	
近所の人	82 100.0	34 41.5	22 26.8	29 35.4	21 25.6	9 11.0	12 14.6	1 1.2	1 1.2	-	7 8.5	1 1.2	
保育園の先生	567 100.0	276 48.7	258 45.5	298 52.6	186 32.8	85 15.0	21 3.7	5 0.9	1 0.2	15 2.6	26 4.6	1 0.2	
幼稚園の先生	199 100.0	78 39.2	40 20.1	91 45.7	95 47.7	20 10.1	14 7.0	3 1.5	-	2 1.0	4 2.0	-	
児童館・学童クラブの職員	56 100.0	28 50.0	22 39.3	14 25.0	18 32.1	4 7.1	4 7.1	-	-	1 1.8	3 5.4	-	
民生・児童委員	8 100.0	5 62.5	3 37.5	2 25.0	-	-	-	-	-	-	1 12.5	-	
保健所・保健センターの職員	221 100.0	128 57.9	90 40.7	45 20.4	18 8.1	25 11.3	4 1.8	8 3.6	11 5.0	14 6.3	20 9.0	2 0.9	
子どもセンターの職員	49 100.0	21 42.9	10 20.4	11 22.4	5 10.2	9 18.4	8 16.3	1 2.0	1 2.0	3 6.1	4 8.2	-	
子ども・子育てプラザの職員	13 100.0	5 38.5	6 46.2	4 30.8	6 46.2	1 7.7	1 7.7	-	1 7.7	1 7.7	2 15.4	-	
子ども家庭支援センターの職員	25 100.0	11 44.0	5 20.0	5 20.0	4 16.0	5 20.0	-	2 8.0	2 8.0	3 12.0	2 8.0	2 8.0	
かかりつけの医師	518 100.0	311 60.0	111 21.4	21 4.1	7 1.4	255 49.2	14 2.7	1 0.2	-	3 0.6	4 0.8	-	
地域の乳幼児の交流の場 (つどいの広場など)の職員	47 100.0	22 46.8	18 38.3	20 42.6	19 40.4	2 4.3	5 10.6	-	1 2.1	2 4.3	6 12.8	-	
塾や習い事の先生	99 100.0	22 22.2	12 12.1	52 52.5	18 18.2	4 4.0	42 42.4	1 1.0	-	3 3.0	5 5.1	-	
区や東京都などの公的相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	75 100.0	33 44.0	11 14.7	12 16.0	7 9.3	18 24.0	9 12.0	-	-	3 4.0	7 9.3	1 1.3	
民間の相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	20 100.0	5 25.0	3 15.0	4 20.0	2 10.0	6 30.0	3 15.0	-	-	1 5.0	4 20.0	2 10.0	
その他	89 100.0	51 57.3	32 36.0	40 44.9	27 30.3	26 29.2	19 21.3	3 3.4	5 5.6	5 5.6	14 15.7	3 3.4	

相談した内容は、いずれも「子どもの健康や発育成長のこと」が高くなっており、なかでも、「配偶者」、「かかりつけの医師」は6割台となっている。また、「子どものしつけや接し方のこと」は、「配偶者」、「保育園の先生」、「塾や習い事の先生」で半数を超えている。(図表 2-9)

	仕事との両立が負担に感じる	家事や介護などへの負担に感じる	地域や社会から孤立していると感じる	回答者自身や家族の健康に関する	配偶者や親族などの人間関係	子どもの親同士の人間関係	その他	無回答
配偶者	192 15.9	80 6.6	30 2.5	151 12.5	72 6.0	120 10.0	19 1.6	173 14.4
祖父母等の親族	88 9.1	40 4.1	14 1.4	90 9.3	100 10.3	50 5.1	9 0.9	166 17.1
友人・子育て仲間	99 10.0	43 4.3	9 0.9	42 4.2	99 10.0	69 7.0	13 1.3	190 19.2
職場の先輩・上司	62 23.3	9 3.4	-	10 3.8	19 7.1	9 3.4	2 0.8	68 25.6
近所の人	2 2.4	1 1.2	-	3 3.7	3 3.7	-	1 1.2	17 20.7
保育園の先生	7 1.2	1 0.2	-	5 0.9	2 0.4	4 0.7	4 0.7	112 19.8
幼稚園の先生	-	1 0.5	-	-	1 0.5	4 2.0	1 0.5	44 22.1
児童館・学童クラブの職員	-	2 3.6	-	1 1.8	-	-	-	12 21.4
民生・児童委員	-	1 12.5	-	-	-	-	1 12.5	-
保健所・保健センターの職員	4 1.8	5 2.3	1 0.5	7 3.2	10 4.5	-	6 2.7	39 17.6
子どもセンターの職員	2 4.1	1 2.0	-	1 2.0	1 2.0	2 4.1	3 6.1	8 16.3
子ども・子育てプラザの職員	-	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7	-	-	1 7.7
子ども家庭支援センターの職員	-	-	-	1 4.0	2 8.0	1 4.0	-	4 16.0
かかりつけの医師	-	1 0.2	-	12 2.3	2 0.4	1 0.2	3 0.6	87 16.8
地域の乳幼児の交流の場 (つどいの広場など)の職員	3 6.4	-	-	3 6.4	3 6.4	3 6.4	-	8 17.0
塾や習い事の先生	1 1.0	-	-	-	1 1.0	-	2 2.0	13 13.1
区や東京都などの公的相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	2 2.7	-	1 1.3	1 1.3	7 9.3	-	5 6.7	10 13.3
民間の相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	-	-	-	-	4 20.0	-	1 5.0	4 20.0
その他	7 7.9	5 5.6	3 3.4	6 6.7	8 9.0	2 2.2	5 5.6	10 11.2

図表 2-10 相談した内容（累計）

n = 1536



各相談先に対して相談した内容を、相談内容ごとに累計してみると、「子どもの健康や発育成長のこと」が67.3%で最も高く、次いで「子どもの栄養や生活習慣のこと」が62.8%、「子どものしつけや接し方のこと」が53.1%となっている。（図表2-10）

図表 2-11 相談した内容（累計・家族構成別）

	調査数	子どもの健康や発育成長のこと	子どもの栄養や生活習慣のこと	子どものしつけや接し方のこと	遊ばせ方や友達のこと	子どもの病気や障害のこと	子どもの進学や将来のこと	子育てを助けてくれる人がいないこと	相談できる人がいないこと、相談先が分からないこと	子育てに自信が持てないこと	子どもにイライラしたること	養育費や教育費など経済的なこと
全体	1,536 100.0	1,034 67.3	815 53.1	964 62.8	678 44.1	506 32.9	545 35.5	96 6.3	42 2.7	180 11.7	419 27.3	256 16.7
ひとり親	53 100.0	32 60.4	24 45.3	35 66.0	20 37.7	20 37.7	18 34.0	3 5.7	2 3.8	7 13.2	13 24.5	11 20.8
夫婦（子1人）	771 100.0	530 68.7	459 59.5	506 65.6	376 48.8	272 35.3	301 39.0	53 6.9	25 3.2	115 14.9	203 26.3	142 18.4
夫婦（子2人以上）	620 100.0	403 65.0	278 44.8	363 58.5	236 38.1	185 29.8	198 31.9	38 6.1	13 2.1	48 7.7	184 29.7	89 14.4
夫婦と祖父母	90 100.0	69 76.7	54 60.0	60 66.7	46 51.1	29 32.2	28 31.1	2 2.2	2 2.2	10 11.1	19 21.1	14 15.6
その他	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	調査数	仕事との両立が負担に感じること	家事や介護など、両立が負担に感じること	地域や社会から孤立していると感じること	回答者自身や家族の健康に関すること	配偶者や親族など、人間関係のこと	子どもの親同士の人間関係のこと	その他	無回答
全体	1,536 100.0	288 18.8	117 7.6	43 2.8	206 13.4	220 14.3	166 10.8	44 2.9	251 16.3
ひとり親	53 100.0	15 28.3	4 7.5	-	5 9.4	9 17.0	2 3.8	3 5.7	5 9.4
夫婦（子1人）	771 100.0	154 20.0	69 8.9	26 3.4	108 14.0	127 16.5	89 11.5	24 3.1	122 15.8
夫婦（子2人以上）	620 100.0	106 17.1	39 6.3	17 2.7	79 12.7	71 11.5	67 10.8	16 2.6	109 17.6
夫婦と祖父母	90 100.0	13 14.4	5 5.6	-	14 15.6	13 14.4	8 8.9	1 1.1	13 14.4
その他	2 100.0	-	-	-	-	-	-	-	2 100.0

相談した内容の累計結果を家族構成別にみると、どの家族構成でも、「子どもの健康や発育成長のこと」や「子どものしつけや接し方のこと」、「子どもの栄養や生活習慣のこと」が高い傾向にある。（図表 2-11）

図表 2-12 相談した内容（累計・子どもの年齢別）

	調査数	子どもの健康や発育成長のこと	子どもの栄養や生活習慣のこと	子どものしつけや接し方のこと	遊ばせ方や友達のこと	子どもの病気や障害のこと	子どもの進学や将来のこと	子育てを助けてくれる人がいないこと	相談できる人がいないこと	相談先が分からないこと	子育てに自信が持てないこと	子どもにイライラしたり子育てを负担に感じること
全体	1536 100	1034 67.3	815 53.1	964 62.8	678 44.1	506 32.9	545 35.5	96 6.3	42 2.7	180 11.7	419 27.3	
0歳	278 100	202 72.7	185 66.5	152 54.7	114 41.0	107 38.5	84 30.2	20 7.2	10 3.6	44 15.8	71 25.5	
1歳	256 100	178 69.5	139 54.3	154 60.2	97 37.9	82 32.0	83 32.4	19 7.4	8 3.1	28 10.9	71 27.7	
2歳	260 100	169 65.0	136 52.3	176 67.7	111 42.7	83 31.9	89 34.2	15 5.8	7 2.7	31 11.9	79 30.4	
3歳	245 100	166 67.8	132 53.9	172 70.2	118 48.2	85 34.7	83 33.9	15 6.1	4 1.6	29 11.8	71 29.0	
4歳	224 100	149 66.5	110 49.1	143 63.8	107 47.8	68 30.4	87 38.8	12 5.4	8 3.6	26 11.6	62 27.7	
5歳	253 100	161 63.6	104 41.1	157 62.1	124 49.0	78 30.8	112 44.3	13 5.1	5 2.0	21 8.3	59 23.3	

	調査数	養育費や教育費など経済的なこと	仕事との両立が負担に感じること	両立が負担に感じること	家事や介護などとの両立が負担に感じること	地域や社会から孤立していると感じること	健康に関すること	回答者自身や家族の健康に関すること	配偶者や親族などとの関係のこと	子どもの親同士の間関係のこと	その他	無回答
全体	1536 100	256 16.7	288 18.8	117 7.6	43 2.8	206 13.4	220 14.3	166 10.8	44 2.9	251 16.3		
0歳	278 100	60 21.6	50 18.0	30 10.8	11 4.0	47 16.9	49 17.6	16 5.8	11 4.0	47 16.9		
1歳	256 100	41 16.0	45 17.6	15 5.9	10 3.9	37 14.5	33 12.9	15 5.9	10 3.9	39 15.2		
2歳	260 100	33 12.7	54 20.8	20 7.7	5 1.9	35 13.5	36 13.8	31 11.9	3 1.2	49 18.8		
3歳	245 100	33 13.5	45 18.4	17 6.9	4 1.6	25 10.2	31 12.7	27 11.0	7 2.9	31 12.7		
4歳	224 100	38 17.0	42 18.8	13 5.8	2 2.2	25 11.2	30 13.4	32 14.3	3 1.3	38 17.0		
5歳	253 100	49 19.4	47 18.6	19 7.5	8 3.2	35 13.8	37 14.6	42 16.6	10 4.0	43 17.0		

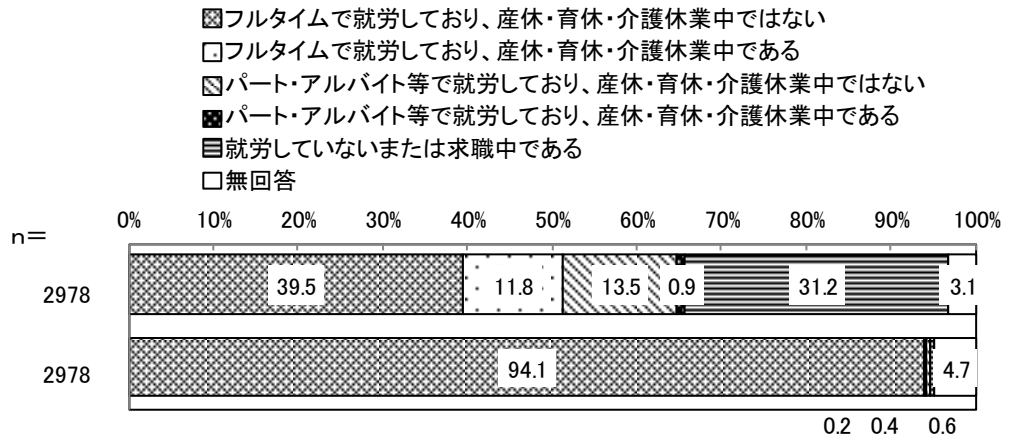
相談した内容の累計結果を子どもの年齢別にみると、どの年齢でも、「子どもの健康や発育成長のこと」や「子どものしつけや接し方のこと」が高い傾向にある。0歳では「子どもの栄養や生活習慣のこと」も高くなっており、2、3歳では特に「子どものしつけや接し方のこと」が高くなっている。（図表 2-12）

3. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

問8 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

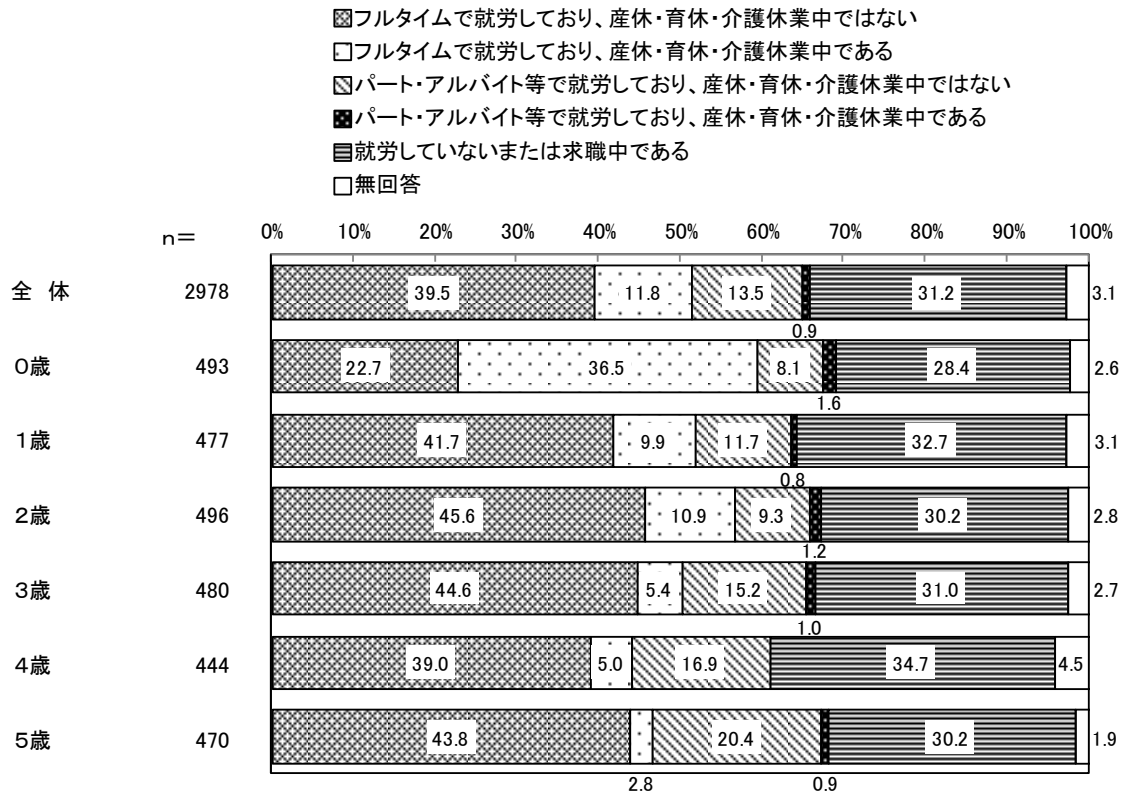
図表3-1



保護者の就労状況は、母親では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が39.5%で最も高く、次いで「就労していないまたは求職中である」が31.2%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が13.5%となっている。

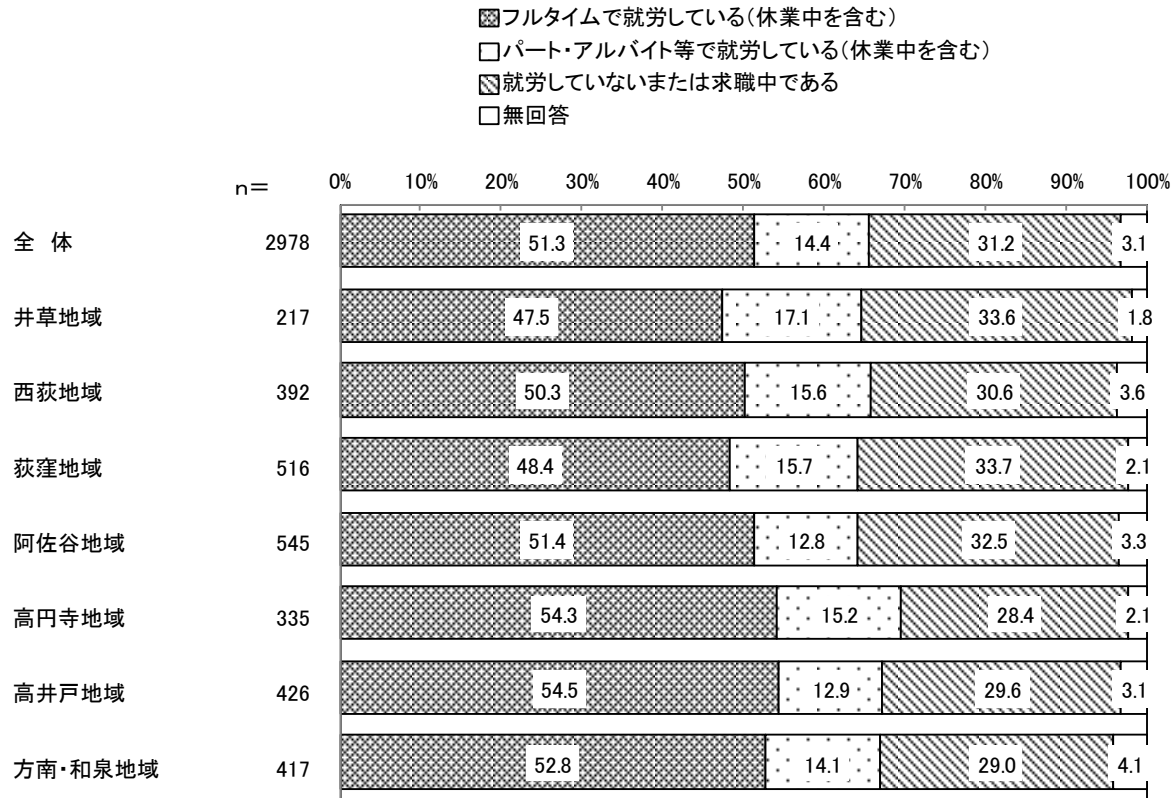
一方、父親では、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が94.1%で最も高くなっている。(図表3-1)

図表 3-2 保護者の就労状況（子どもの年齢別）【母親】



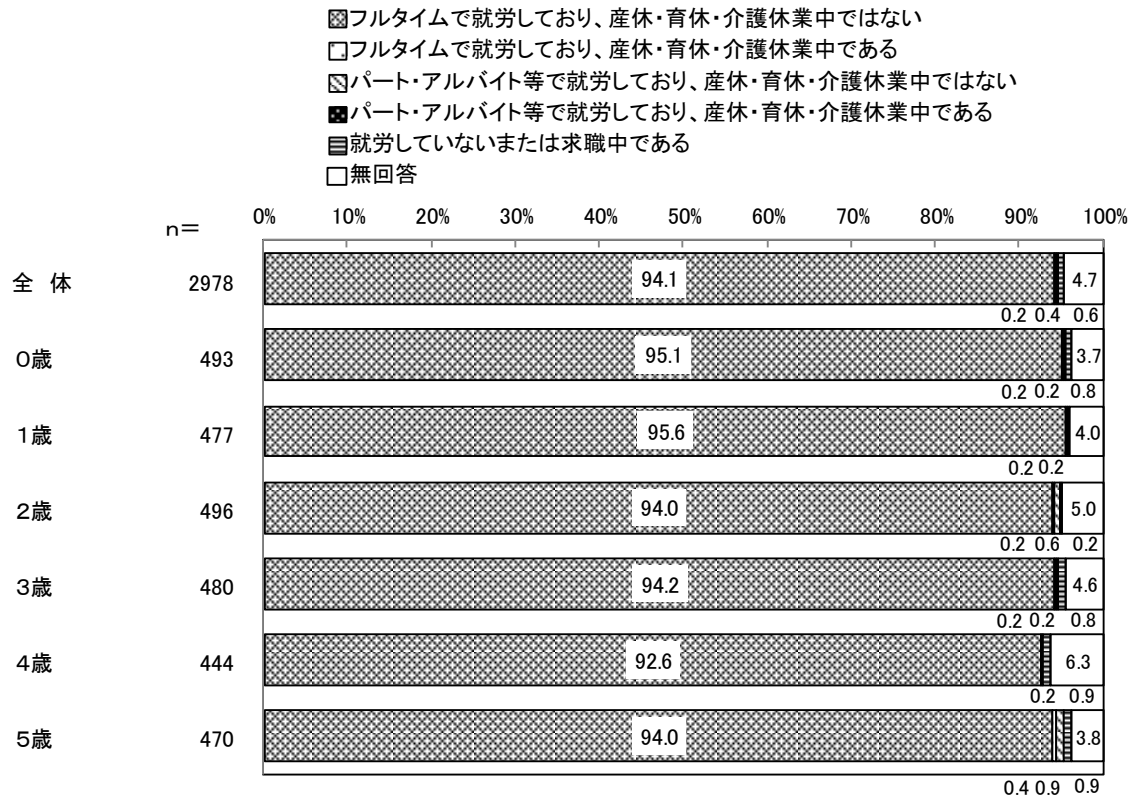
子どもの年齢別にみると、母親では、0歳で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である」が36.5%で最も高く、年齢が上がるにつれて、低くなる傾向にある。「就労していないまたは求職中である」は各年齢で3割程度となっている。（図表3-2）

図表 3-3 母親の就労状況（7地域別）



母親の就労状況を7地域別にみると、高円寺地域では「フルタイムで就労している（休業中を含む）」が54.3%、「パート・アルバイト等で就労している（休業中を含む）」が15.2%であり、合わせて69.5%が就労している。また、高井戸地域では「フルタイムで就労している（休業中を含む）」の割合が54.5%、井草地域では「パート・アルバイト等で就労している（休業中を含む）」が17.1%と、それぞれ他の地域よりもやや高くなっている。（図表3-3）

図表 3-4 保護者の就労状況（子どもの年齢別）【父親】



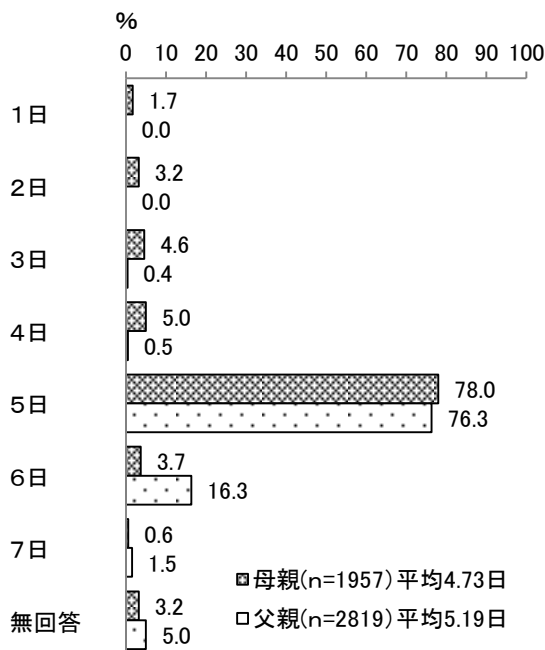
子どもの年齢別にみると、父親では、すべての年齢で「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が9割台となっている。(図表3-4)

(1-1) 1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間

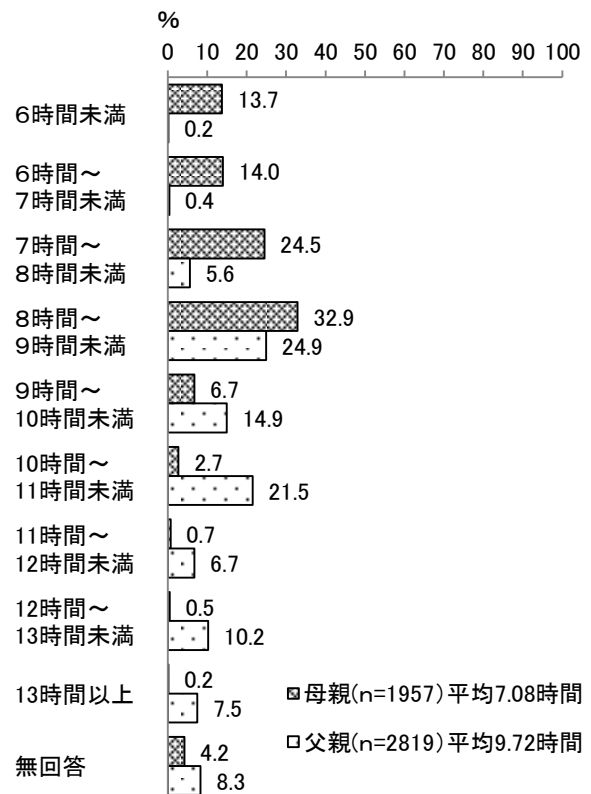
(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は(例)8～18時のように24時間制でご記入ください。

図表3-5 1週あたりの就労日数



図表3-6 1日あたりの就労時間



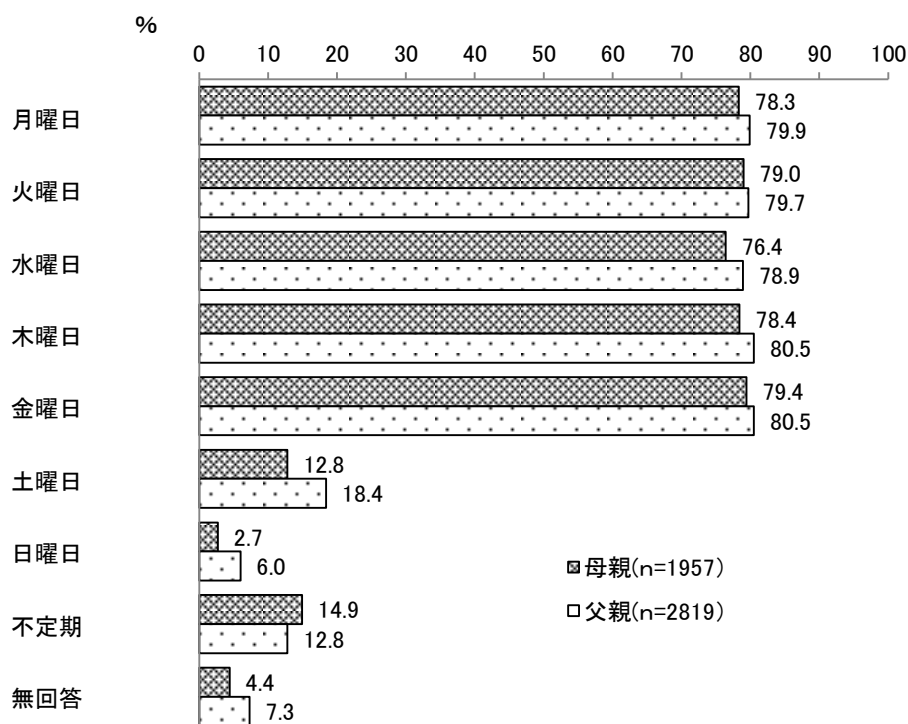
1週あたりの就労日数は、母親・父親ともに、「5日」が最も高く、7割半ば以上となっている。1日あたりの就労時間は、母親・父親ともに、「8時間～9時間未満」が最も高くなっている。次いで、母親は「7時間～8時間未満」が24.5%、「6時間～7時間未満」が14.0%となっている。一方、父親は「10時間～11時間未満」が21.5%、「12時間～13時間未満」が10.2%となっており、総体的に父親の方が長時間労働の傾向にある。(図表3-5・6)

(1-2) 就労している曜日

(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は(例)8~18時のように24時間制でご記入ください。

図表3-7



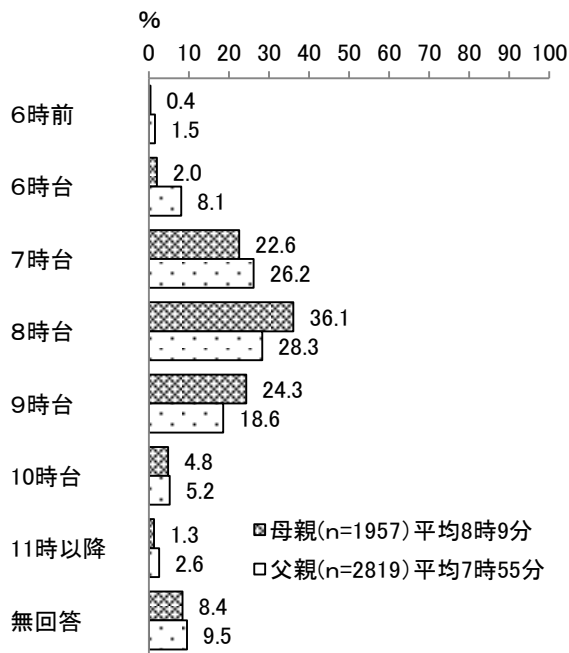
就労している曜日は、母親・父親ともに、「月曜日」～「金曜日」までが高くなっている。父親は母親と比較して「土曜日」が高く、5.6ポイントの差がみられる。(図表3-7)

(1-3) 出勤時刻と帰宅時刻

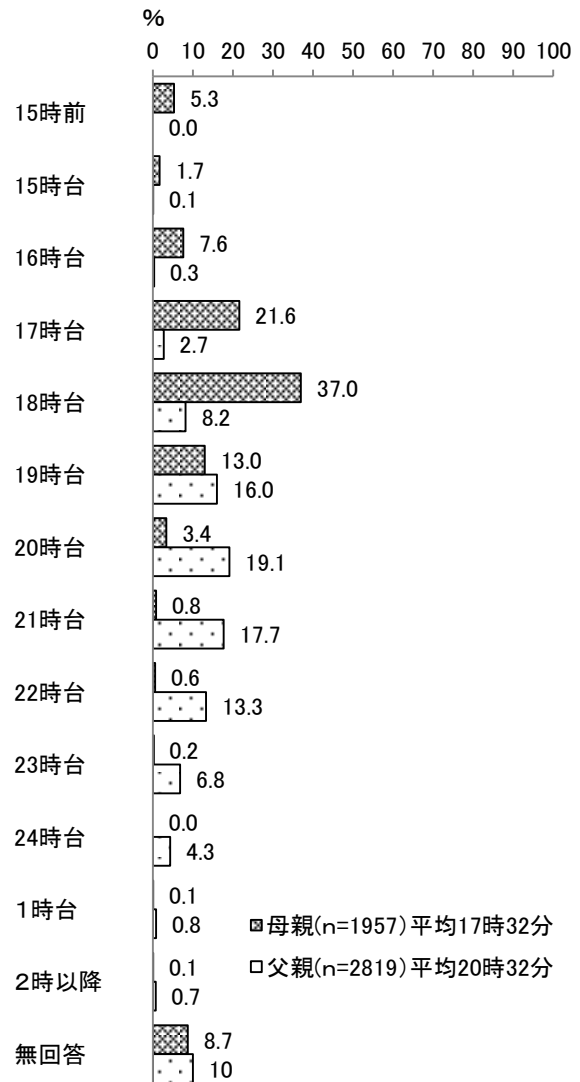
(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は(例)8~18時のように24時間制でご記入ください。

図表3-8 出勤時刻



図表3-9 帰宅時刻



出勤時刻は、母親・父親ともに「8時台」が最も高くなっている。次いで、母親は「9時台」が24.3%、父親は「7時台」が26.2%となっている。

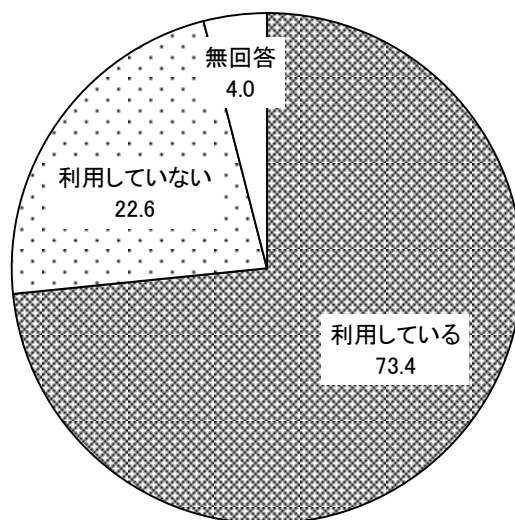
帰宅時刻は、母親では「18時台」が37.0%で最も高く、次いで「17時台」が21.6%となっている。一方、父親は「20時台」が19.1%で最も高く、次いで「21時台」が17.7%となっている。

(図表3-8・9)

4. 保育園・幼稚園等の利用状況 (1) 保育園・幼稚園等の利用状況

問9 宛名のお子さんは現在、保育園や幼稚園など問9-1に示した施設・事業を、定期的に利用されていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。
※「定期的」とは、月単位で継続して利用されている場合をさします。

図表4-1



n = 2978

%

保育園・幼稚園等の利用状況は、「利用している」が73.4%、「利用していない」が22.6%となっている。(図表4-1)

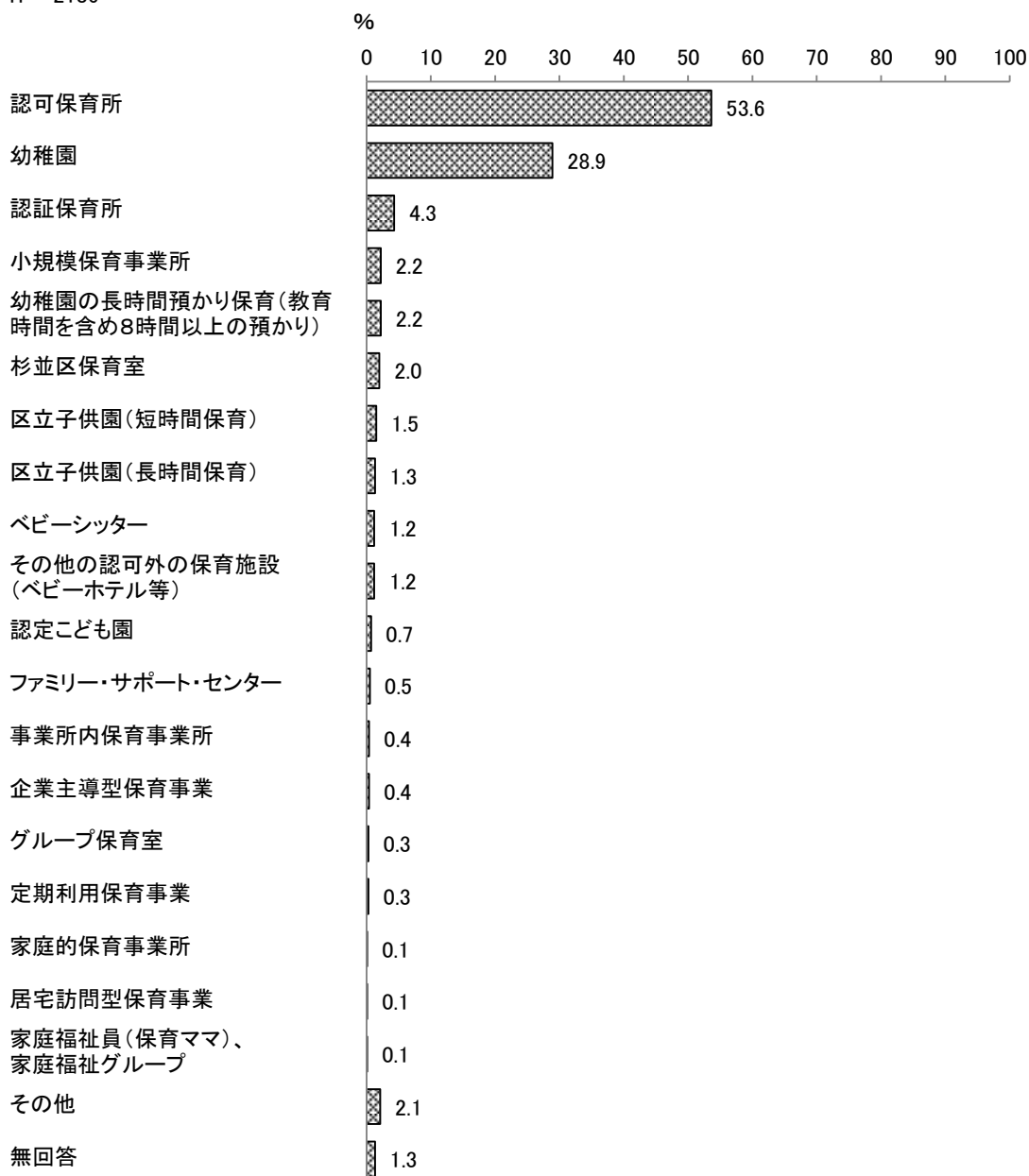
(1-1) 定期的に利用している施設・事業

(問9で、「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。)

問9-1 宛名のお子さんは、どのような施設・事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業すべてに○をつけてください。

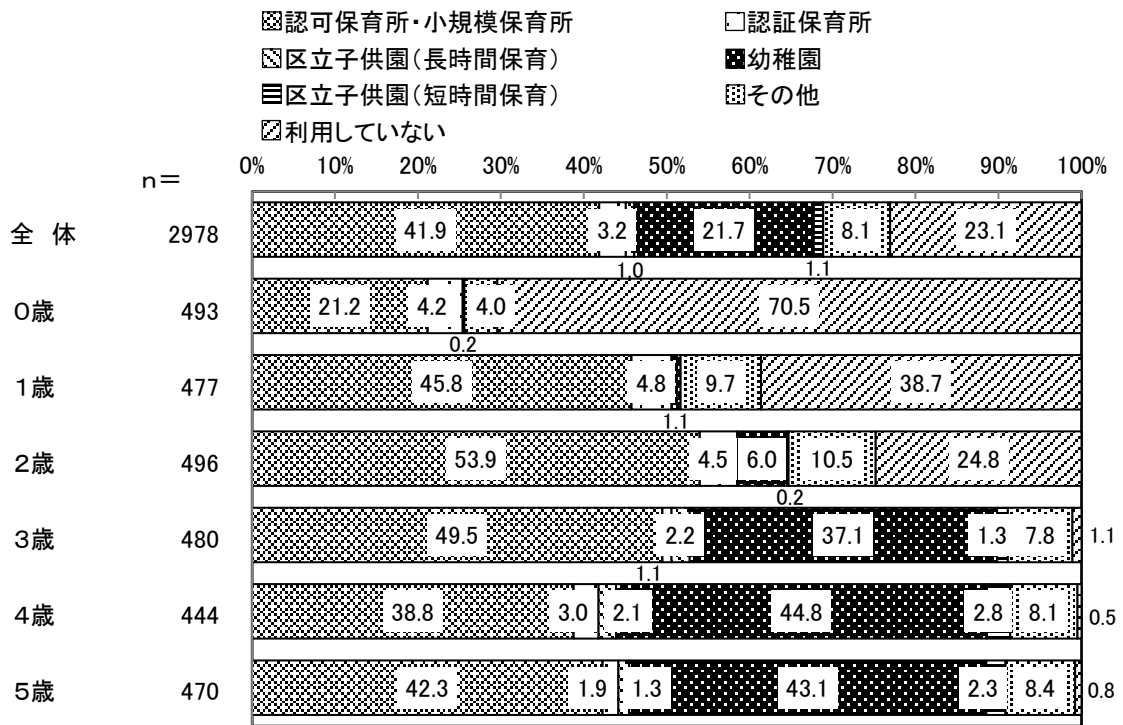
図表4-2

n = 2186



定期的に利用している施設・事業は、「認可保育所」が 53.6%で最も高く、次いで「幼稚園」が 28.9%となっている。(図表4-2)

図表 4-3 定期的に利用している施設・事業（子どもの年齢別）



※ 複数回答の設問であるため、全体、各年齢の母数を回答数として百分率の結果を算出している。

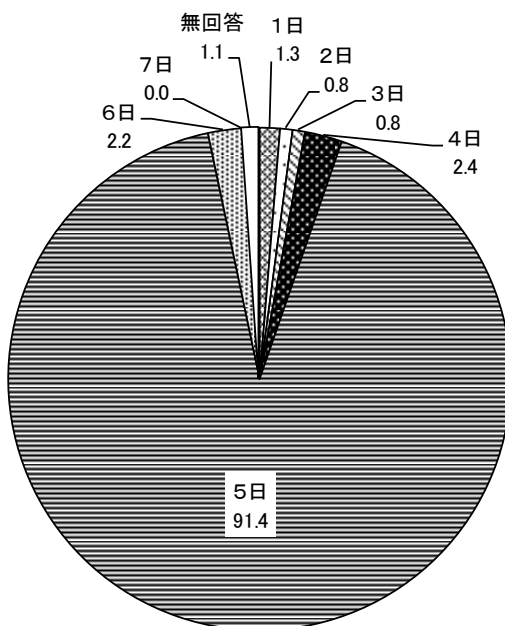
子どもの年齢別にみると、0歳から2歳にかけては、年齢が上がるにつれ「認可保育所・小規模保育所」の利用が高くなり、2歳では53.9%となっている。3歳以上では、「認可保育所・小規模保育所」と「幼稚園」の利用が高くなり、各年齢ともそれぞれの施設を3割ないし4割が利用している。「利用していない」は年齢が上がるにつれて低くなり、0歳で70.5%、3歳以上で1%前後となっている。（図表4-3）

(1-2) 施設・事業の現在の利用頻度

(問9で、「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。)

問9-2 問9-1で○をつけた施設・事業について、どのくらい利用していますか。1週当たり何日、1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□に数字(24時間制)でご記入ください。複数の施設・事業を利用している場合は、それらを合計した時間をご記入ください。

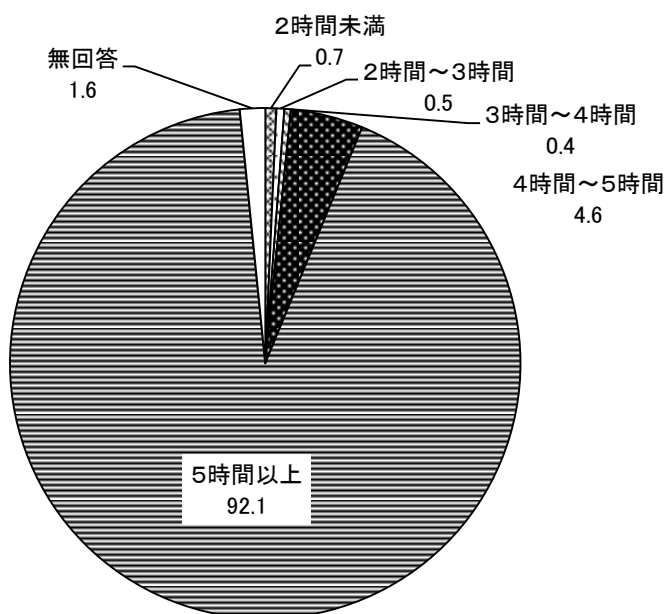
図表4-4 1週あたりの利用日数



n= 2186

図表4-5 1日あたりの利用時間

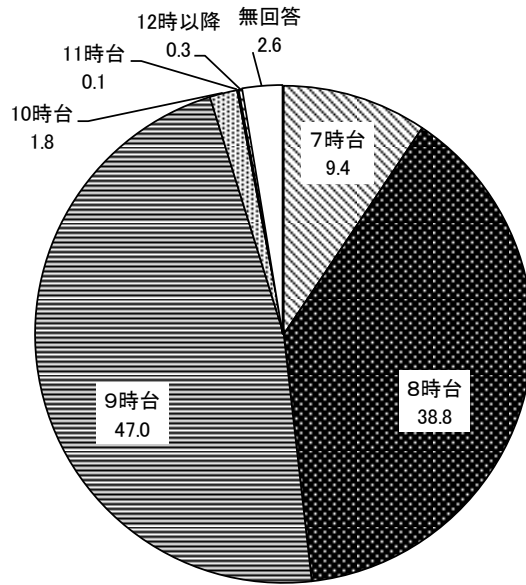
%



n= 2186

%

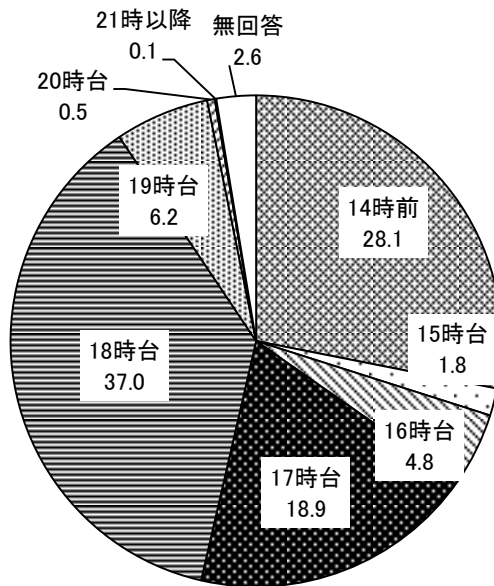
図表 4 - 6 利用開始時刻



n = 2186

%

図表 4 - 7 利用終了時刻



n = 2186

%

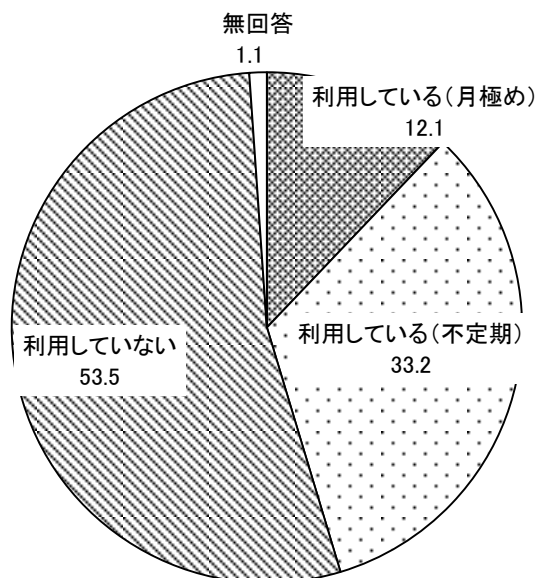
施設・事業の現在の利用頻度は、1週あたりの利用日数では「5日」が91.4%で最も高くなっている。1日あたりの利用時間では、「5時間以上」が92.1%で最も高くなっている。利用開始時刻は、「9時台」が47.0%で最も高く、次いで「8時台」が38.8%となっている。利用終了時刻は、「18時台」が37.0%で最も高く、次いで「14時前」が28.1%、「17時台」が18.9%となっている。(図表4-4～7)

(1-3) 延長保育の利用

(問9で、「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。)

問9-3 延長保育を利用していますか。当てはまるものに○をつけてください。月極めの場合は口内に1か月当たり何日利用するか記入してください。

図表4-8

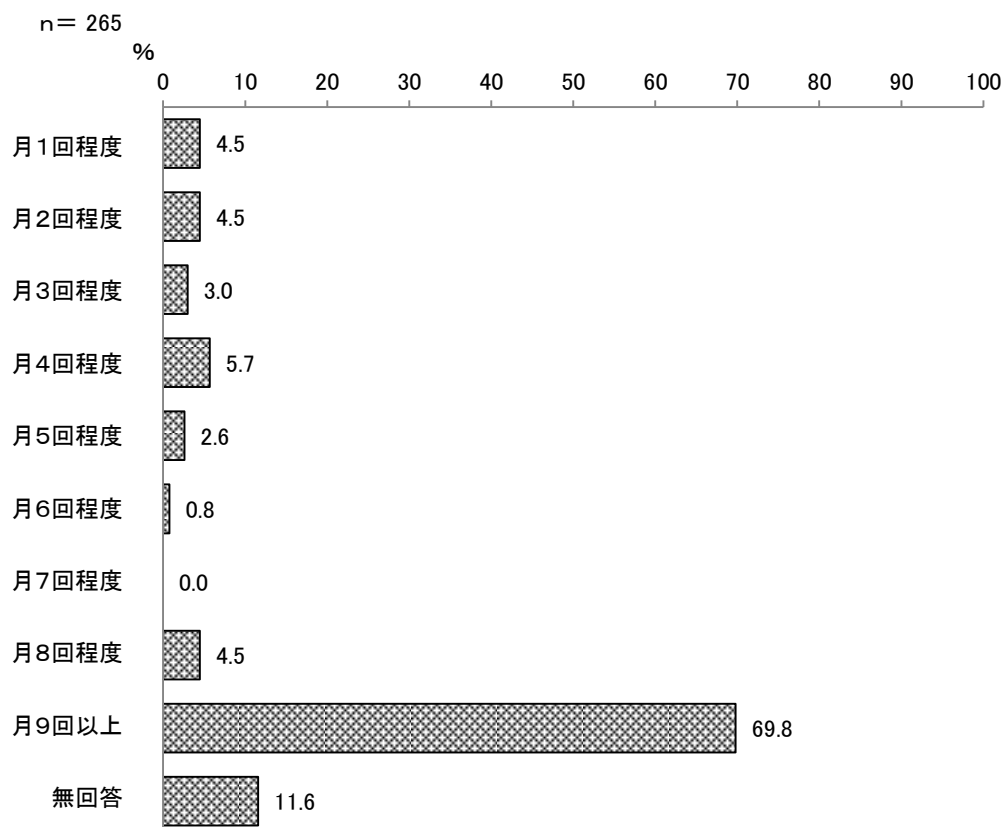


n = 2186

%

延長保育の利用は、「利用していない」が53.5%で最も高く、次いで「利用している(不定期)」が33.2%、「利用している(月極め)」が12.1%となっている。(図表4-8)

図表 4-9 月極めで利用している場合の利用頻度



月極めで利用している場合の利用頻度は、「月9回以上」が69.8%で最も高くなっている。

(図表 4-9)

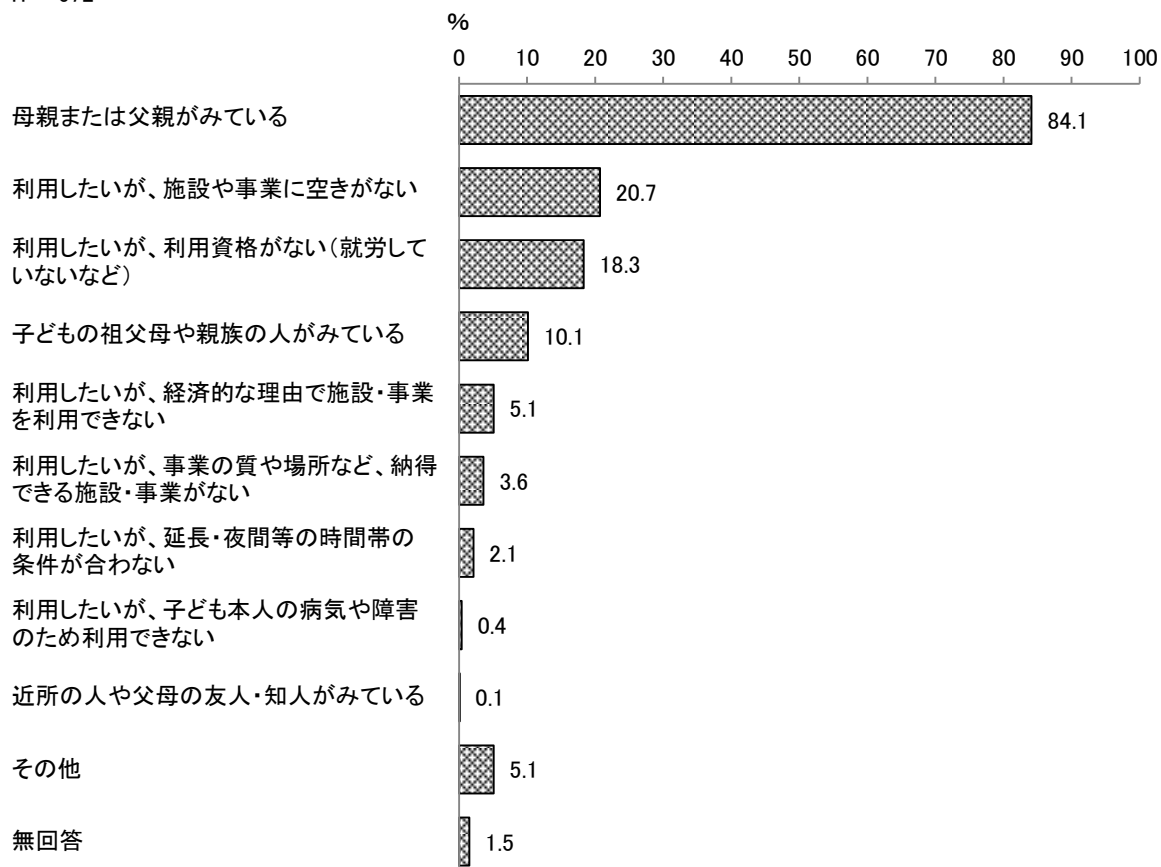
(1-4) 施設・事業を利用していない理由

(問9で、「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。)

問9-4 利用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図表4-10

n = 672



保育園・幼稚園等の施設・事業を利用していない理由は、「母親または父親がみている」が84.1%で最も高く、次いで「利用したいが、施設や事業に空きがない」が20.7%、「利用したいが、利用資格がない(就労していないなど)」が18.3%となっている。(図表4-10)

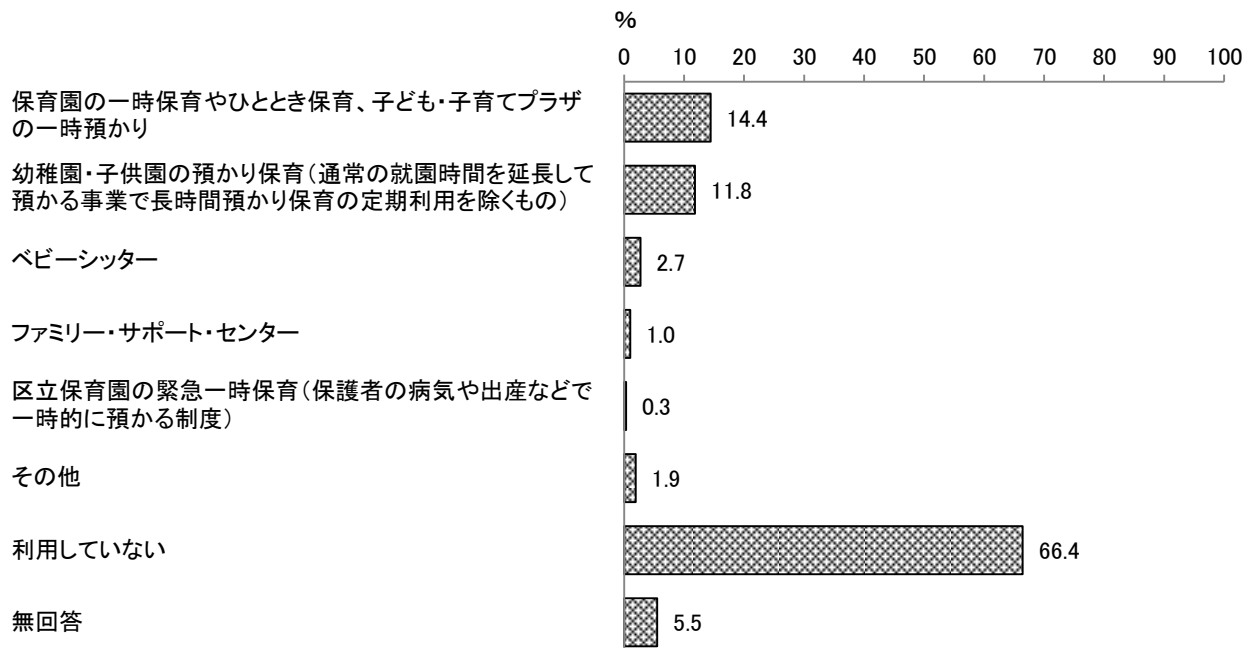
5. 一時預かり等の利用状況

(1) 不定期に利用している預かり事業

問 10 宛名のお子さんについて、保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している預かり事業はありますか。ある場合は、当てはまるものすべてに○をつけ、今年度（平成30年4月1日～12月31日）に利用したおおよその日数を口内に数字でご記入ください。

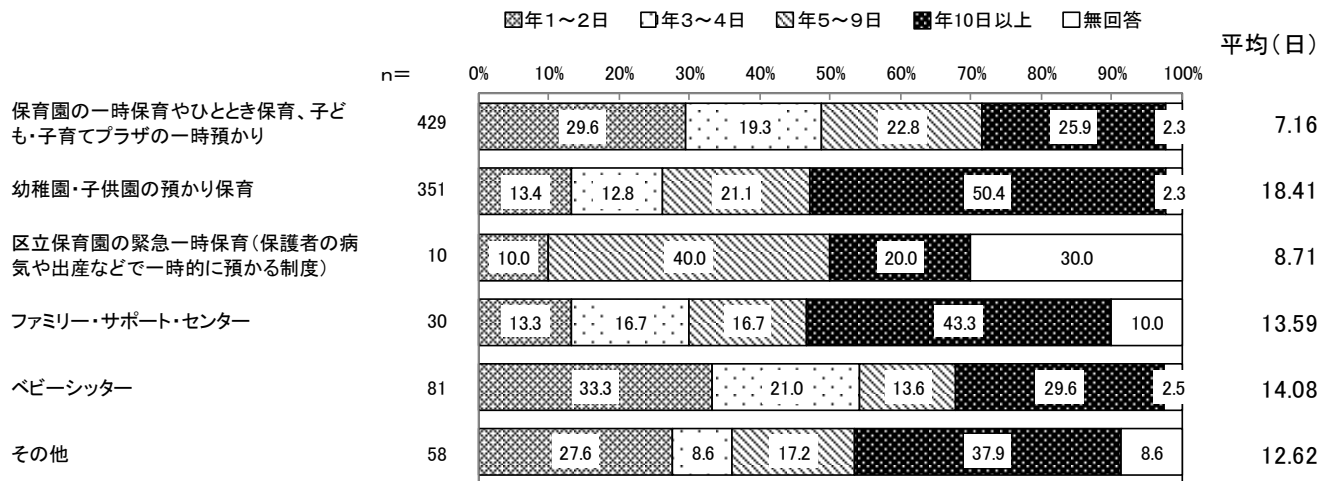
図表5-1

n = 2978



不定期に利用している預かり事業は、「保育園の一時保育やひととき保育、子ども・子育てプラザの一時預かり」が14.4%で最も高く、次いで「幼稚園・子供園の預かり保育（通常就園時間を延長して預かる事業で長時間預かり保育の定期利用を除くもの）」が11.8%、「ベビーシッター」が2.7%となっている。一方、「利用していない」は66.4%となっている。（図表5-1）

図表5-2 不定期に利用している預かり事業の利用頻度



不定期に利用している預かり事業の利用頻度は、“保育園の一時保育やひととき保育、子ども子育てプラザの一時預かり”は「年1~2日」が29.6%で最も高く、次いで「年10日以上」が25.9%となっている。“ベビーシッター”も同様の傾向にあり、「年1~2日」が33.3%で最も高く、次いで「年10日以上」が29.6%となっている。“幼稚園・子供園の預かり保育”は「年10日以上」が50.4%で最も高く、次いで「年5~9日」が21.1%となっており、“ファミリー・サポート・センター”も「年10日以上」が43.3%で最も高くなっている。(図表5-2)

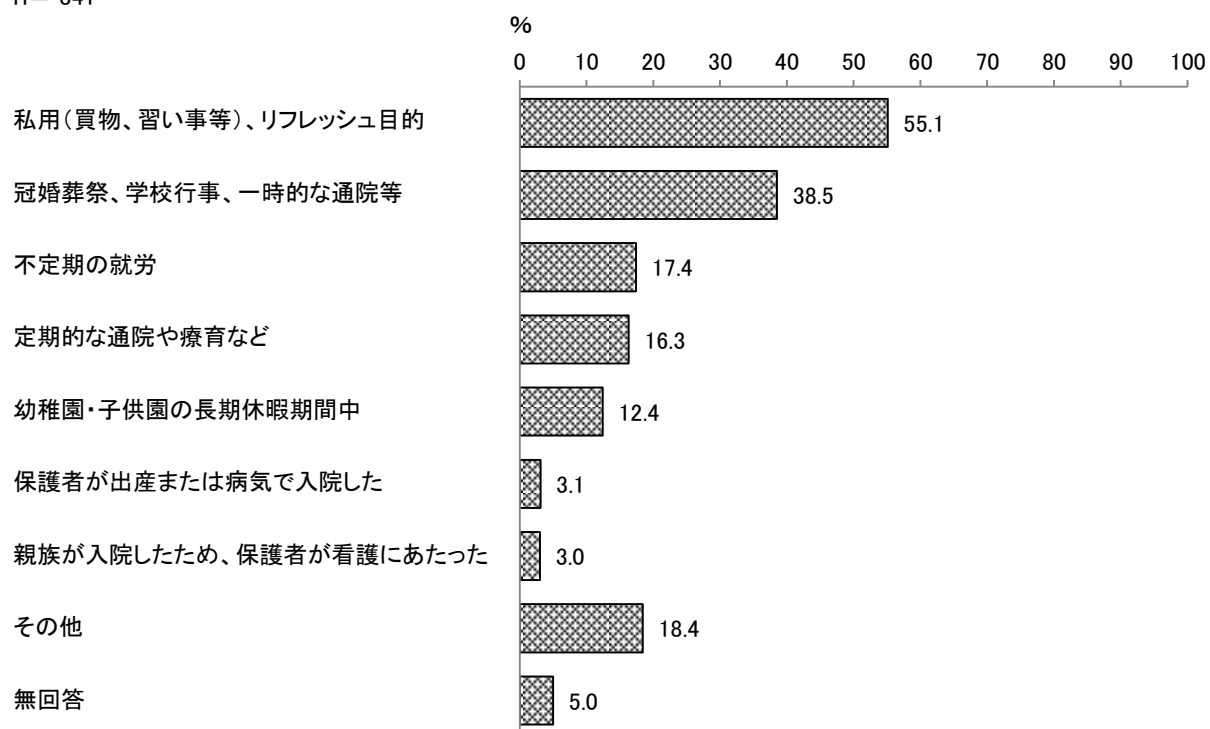
(1-1) 不定期に預かり事業を利用している理由

(問 10 で、1～6 までのいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問 10-1 利用する際の理由で当てはまる番号にすべてに○をつけ、今年度(平成 30 年 4 月 1 日～12 月 31 日)のおおよその利用日数をご記入ください。

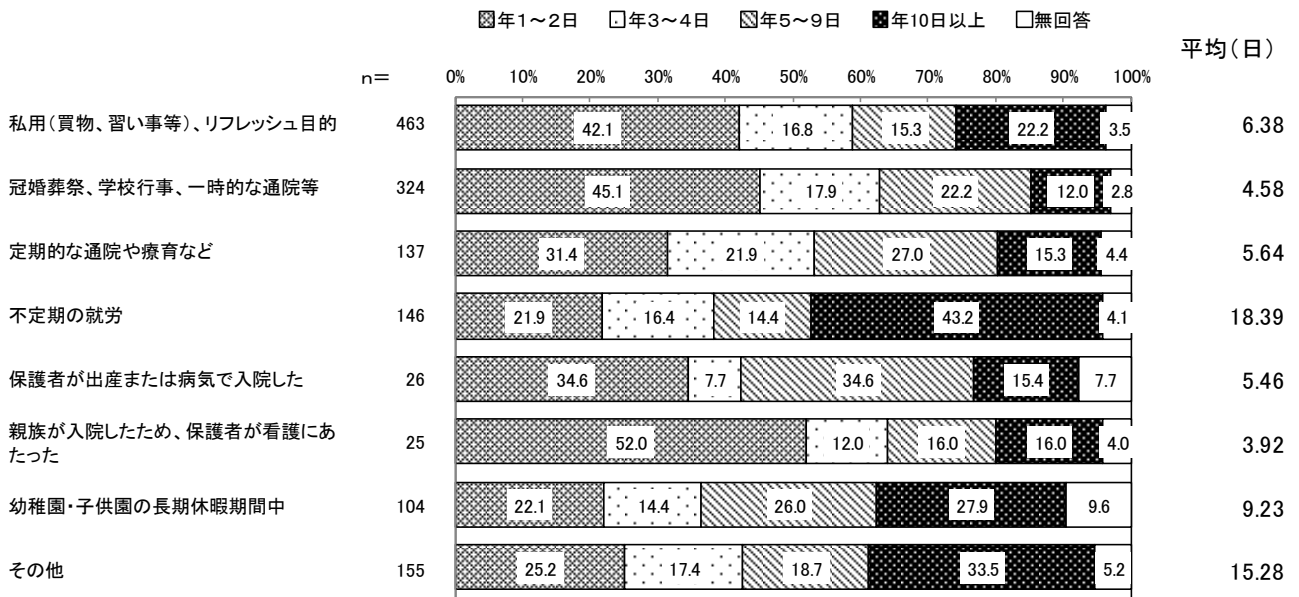
図表 5-3

n = 841



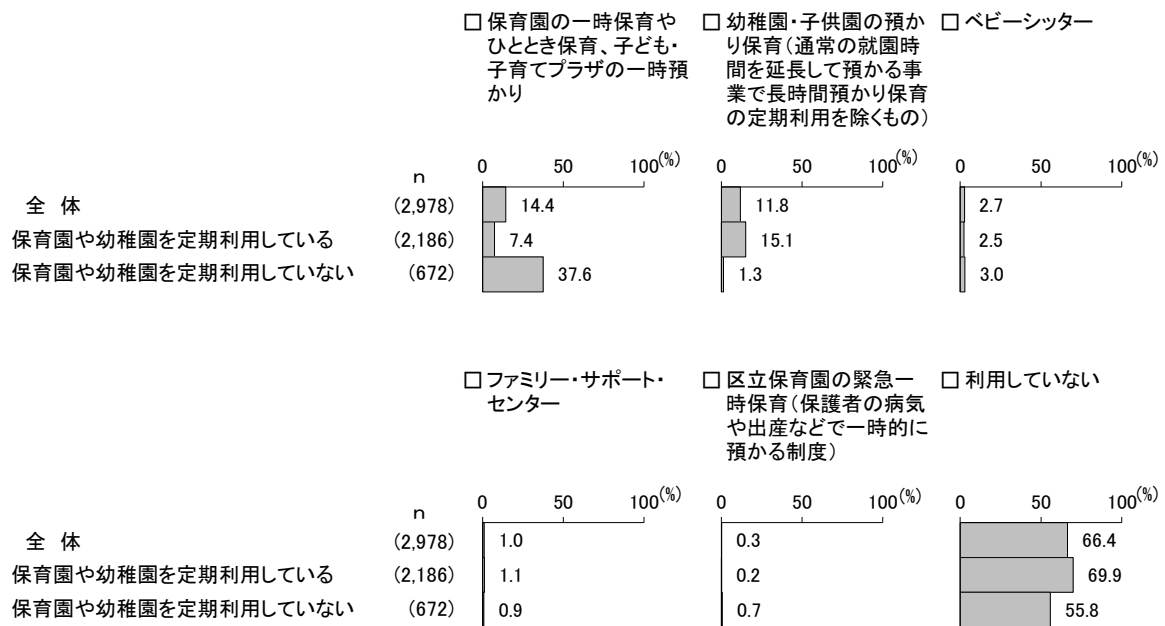
不定期に預かり事業を利用している理由は、「私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」が 55.1% で最も高く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等」が 38.5%、「不定期の就労」が 17.4% となっている。(図表 5-3)

図表 5-4 不定期に預かり事業を利用している理由別の利用頻度



不定期に預かり事業を利用している理由別の利用頻度は、“私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的”は「年1～2日」で42.1%、「年10日以上」で22.2%と高くなっている。“不定期の就労”は「年10日以上」が43.2%と高くなっている。“幼稚園・子供の長期休暇期間中”は「年10日以上」が27.9%、「年5～9日」が26.0%となっている。“冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等”は「年1～2日」で45.1%、“親族が入院したため、保護者が看護にあたった”は「年1～2日」で52.0%となっている。（図表5-4）

図表 5-5 不定期的に利用している預かり事業（保育園や幼稚園などの定期的な利用別）

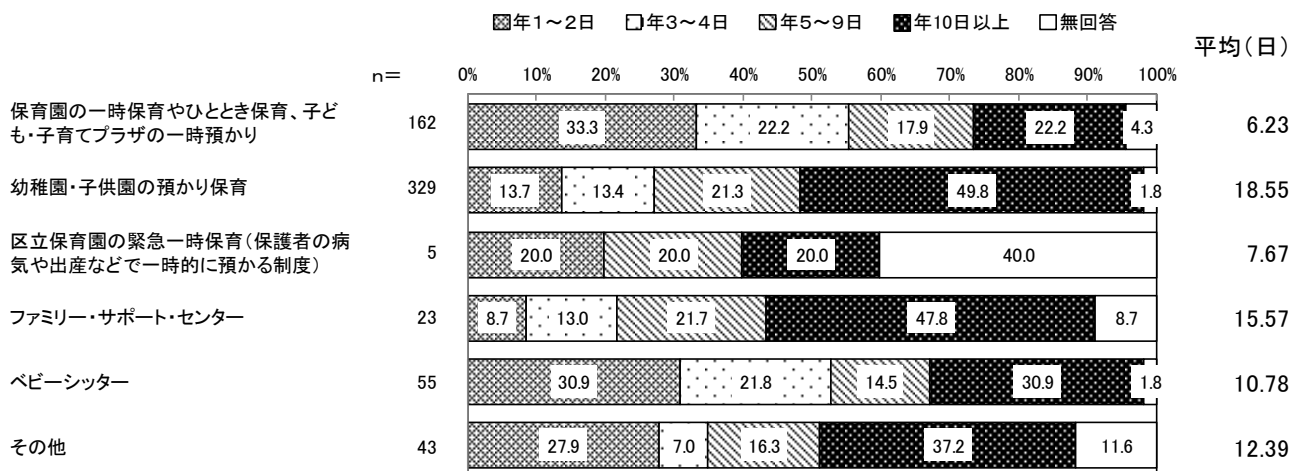


不定期的に利用している預かり事業を、保育園や幼稚園などの定期的な利用の有無別にみると、保育園等を利用している人の約 30%、保育園等を利用していない人の約 44%が、不定期の預かり事業を利用している。

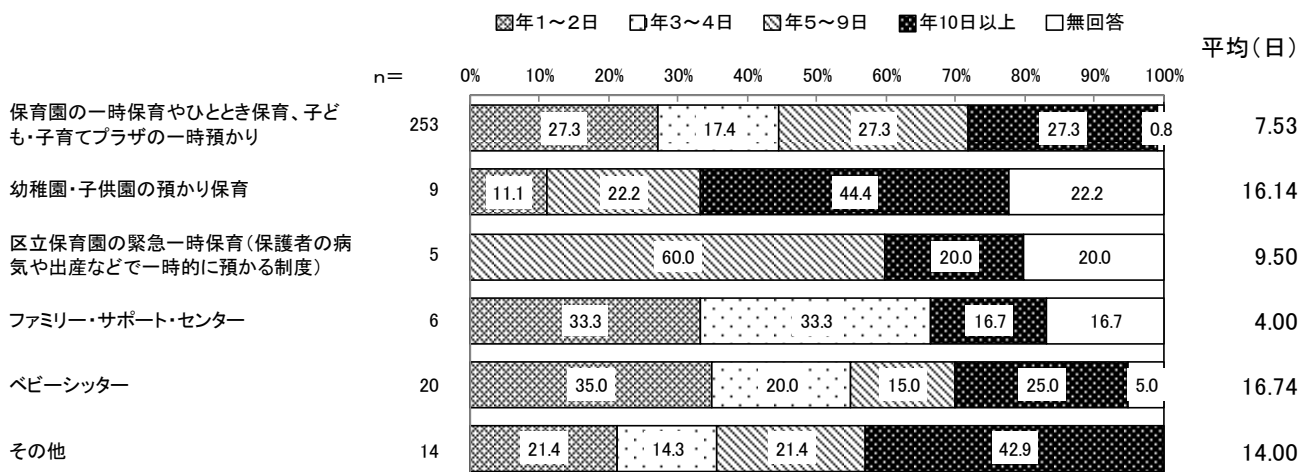
これを事業別に見ると、保育園等を定期的に利用している人は、「幼稚園・子供園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業で長時間預かり保育の定期利用を除くもの）」の割合が高く、一方で、保育園等を定期的に利用していない人は、「保育園等の一時保育やひととき保育、子ども・子育てプラザの一時預かり」の割合の方が高くなっている。（図表 5-5）

図表 5-6 不定期的に利用している預かり事業の利用頻度（保育園や幼稚園などの定期的な利用別）

【保育園や幼稚園などを定期利用している】



【保育園や幼稚園などを定期利用していない】

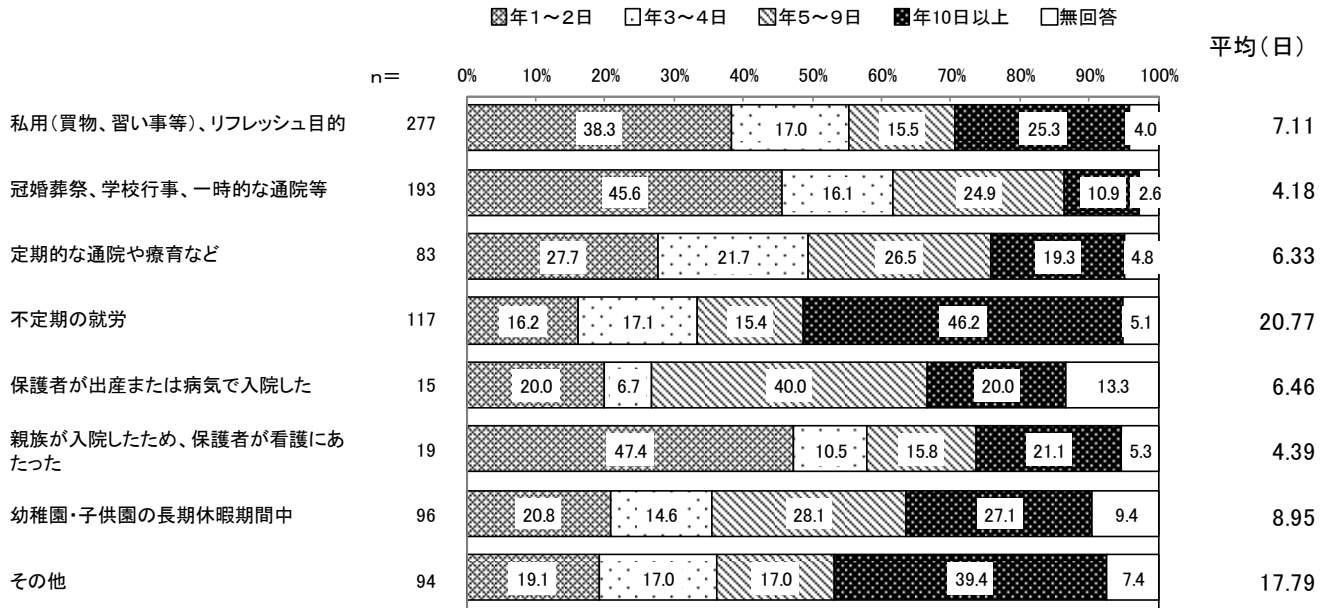


不定期的に利用している預かり事業の利用頻度を、保育園や幼稚園などの定期的な利用の有無別にみると、保育園等を定期利用している人では、利用者の割合が高い「幼稚園・子供園の預かり保育」は、「年10日以上」が最も高く、次いで「年5~9日」が21.3%となっている。次に利用者の割合が高い「保育園等の一時保育やひととき保育、子ども子育てプラザの一時預かり」は、「年1~2日」が33.3%、「年3~4日」、「年10日以上」が22.2%となっている。

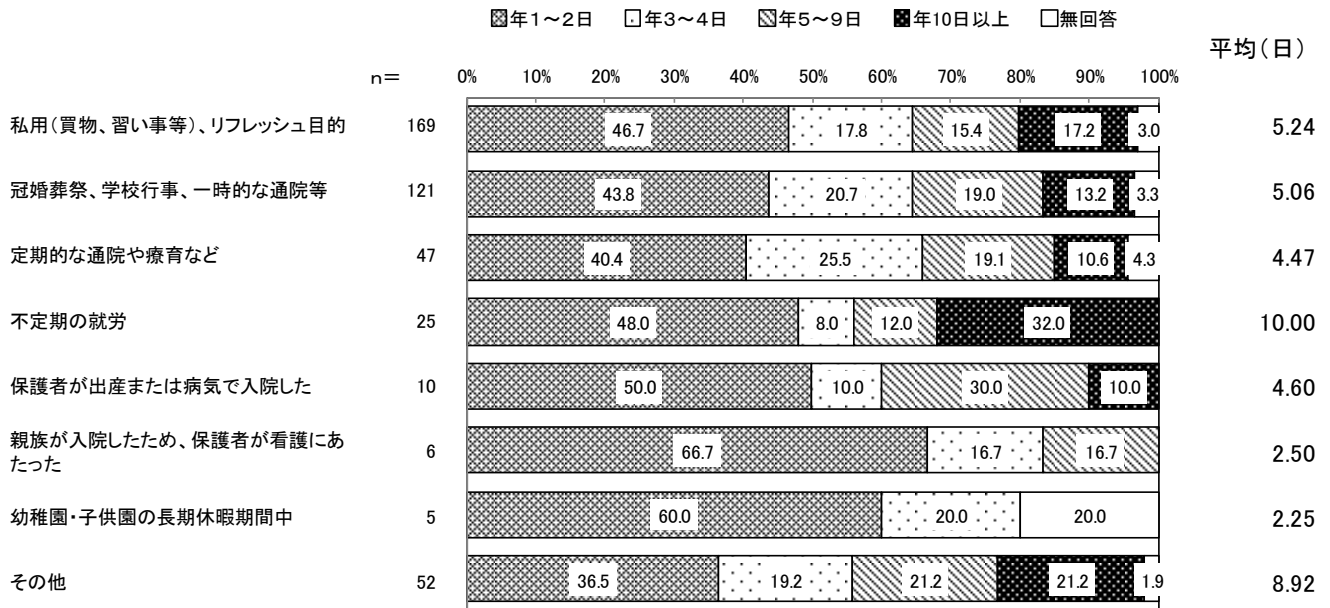
保育園等を定期的に利用していない人が利用する不定期の預かり事業は、そのほとんどが、「保育園の一時保育やひととき保育、子ども子育てプラザの一時預かり」である。これを利用頻度別にみると、「年1~2日」、「年5~9日」、「年10日以上」がいずれも27.3%となっている。(図表5-6)

図表5-7 不定期に預かり事業を利用している理由別の利用頻度
(保育園や幼稚園などの定期的な利用別)

【保育園や幼稚園などを定期利用している】



【保育園や幼稚園などを定期利用していない】



不定期に預かり事業を利用する理由別の利用頻度を、保育園や幼稚園などの定期的な利用の有無別にみると、保育園等を定期的に利用している人では、“私用(買い物、習い事等)、リフレッシュ目的”のために利用する人の割合が最も高く、次いで、“冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等”、“不定期の就労”となっている。これを利用頻度で見ると、“私用(買い物、習い事等)、リフレッシュ目的”は、「年1~2日」が38.3%、「年10日以上」が25.3%となっており、“冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等”は「年1~2日」が45.6%、「年5~9日」が24.9%となっている。また、“不定期の就労”では、「年10日以上」が46.2%と約半数を占めている。

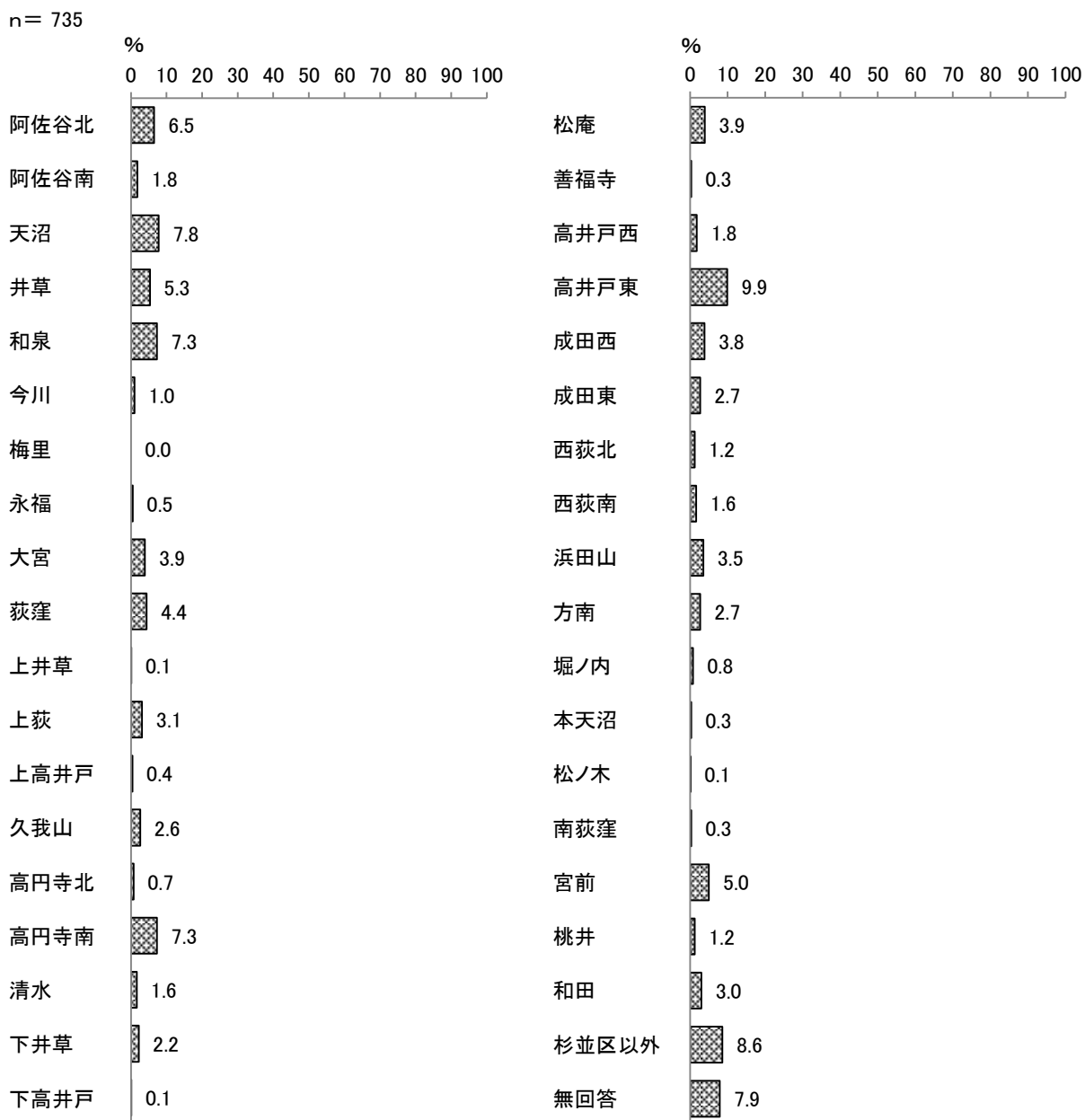
保育園等を定期的に利用していない人では、“私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的”と“冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院”の理由で利用する人の割合が高くなっている。利用頻度は、“私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的”では「年1～2日」が46.7%、「年3～4日」が17.8%であった。また、“冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院”では、「年1～2日」が43.8%であった。（図表5－7）

(1-2) 利用した施設・事業の実施場所

(問10で1～3までのいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

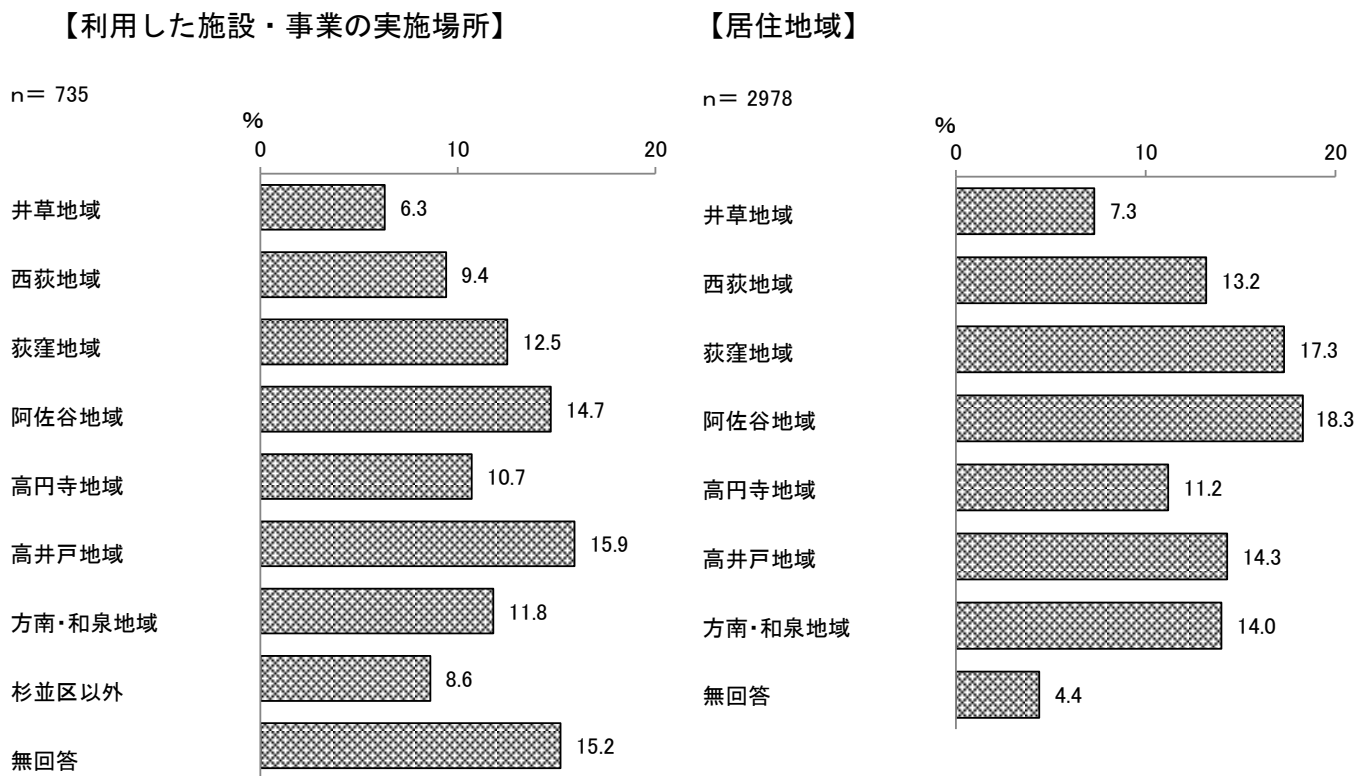
問10-2 利用した施設・事業の実施場所(町名)すべてに○をつけ、該当する口内に丁目を数字で記入してください。

図表5-8



利用した施設・事業の実施場所は、「高井戸東」が9.9%で最も高く、次いで「天沼」が7.8%となっている。(図表5-8)

図表 5-9 利用した施設・事業の実施場所（7地域別）、居住地域（7地域別）



利用した施設・事業の実施場所を7地域別に区分けして集計した。その結果、「高井戸地域」が15.9%で最も高く、次いで「阿佐谷地域」が14.7%、「荻窪地域」が12.5%となっている。居住地域を7地域別で集計した結果と比較すると、大きな差異はみられないが、「高井戸地域」は居住者に対して、施設・事業の利用者が多い傾向がみられる。(図表5-9)

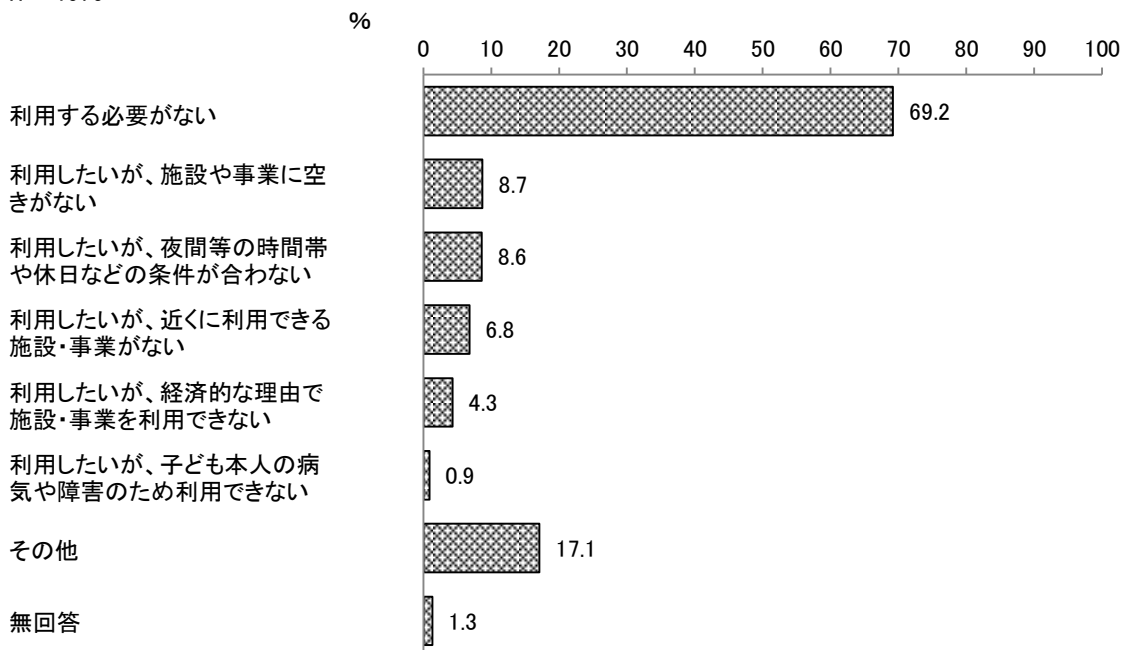
(1-3) 不定期の預かり事業を利用していない理由

(問10で「7 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。)

問10-3 利用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

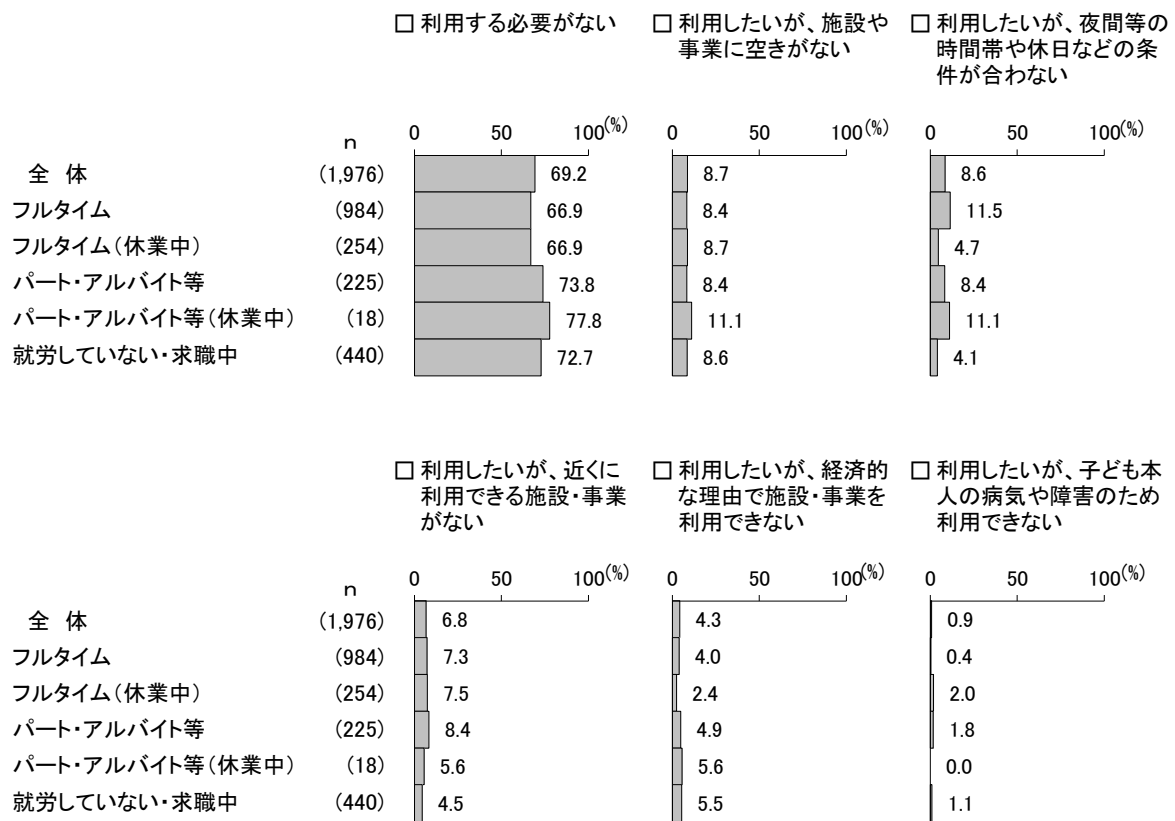
図表5-10

n = 1976



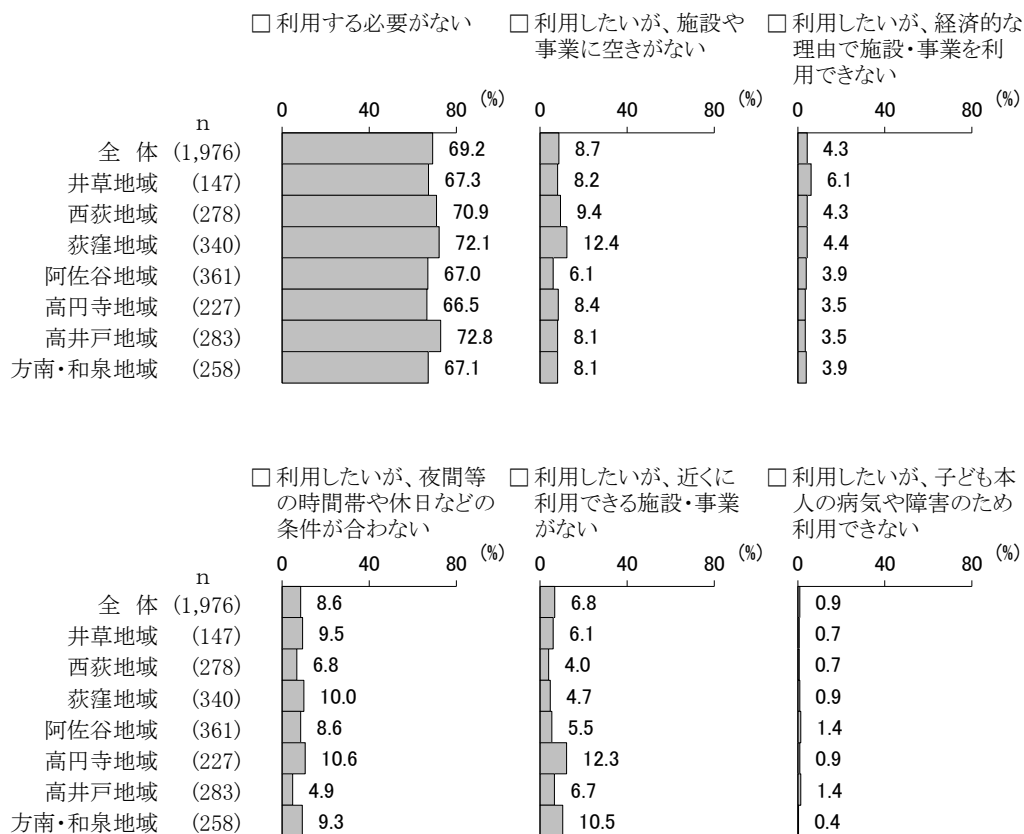
不定期の預かり事業を利用していない理由は、「利用する必要がない」が69.2%で最も高くなっているが、「利用したいが、施設や事業に空きがない」が8.7%、「利用したいが、夜間等の時間帯や休日などの条件が合わない」が8.6%、「利用したいが、近くに利用できる施設・事業がない」が6.8%で高くなっている。(図表5-10)

図表 5-11 不定期の預かり事業を利用していない理由（母親の就労状況別）



母親の就労状況別にみると、フルタイムにおいて、「利用したいが、夜間等の時間帯や休日などの条件が合わない」が 11.5%となっている。(図表 5-11)

図表5-12 不定期の預かり事業を利用していない理由（7地域別）

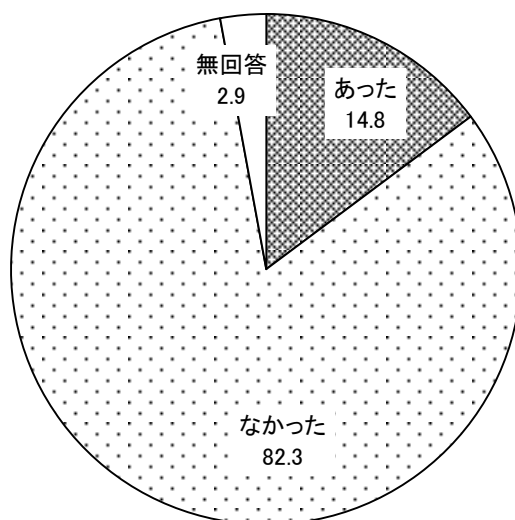


居住地域の7地域別にみると、荻窪地域は「利用したいが、施設や事業に空きがない」が12.4%で他の地域と比較して高くなっている。「利用したいが、近くに利用できる施設・事業がない」は高円寺地域が12.3%、方南・和泉地域が10.5%で他の地域と比較して高くなっている。(図表5-12)

(2) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無

問11 今年度（平成30年4月1日～12月31日）に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表5-13



n = 2978

%

この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無は、「あった」が14.8%、「なかった」が82.3%となっている。（図表5-13）

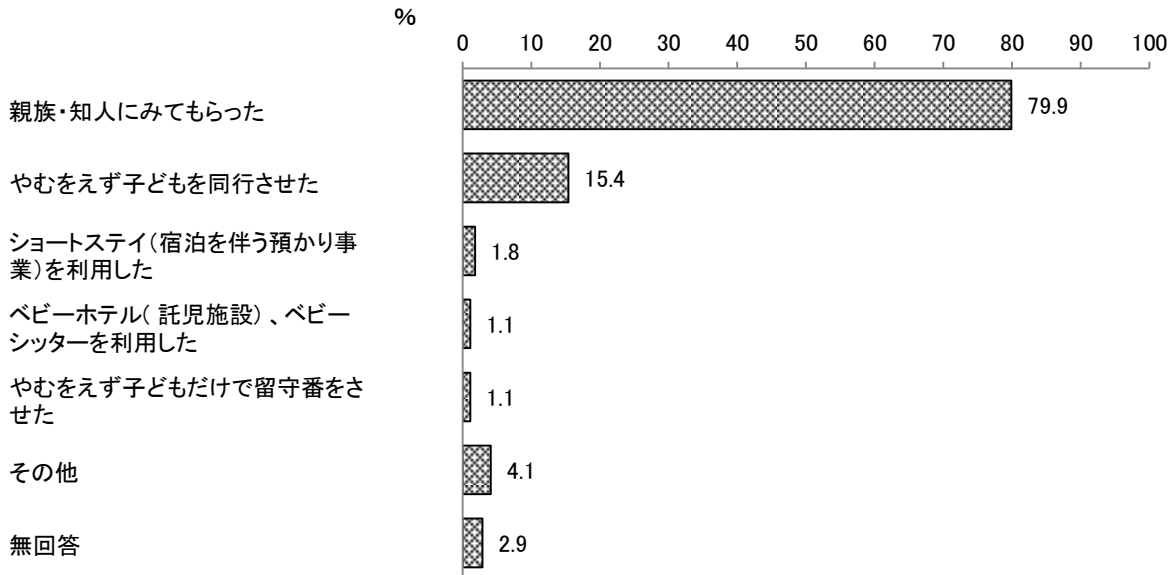
(2-1) 宿泊を伴って子どもを預けた際の行動

(問 11 で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。)

問 11-1 その際にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

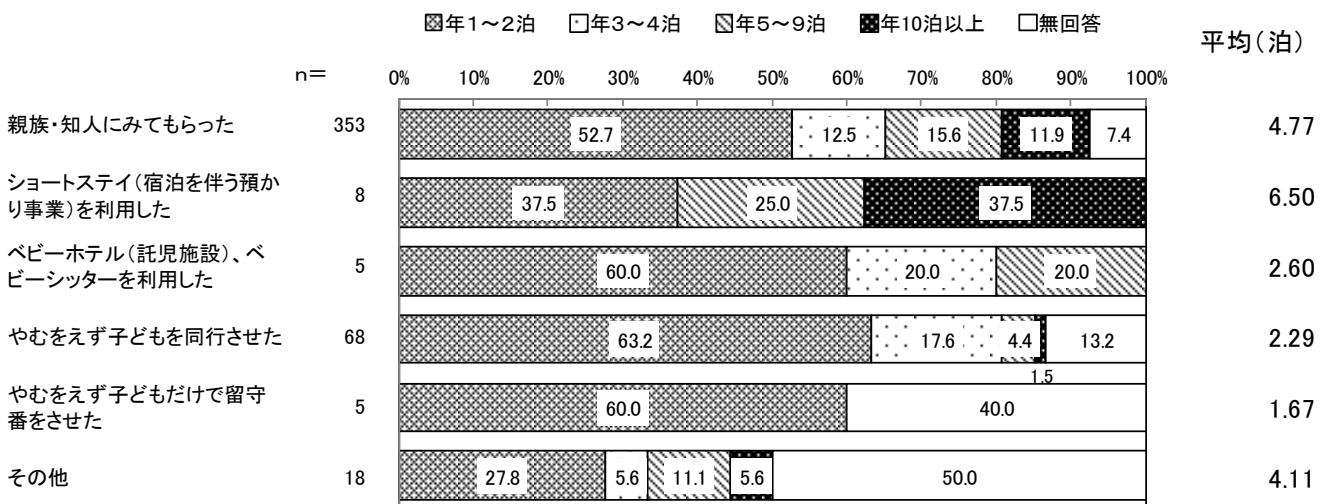
図表 5-14

n = 442



宿泊を伴って子どもを預けた際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が 79.9%で最も高く、次いで「やむをえず子どもを同行させた」が 15.4%となっている。(図表 5-14)

図表 5-15 子どもを預けた日数 (泊)



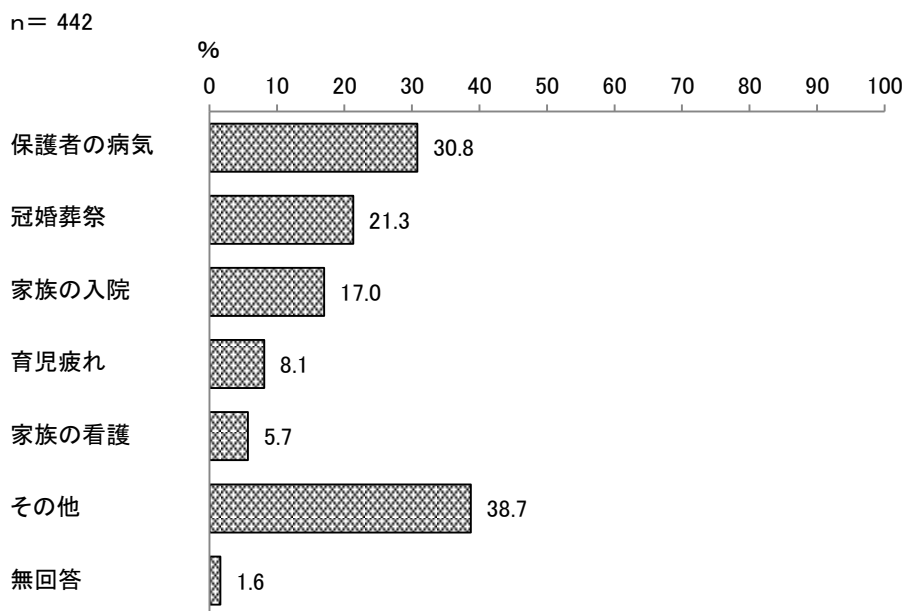
子どもを預けた日数は、「親族・知人にみてもらった」、「やむをえず子どもを同行させた」では、「年 1~2泊」が半数以上を占めている。(図表 5-15)

(2-2) 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった理由

(問11で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。)

問11-2 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった理由についてうかがいます。
当てはまるものすべてに○をつけてください。

図表5-16



泊りがけで家族以外にみてもらわなければならなかった理由は、「その他」を除くと、「保護者の病気」が30.8%で最も高く、次いで「冠婚葬祭」が21.3%、「家族の入院」が17.0%となっている。

(図表5-16)

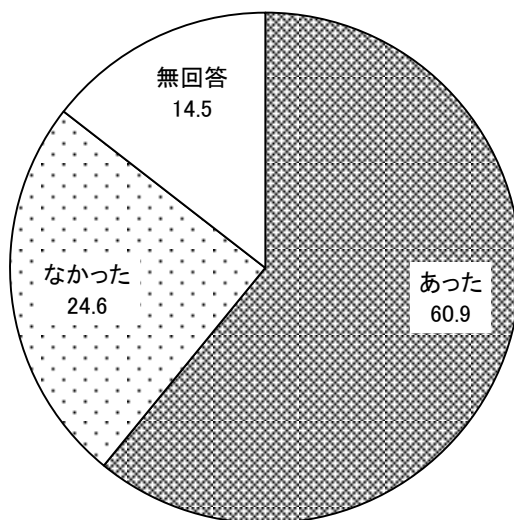
6. 子どもの病気の際の対応

(1) 子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無

(問9で、「利用している」に○をつけた方(定期的に施設・事業を利用していると答えた方)に
うかがいます。)

問12 今年度(平成30年4月1日~12月31日)で、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用
している施設・事業が利用できなかったことはありますか。当てはまるもの1つに○をつ
けてください。

図表6-1



n = 2186

%

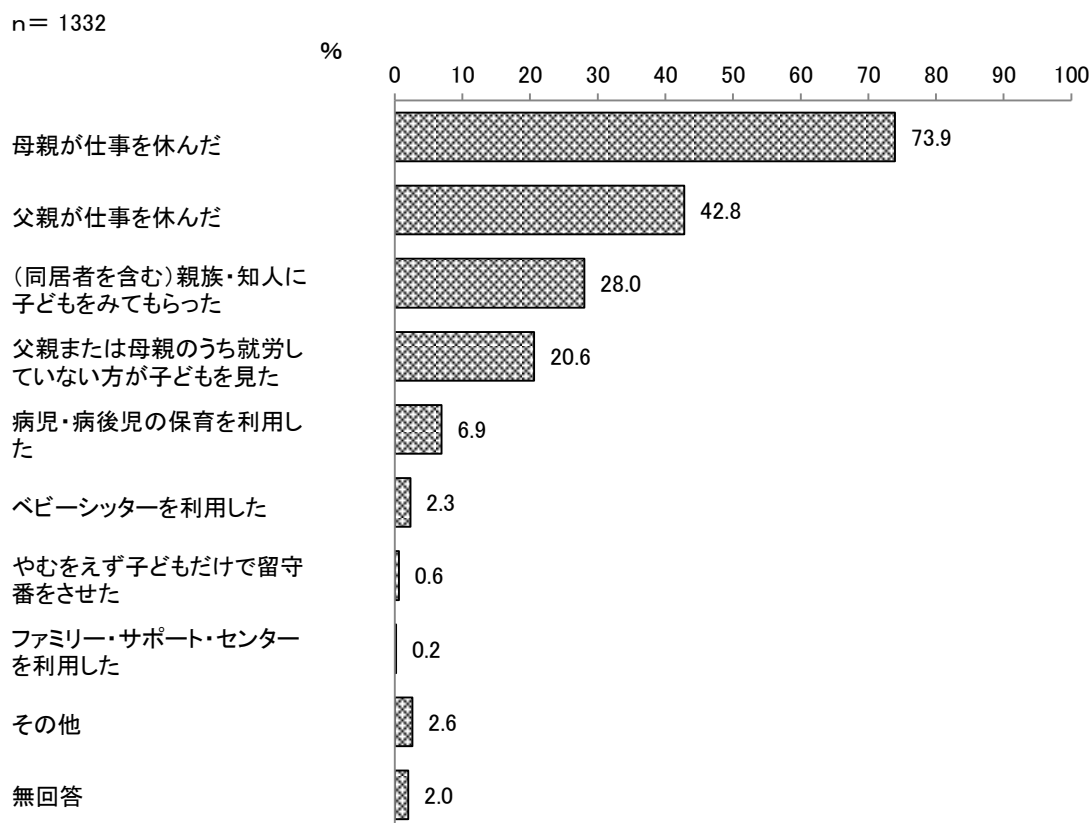
子どもが病気やケガで通常の施設・事業が利用できなかった経験の有無は、「あった」が60.9%、「な
かった」が24.6%となっている。(図表6-1)

(1-1) 施設・事業が利用できなかったときの対応

(問 12 で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。)

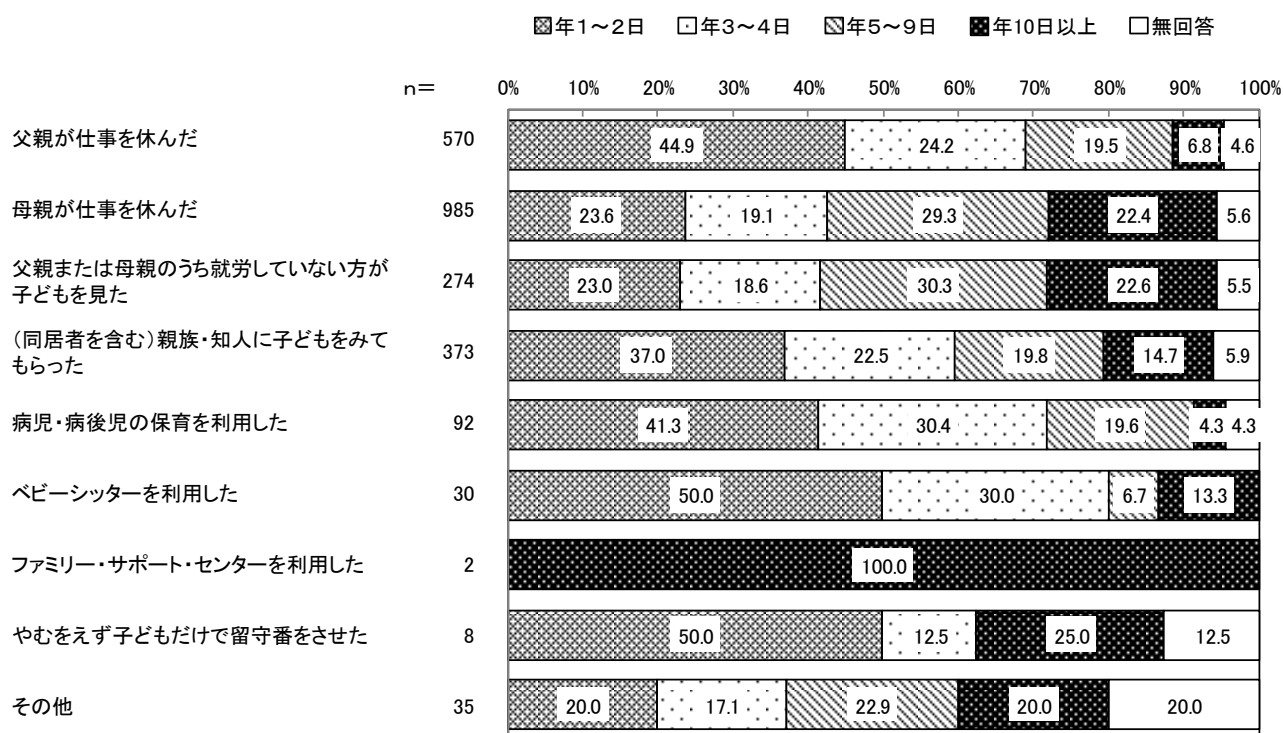
問 12-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかった場合に、今年度(平成 30 年 4 月 1 日～12 月 31 日)にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください)

図表 6-2



施設・事業が利用できなかったときの対応は、「母親が仕事を休んだ」が 73.9%で最も高く、次いで「父親が仕事を休んだ」が 42.8%、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が 28.0%となっている。(図表 6-2)

図表 6-3 施設・事業が利用できなかった時の対応日数



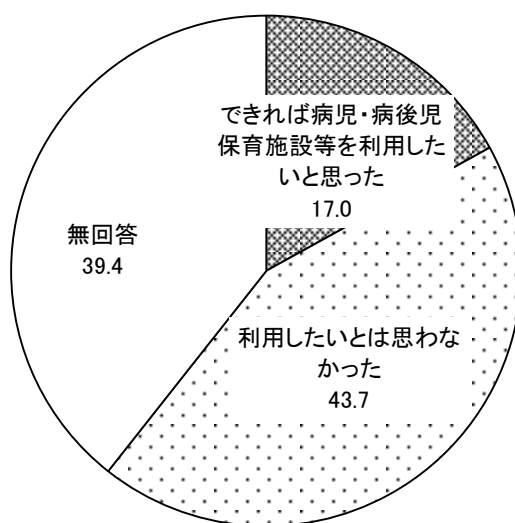
施設・事業が利用できなかった時の対応日数は、“父親が仕事を休んだ”では「年1~2日」が44.9%で最も高くなっている。“母親が仕事を休んだ”、“父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た”は「年5~9日」が3割前後で高くなっている。“病児・病後児の保育を利用した”、“ベビーシッターを利用した”は「年1~2日」が4割を超え高くなっている。(図表6-3)

(1-2) 病児・病後児のための保育施設等の利用希望

(問 12-1 で、「5」以外のいずれかに○をつけた方にうかがいます。)

問 12-2 お子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかった際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。(病児・病後児保育とは、一時的な病気等で通常の施設等が利用できない場合に、お子さんを預かる事業です。事前に登録が必要で、当日医師が利用の判断をします。1日2,500円かかります。)

図表 6-4



n = 2094

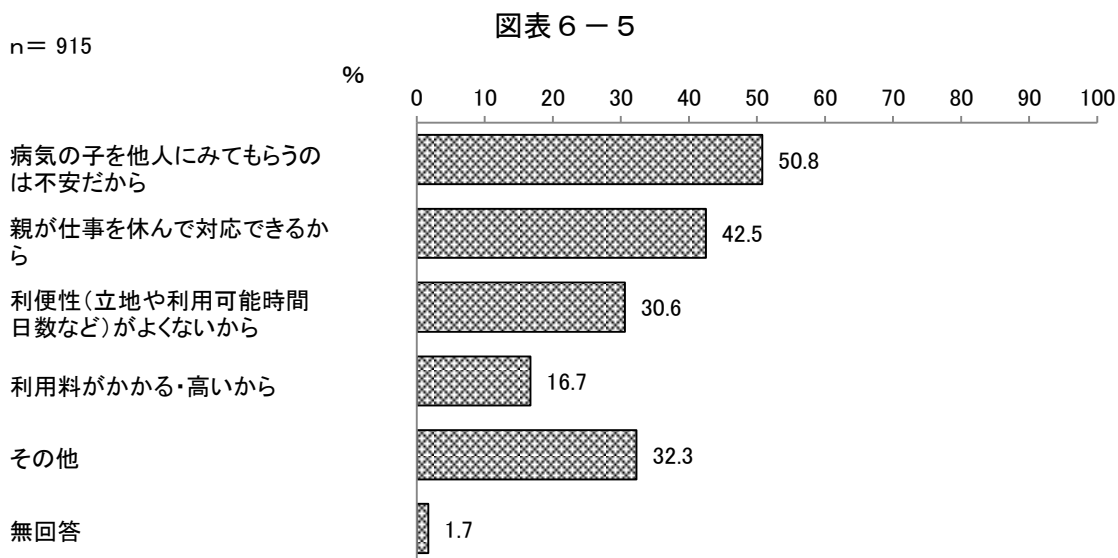
%

病児・病後児のための保育施設等の利用希望は、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った」が17.0%、「利用したいとは思わなかった」が43.7%となっている。(図表6-4)

(1-3) 病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由

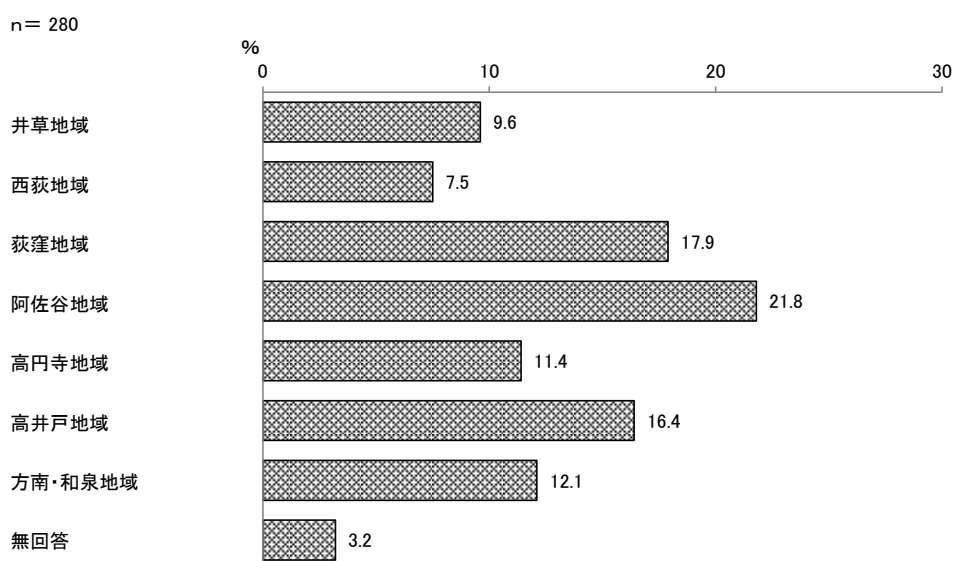
(問 12-2 で、「2 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。)

問 12-3 そう思われる理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。



病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない理由は、「病気の子を他人にみてもらうのは不安だから」が 50.8%で最も高く、次いで「親が仕事を休んで対応できるから」が 42.5%、「その他」が 32.3%となっている。(図表 6-5)

図表 6-6 利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくないため、病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない(7地域別)



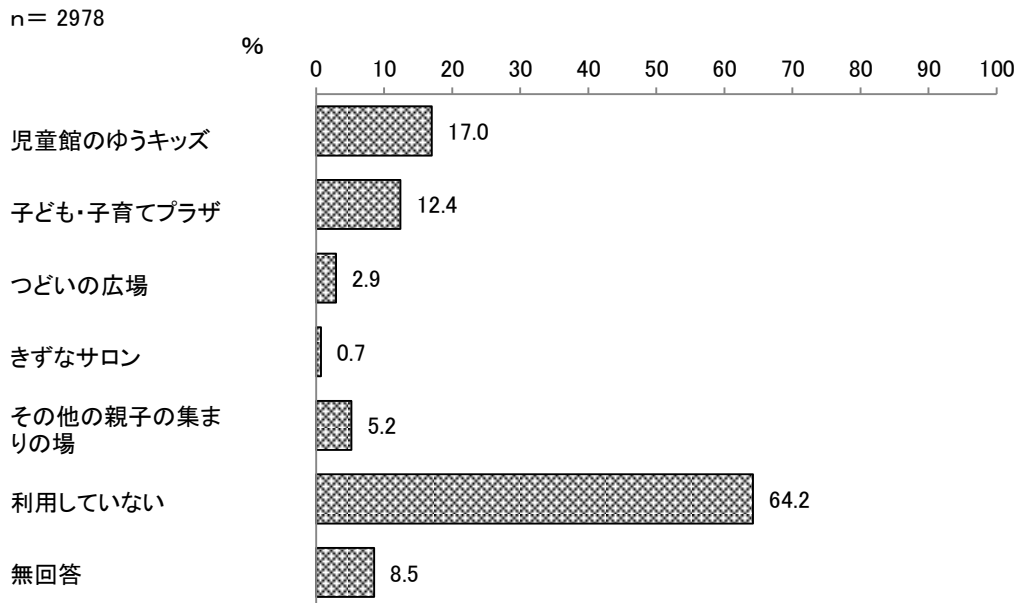
利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくないため、病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わない人を居住地の7地域別にみると、「阿佐谷地域」が 21.8%で最も高く、次いで「荻窪地域」が 17.9%、「高井戸地域」が 16.4%となっている。(図表 6-6)

7. 地域での親子の集まりの利用状況

(1) 親子が集まって過ごす事業の利用状況

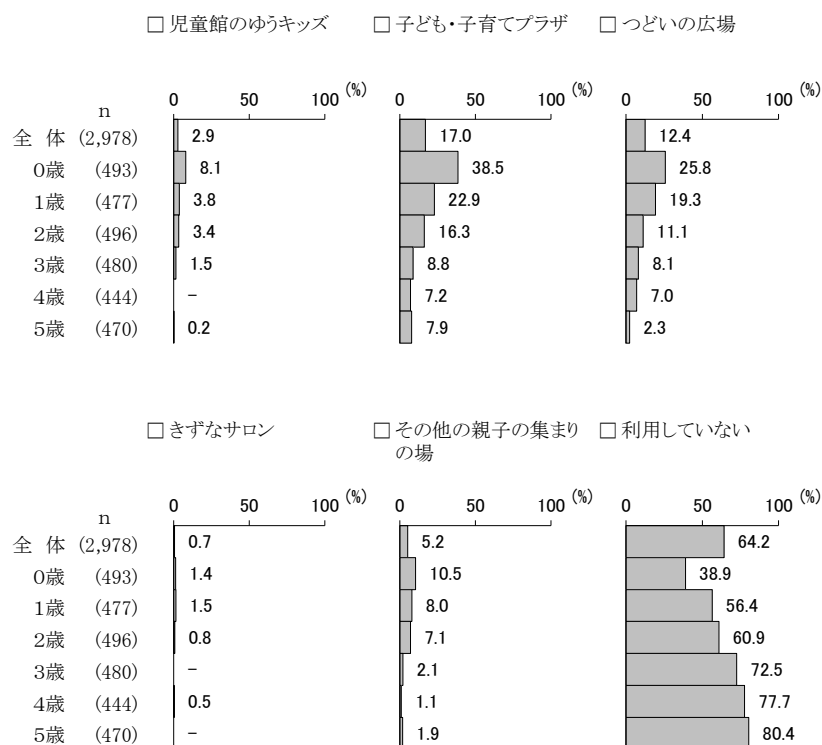
問 13 宛名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごす、以下の施設・事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

図表 7 - 1



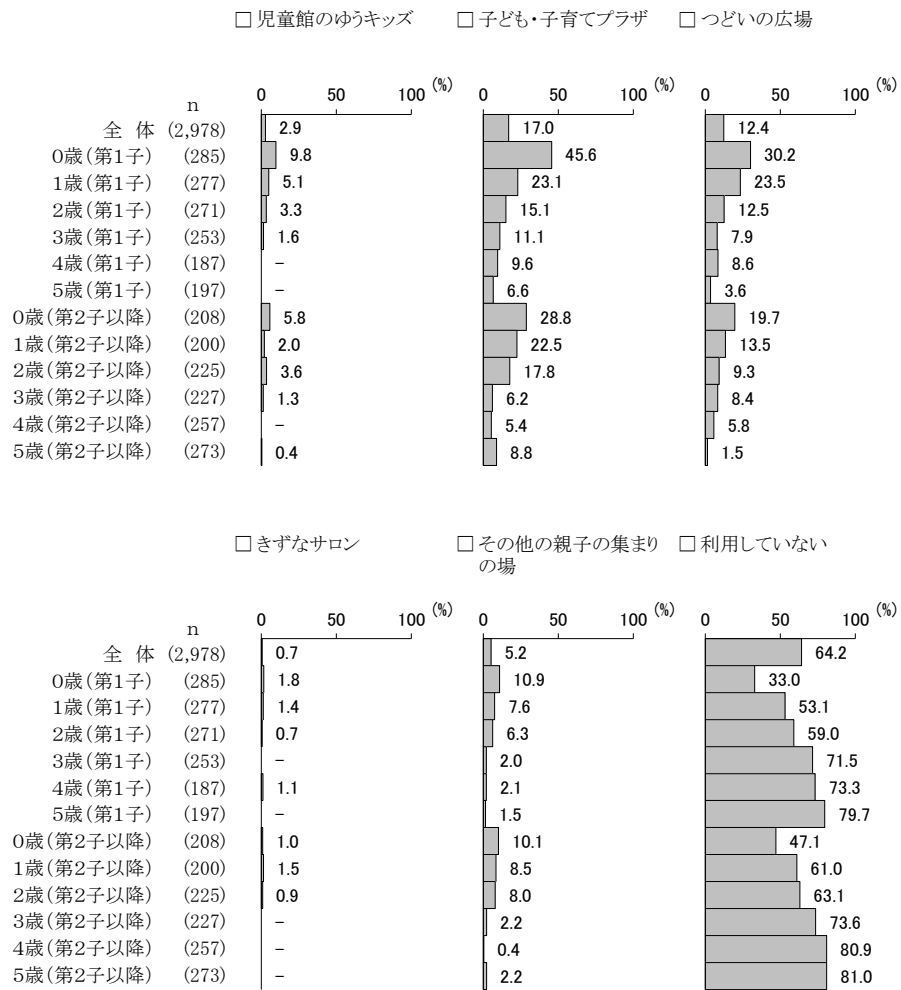
親子が集まって過ごす事業の利用状況は、「利用していない」が 64.2%で最も高くなっているが、利用されている施設・事業の中では、「児童館のゆうキッズ」が 17.0%で最も高く、次いで「子ども・子育てプラザ」が 12.4%となっている。（図表 7 - 1）

図表 7-2 親子が集まって過ごす事業の利用状況（子どもの年齢別）



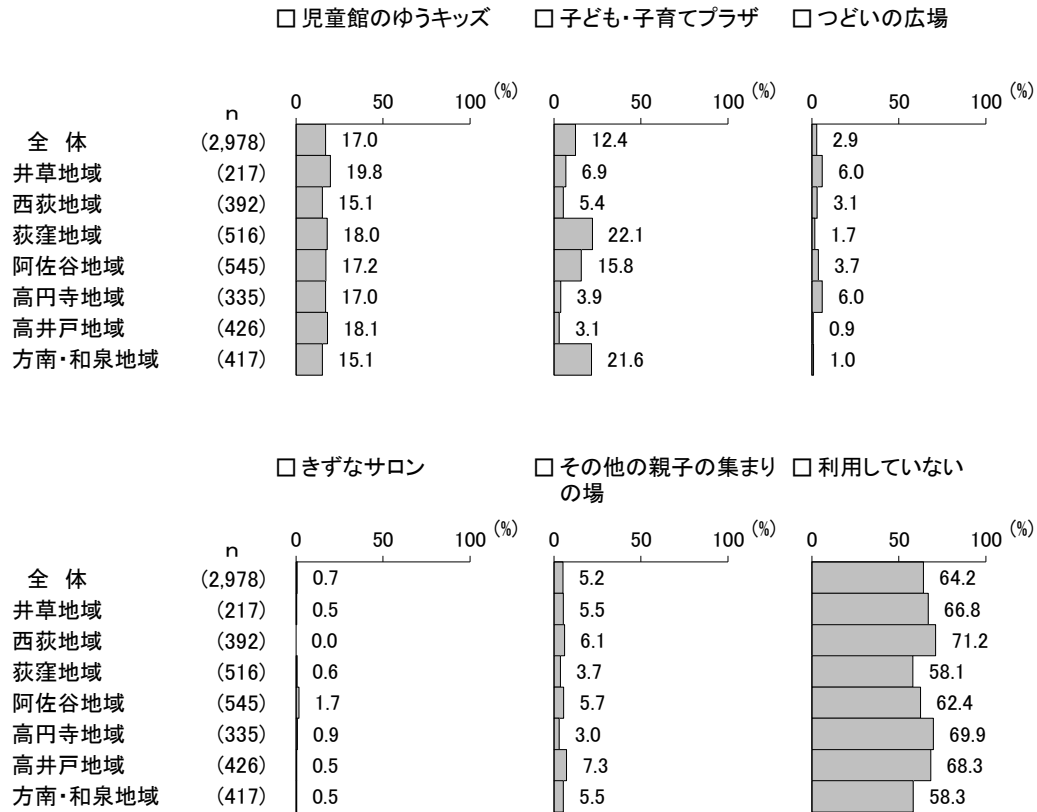
子どもの年齢別にみると、年齢が上がるにつれて「利用していない」が高くなる傾向がみられる。事業を利用している場合の利用率は0歳が最も高くなる傾向にある。（図表 7-2）

図表 7-3 親子が集まって過ごす事業の利用状況（子どもの年齢・出生順位別）



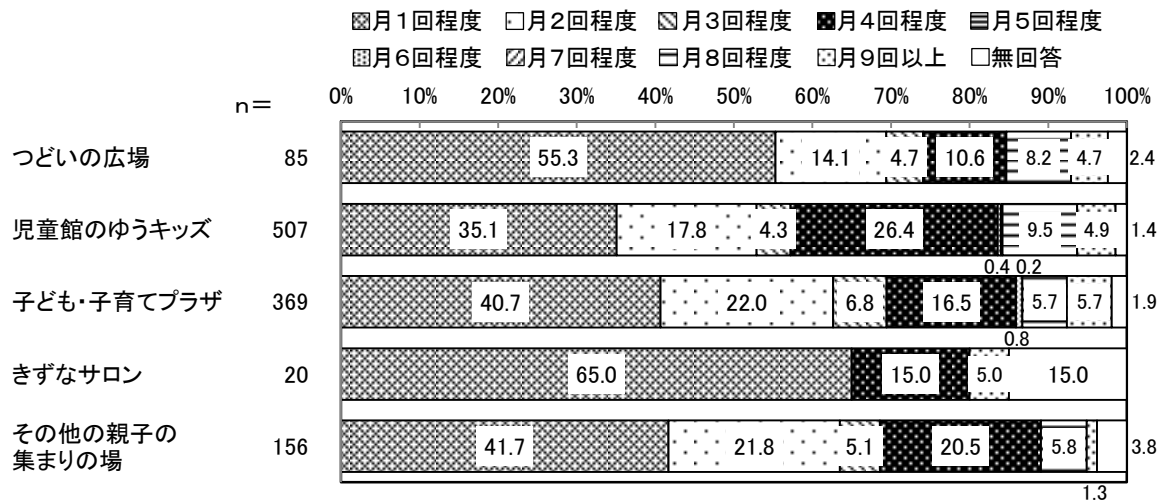
子どもの年齢・出生順位別にみると、第1子、第2子ともに年齢が上がるにつれて「利用していない」が高くなる傾向がみられ、上位3事業の利用率は0歳で最も高くなっている。また、おおむね第1子の利用率が高くなっており、0歳（第1子）は「子ども・子育てプラザ」が45.6%、「つどいの広場」が30.2%と高くなっている。（図表7-3）

図表 7-4 親子が集まって過ごす事業の利用状況（7地域別）



居住地域の7地域別にみると、すべての地域で「児童館のゆうキッズ」は1割台後半となっている。「子ども・子育てプラザ」は荻窪地域と方南・和泉地域で2割台、阿佐谷地域で15.8%と他の地域よりも高くなっている。一方、西荻地域、高円寺地域、高井戸地域で「利用していない」が7割前後と高くなっている。(図表7-4)

図表 7-5 親子が集まって過ごす事業の1月あたりの利用頻度



親子が集まって過ごす事業の1月あたりの利用頻度は、どの事業も「月1回程度」が最も高くなる傾向にあり、「つどいの広場」は55.3%、「きずなサロン」は65.0%と半数を超えて高くなっている。また、「児童館のゆうキッズ」は「月4回程度」が26.4%、「子ども・子育てプラザ」は「月2回程度」が22.0%、「その他の親子の集まりの場」は「月2回程度」が21.8%、「月4回程度」が20.5%で高くなっている。(図表7-5)

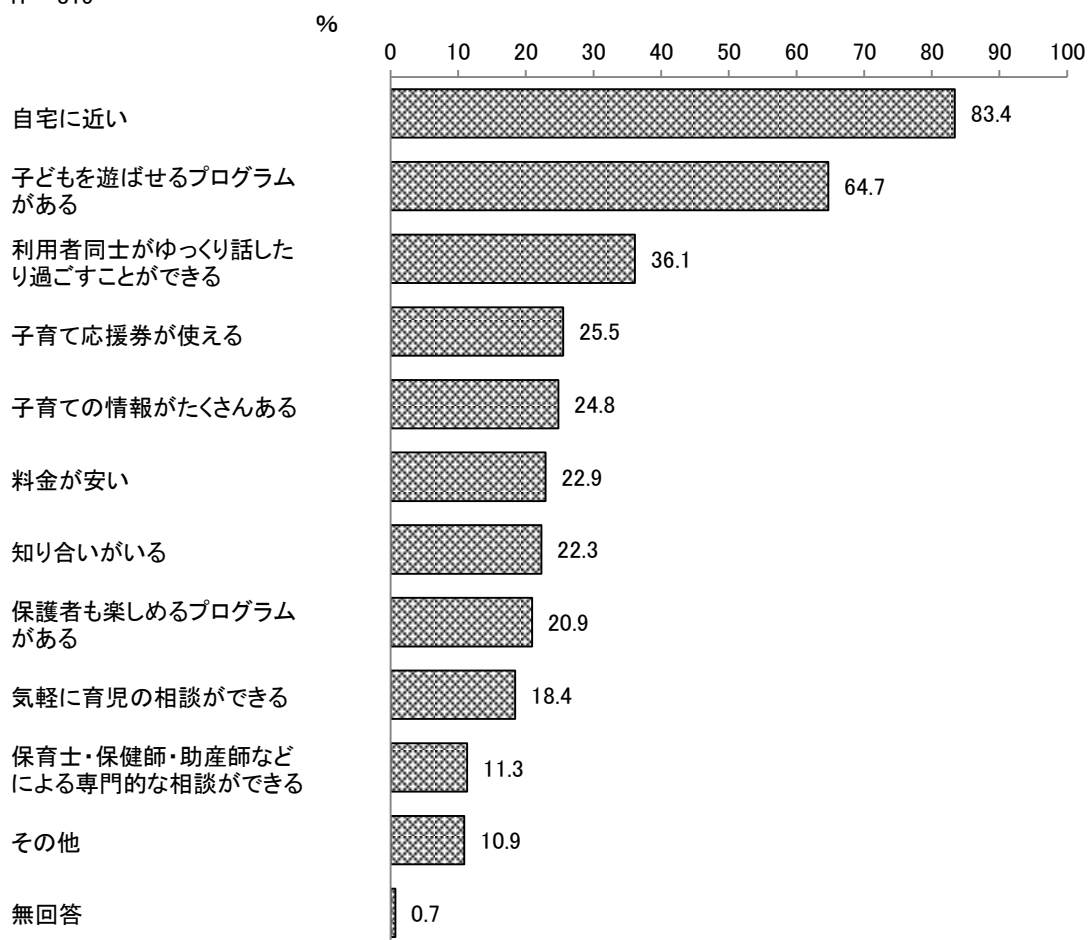
(1-1) 施設・事業を利用した際に大事だと思った点

(問13で、「1～5」に○をつけた方にうかがいます。)

問13-1 問13で回答した施設・事業を利用した際に、それらを利用する上で大事だと思った点はどのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

図表7-6

n = 815



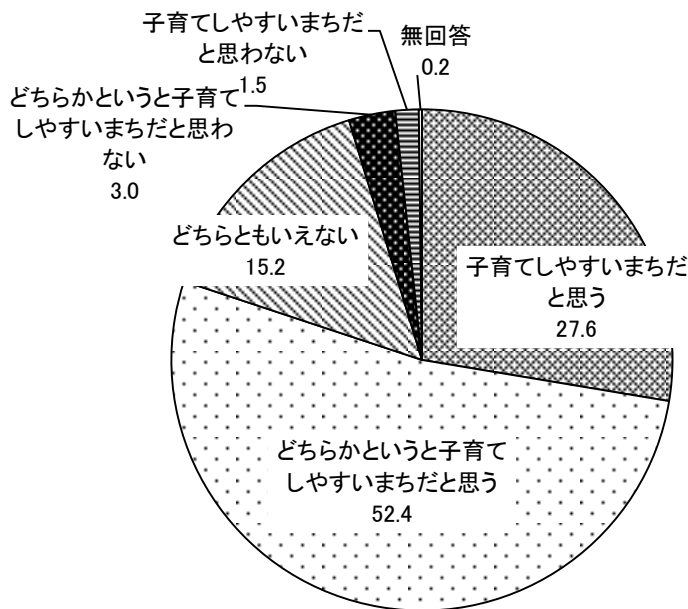
施設・事業を利用した際に大事だと思った点は、「自宅に近い」が83.4%で最も高く、次いで「子どもを遊ばせるプログラムがある」が64.7%、「利用者同士がゆっくり話したり過ごすことができる」が36.1%となっている。(図表7-6)

8. 杉並区の子育てについて

(1) 杉並区の子育てのしやすさ

問 14 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表 8-1

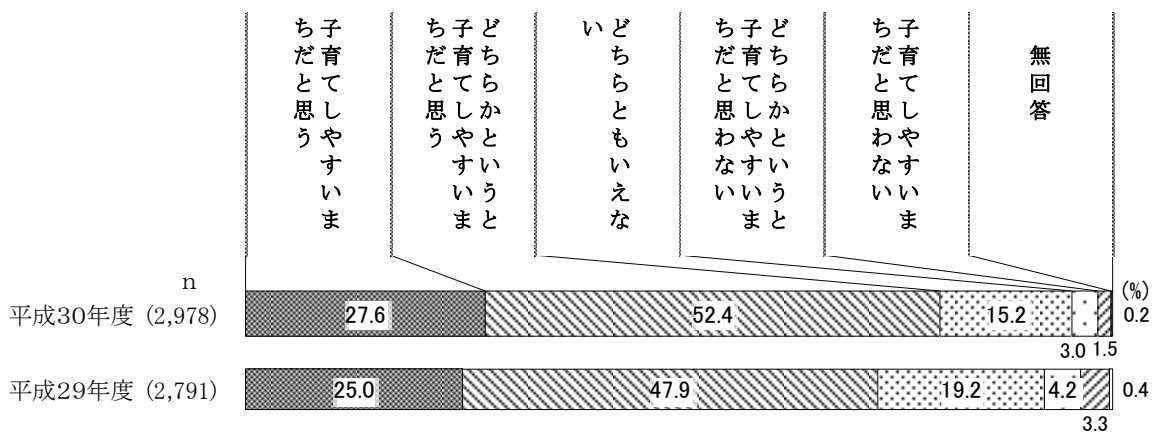


n = 2978

%

杉並区の子育てのしやすさは、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」が52.4%で最も高く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」が27.6%となっており、「子育てしやすいまちだと思う」と「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」をあわせた『子育てしやすいまちだと思う(計)』は80.0%となっている。(図表8-1)

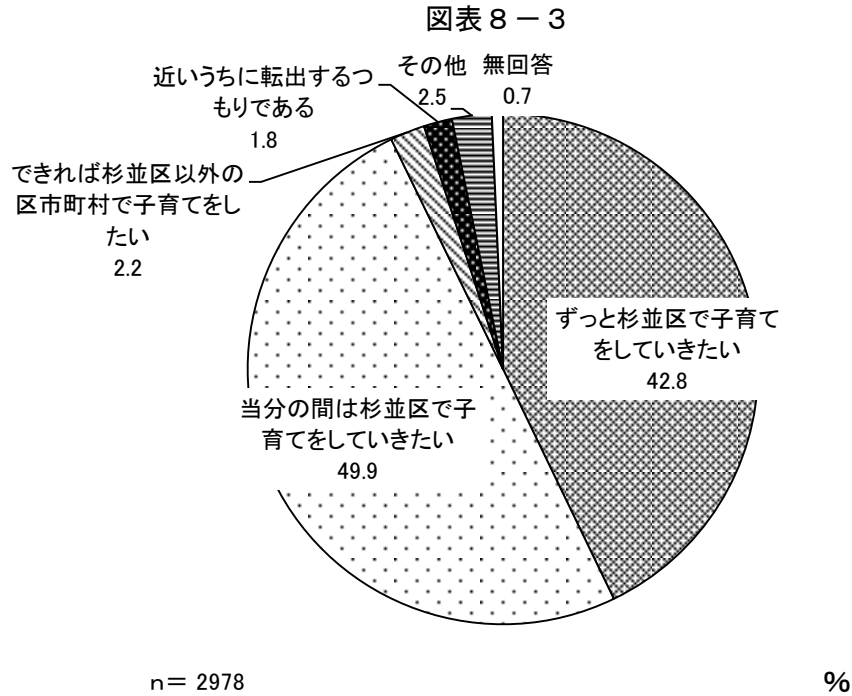
図表 8-2 杉並区の子育てのしやすさ (経年比較)



前回調査(平成29年度)と比較すると、『子育てしやすいまちだと思う(計)』は7.1ポイント増加している。(図表8-2)

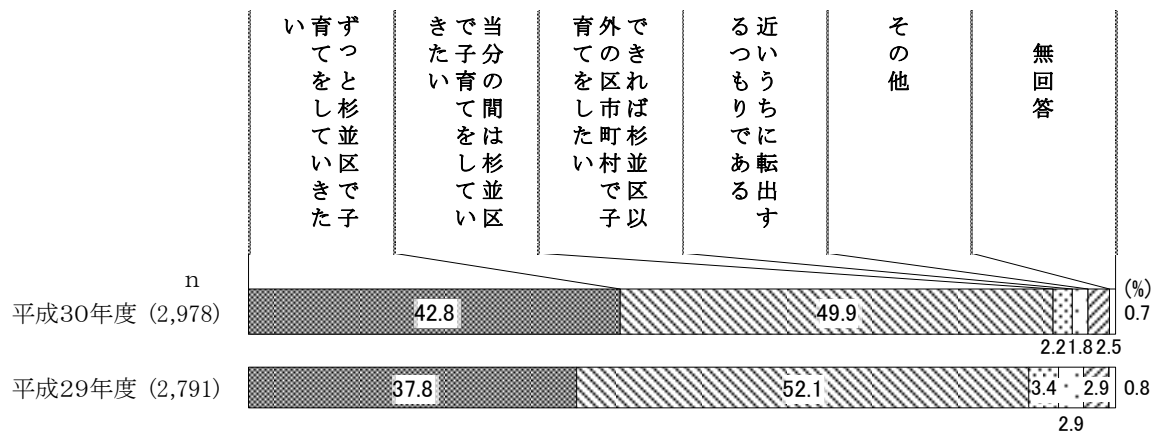
(2) 杉並区での子育ての継続意向

問 15 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。



杉並区での子育ての継続意向は、「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」が 49.9%で最も高く、次いで「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」が 42.8%となっており、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」と「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」をあわせた『杉並区で子育てをしていきたい (計)』は 92.7%となっている。(図表 8-3)

図表 8-4 杉並区での子育ての継続意向 (経年比較)



前回調査(平成 29 年度)と比較すると、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」は 5.0 ポイント増加している。(図表 8-4)

(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見

問 16 すべての方に伺います。最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

杉並区の子育て環境や支援に関する意見を自由に記述していただいたところ、1,933 人から 2,452 件の回答が寄せられた。以下に主なものを抜粋して掲載する。

1 保育に関するご意見

○施策に関すること (135 件)

- ・ 保育園の増設はありがたいが、まだまだ入りたくても入れない。誰でも入れるようになるといい。
(他、同趣旨 50 件)
- ・ 保育園が増えるはいいことだが、民営化は反対。(他、同趣旨 9 件)
- ・ パートやアルバイトでも預けることができる保育施設があると、働くことができる。
(他、同趣旨 9 件)
- ・ 小規模保育事業所に通っている。卒園後の預け先を確保してほしい。(他、同趣旨 6 件)
- ・ 4 月以外 (年度途中) から入所できるようにしてほしい。(他、同趣旨 3 件)

○運営に関すること (110 件)

- ・ 保育園をただ増やすのではなく、質の良い、安心して子どもを預けられる所であってほしい。
(他、同趣旨 47 件)
- ・ 園庭がない小さな園が増えているが、少し大きめで園庭のある園を作ってほしい。
(他、同趣旨 19 件)
- ・ 使用済みおもむつの持ち帰りを、ぜひ改善して、園での処分にしてほしい。(他、同趣旨 8 件)

○入園審査に関すること (60 件)

- ・ 兄弟そろって同じ園に入所ができない点を改善してほしい。(他、同趣旨 5 件)
- ・ 記入する書類が多い。申請から認定までの日数をもう少し早めてほしい。(他、同趣旨 5 件)
- ・ 転職の場合、次の仕事の就労開始日を一日も空けずに決めなければならないというのは、厳しい。
(他、同趣旨 4 件)

2 幼稚園・子供園に関するご意見

○不足・拡充に関すること (33 件)

- ・ 区立の子供園が少なく、3 年保育の枠も少ない。

○一時預かりに関すること (15 件)

- ・ 幼稚園の一時預かり保育の時間を延長してほしい。

3 病児保育に関するご意見

○不足・拡充に関すること（139件）

- ・病児保育の施設を増やしてほしい。予約の電話が繋がらず、利用したくても利用できない。
- ・各地域に1つぐらいあると助かる。病気の子を預けるのに、バス等を利用して遠くまで行くのでは、親子ともに負担。

○病児対応に関すること（2件）

- ・病児保育施設を整備するのではなく、病気（ケガ）の子どもを守るために、仕事を休みにしやすい環境を社会全体で整えてほしい。

4 一時預かりに関するご意見

○不足・拡充に関すること（91件）

- ・急に預けたい時が多いのに、事前の予約が必要で使えない。
- ・不定期に利用できる一時預かりの場所が少なく、当日空きがあれば利用できる助かる。
- ・日曜も利用できるようにしてほしい。
- ・夜間でも親の介護や入院手配、通院介護があるが、夜間の一時預かりの施設がない。

○手続きに関すること（31件）

- ・施設ごとに条件が違い、それぞれ事前に登録に行かないと申し込みが出来ないことを改善してほしい。

○料金に関すること（11件）

- ・利用料が高く、リフレッシュ等で預けたいと思っても利用できない。

5 児童館に関するご意見

○運営に関すること（41件）

- ・児童館の職員は親切だが、いつも参加したいと思うようなプログラムがない。
- ・プログラムはやや母子向けなので、父親も楽しめる雰囲気欲しい。

○廃止に関すること（27件）

- ・児童館を減らさないでほしい。

6 子ども・子育てプラザに関するご意見

○不足・拡充に関すること（9件）

- ・開館時間が長く、本当に助かっている。施設をもっと増やしてほしい。

○運営に関すること（8件）

- ・赤ちゃん向きのプログラムばかりで利用しづらくなった。
- ・いつも混んでいる。

7 ゆうキッズ・つどいの広場に関するご意見

○運営に関すること（17件）

- ・つどいの広場は、貴重な遊びの場になっている。
- ・ゆうキッズでは、育児の悩みなど相談できとても助かった。
- ・日曜日にも、親子で楽しめるプログラムが増えるとありがたい。
- ・小学校の長期休暇に合わせて、ゆうキッズのプログラムが休みになってしまうのが残念。

○不足・拡充に関すること（4件）

- ・つどいの広場の数が少なすぎる。子ども・子育てプラザも新しく増えているが、遠い。
- ・ゆうキッズのプログラムは参加者が多く、危なく感じる事がある。分散して開催できるよう施設を増やしてほしい。

8 情報に関するご意見

○不足・拡充に関すること（25件）

- ・地域の子育て情報を知る機会がないので、もっと情報がほしい。
- ・他市で出産後し転入した場合、子育てに関する情報がない。

○わかりやすさ等に関すること（23件）

- ・いろいろな情報が分散しているので一元化してほしい。
- ・子育てに関する情報がわかりやすく、まとまって見られるサイトがあると良い。区のホームページがわかりにくい。

9 ファミリー・サポート・センターに関するご意見

○不足・拡充に関すること（28件）

- ・登録しても、人がいないと言われ、断られている。もっと活用できるようにしてほしい。

○手続きに関すること（10件）

- ・就労しているので、平日だけでなく、土日の受付や面接など、もっと登録しやすくしてほしい。

10 相談に関するご意見

○気軽に相談できる体制等に関すること（25件）

- ・平日勤務のため、土日にも相談できるようにしてほしい。
- ・「すこやか赤ちゃん訪問」のように、自宅に来て話しを聞いてくれたり、子どもの様子を見てもらえる機会を増やしてほしい

11 公園整備等に関するご意見

○公園の設備に関すること（39件）

- ・公園のトイレが清潔でなく、照明が暗い。
- ・遊具をもっと増やしてほしい。

○不足・拡充に関すること（37件）

- ・公園が少なすぎる。もっと広い公園を作してほしい。

12 その他

○子育て応援券に関すること（550件）

- ・使える場所が平日の昼間のことが多く、共働きでも使いやすいように、土日に使える場所や、使える用途を増やしてほしい。（他、同趣旨 383件）
- ・応援券はとても役立っている。子どもにもいろいろな経験をさせてあげられた。
（他、同趣旨 100件）
- ・ほとんど使用せずに終わったので、違った形で支援してほしい。（他、同趣旨 64件）

○学童クラブに関すること（171件）

- ・保育園等の施設は、だいぶ増えてきたが、学童クラブの受入れ数が十分ではないので整備してほしい。（他、同趣旨 84件）
- ・まだ少し先だが、学童クラブに入れないことが心配。（他、同趣旨 84件）

第3章 小学生調査の結果

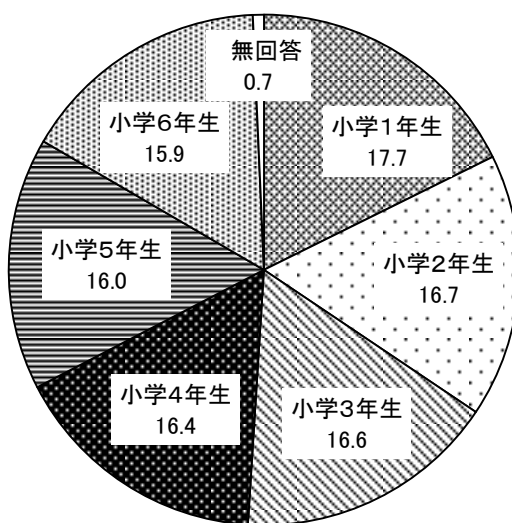
第3章 小学生調査の結果

1. 家族の状況

(1) 宛名の子どもの学年

問1 宛名のお子さんの生年月、学年をご記入ください。

図表1-1



n = 2893

%

宛名の子どもの学年は、どの学年も1割半ばとなっており、おおむね均等に回答が得られた。(図表1-1)

(2) 宛名の子どもの家族

問2 宛名のお子さんのご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。

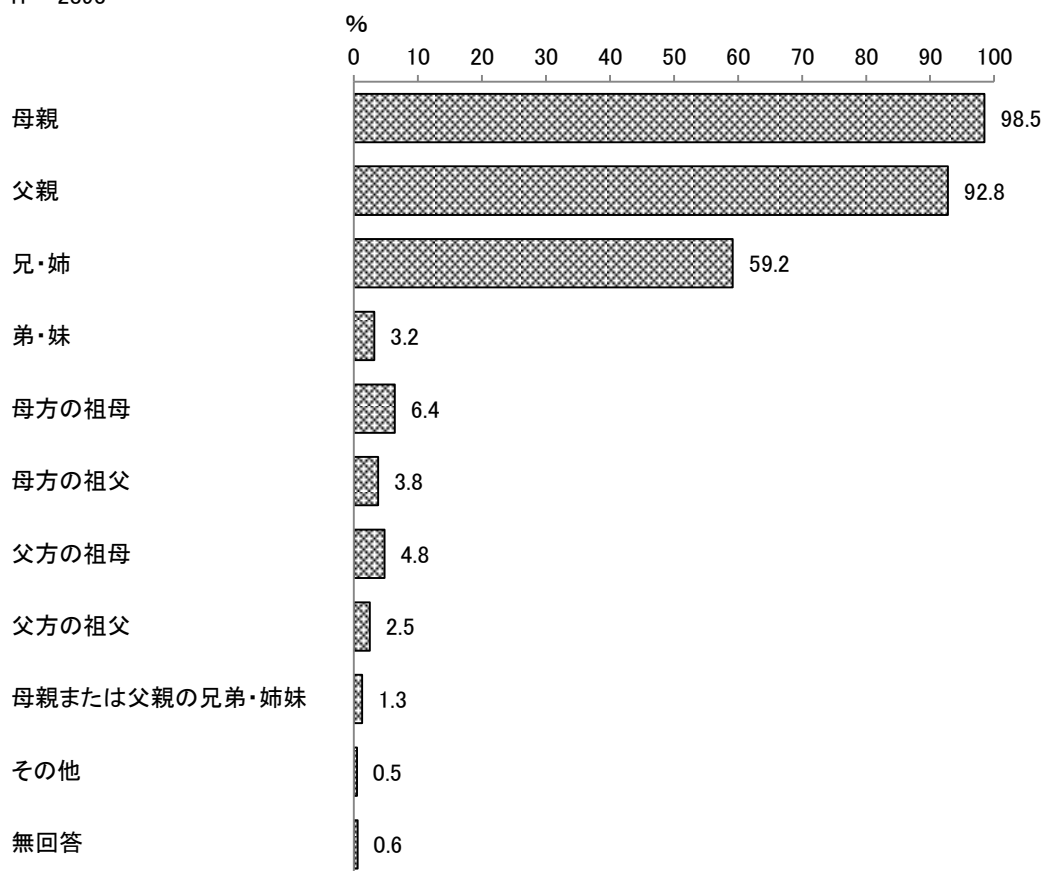
ご家族とは、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含まれます。

※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めください。

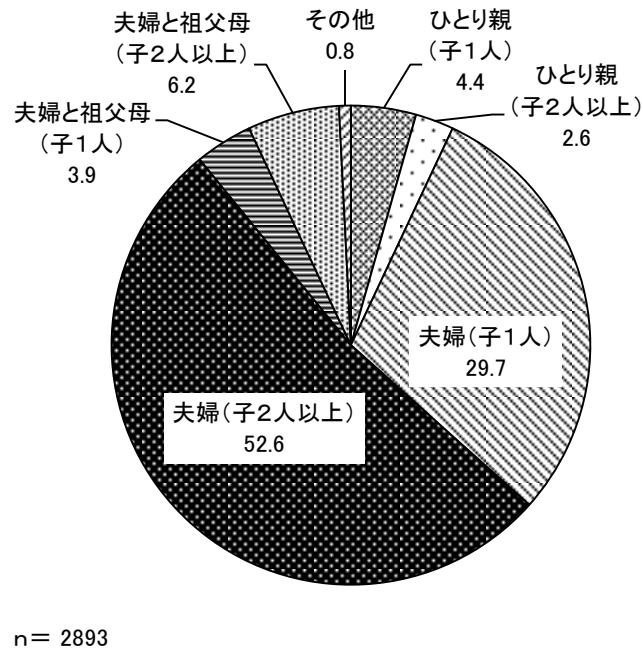
図表 1 - 2

n = 2893



宛名の子どもの家族は、「母親」が 98.5% で最も高く、次いで「父親」が 92.8%、「兄・姉」が 59.2% となっている。(図表 1 - 2)

図表 1-3 宛名の子どもの家族（家族構成）

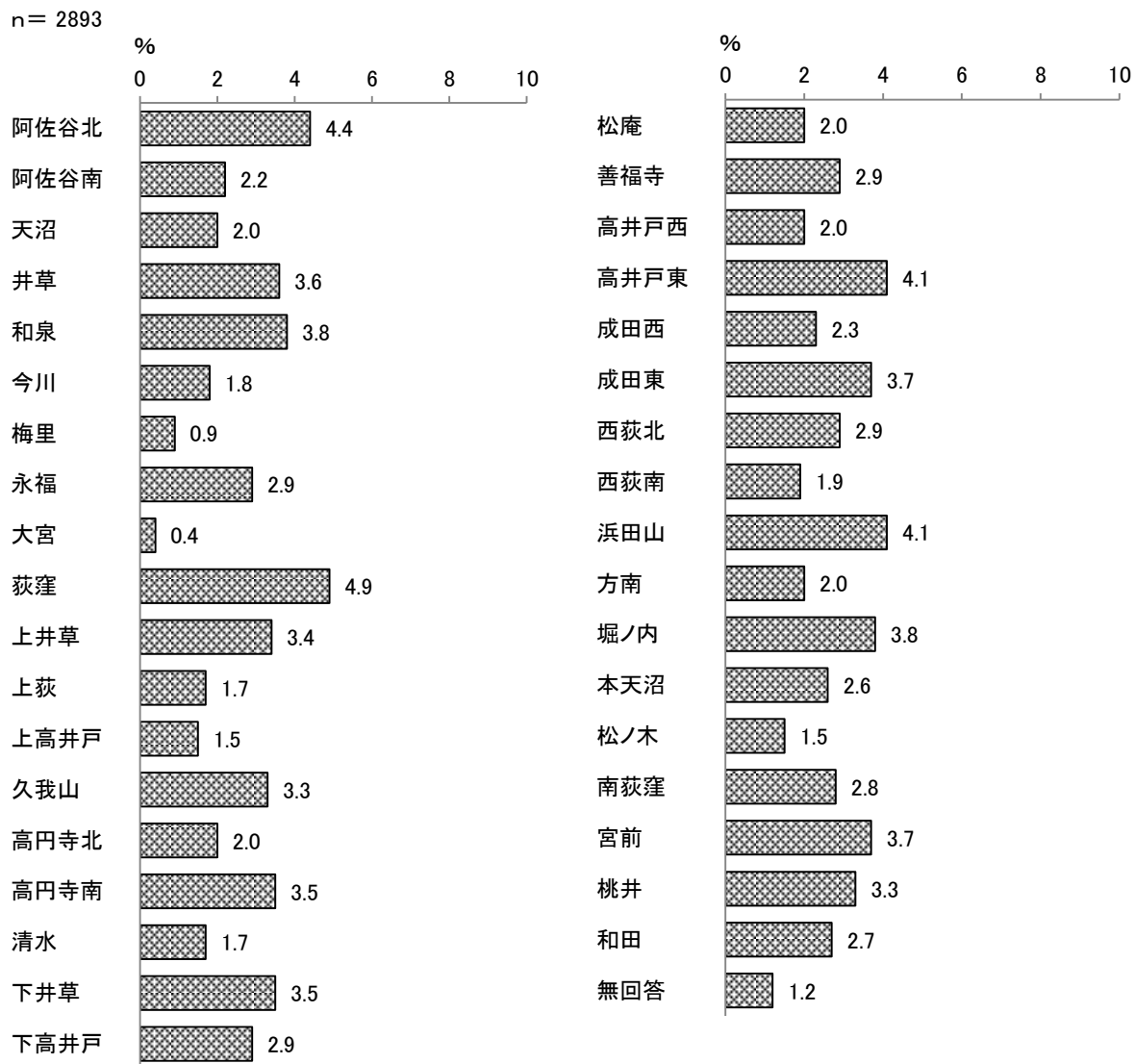


宛名の子どもの家族の家族構成は、「夫婦（子2人以上）」が52.6%で最も高く、次いで「夫婦（子1人）」が29.7%となっている。（図表1-3）

(3) 居住地域

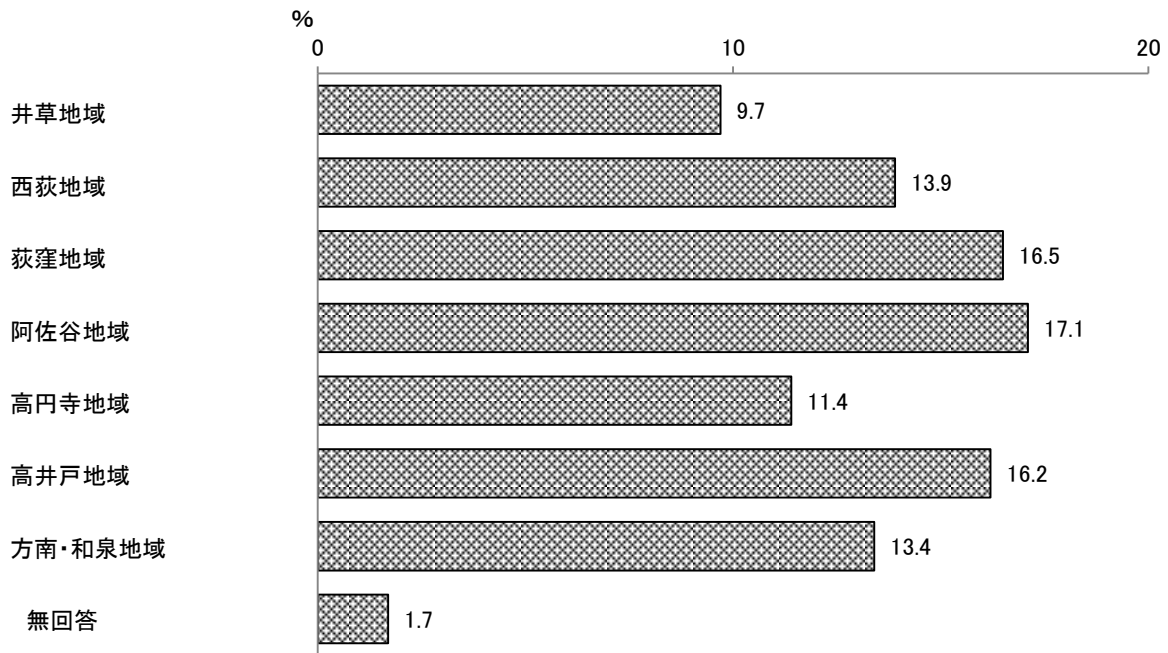
問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表1-4



図表 1 - 5 居住地域（7地域別）

n = 2893

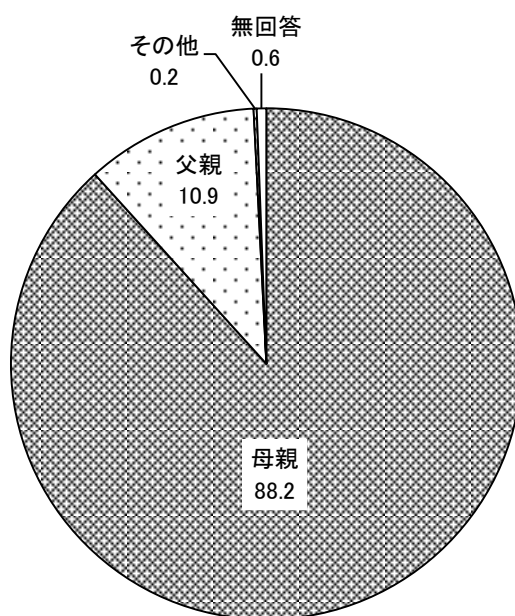


※居住地域の分類は、町名と丁目の結果を用いて行った。町名、丁目のいずれかが無回答の場合は、「無回答」に分類しているため、78 ページの居住地域の結果と無回答の割合が異なる。

(4) 記入者

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表1-6



n = 2893

%

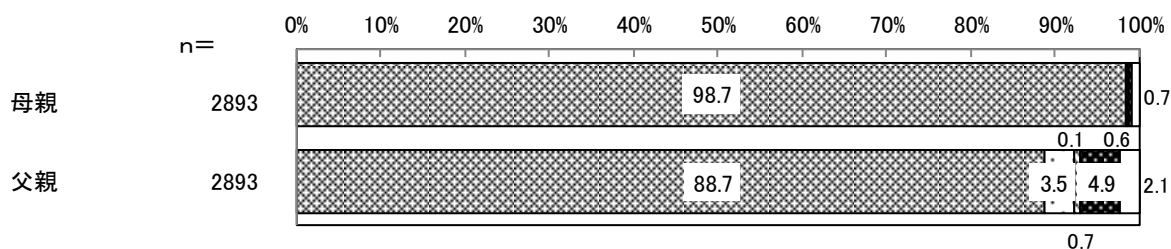
記入者は、「母親」が88.2%で最も高く、次いで「父親」が10.9%となっている。(図表1-6)

(5) 保護者の状況

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

図表1-7

- 一緒に住んでいる
- 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる
- ▨別居している
- 死亡、離婚、未婚などでいない
- 無回答



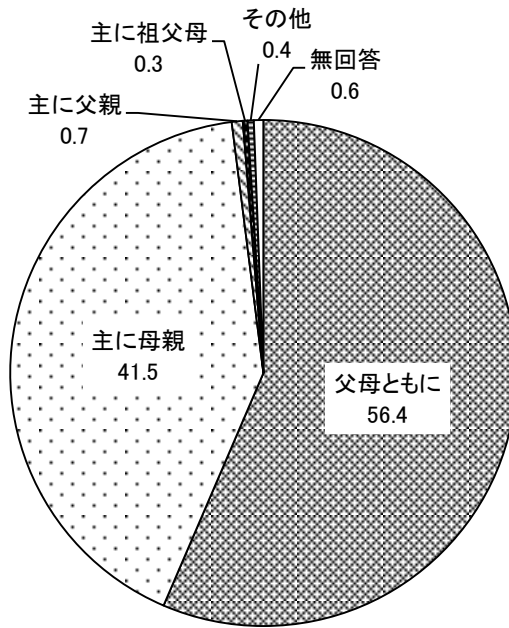
保護者の状況は、母親・父親ともに、「一緒に住んでいる」が最も高くなっている。(図表1-7)

2. 子育ての環境

(1) 子育てを主に行っている人

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表2-1

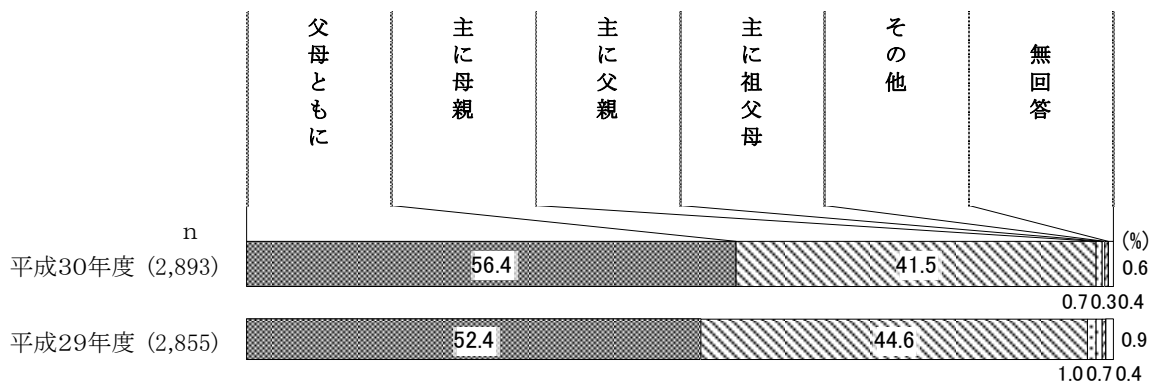


n = 2893

%

子育てを主に行っている人は、「父母ともに」が56.4%で最も高く、次いで「主に母親」が41.5%となっている。（図表2-1）

図表2-2 子育てを主に行っている人（経年比較）

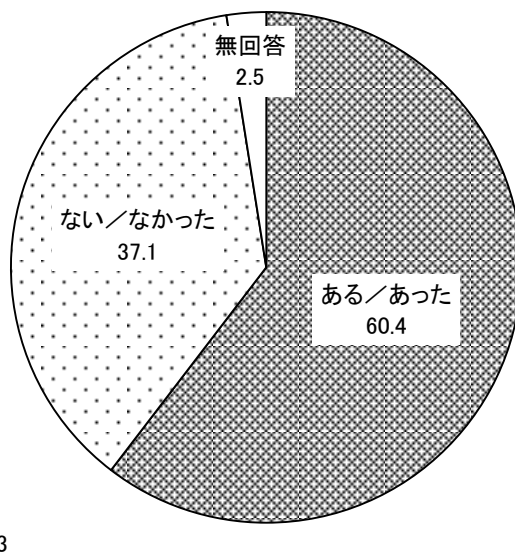


前回調査(平成29年度)と比較すると、「父母ともに」は4.0ポイント増加している。（図表2-2）

(2) 子育てをする上での心配や悩み

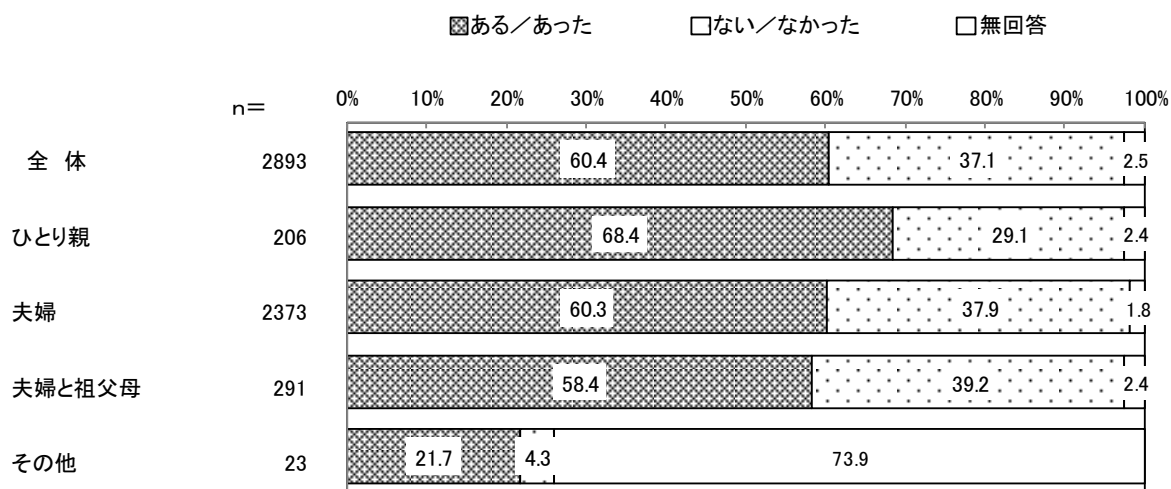
問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表 2-3



子育てをする上での心配や悩みは、「ある/あった」が60.4%、「ない/なかった」が37.1%となっている。(図表2-3)

図表 2-4 子育てをする上での心配や悩み (家族構成別)

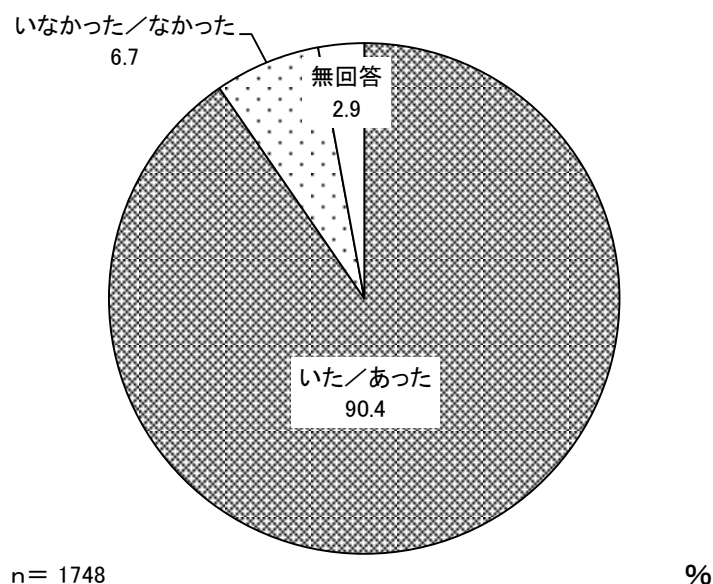


家族構成別にみると、どの家族構成でも心配や悩みが「ある/あった」が「ない/なかった」を上回っているが、ひとり親は68.4%で他の層よりも高くなっている。(図表2-4)

(2-1) 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無

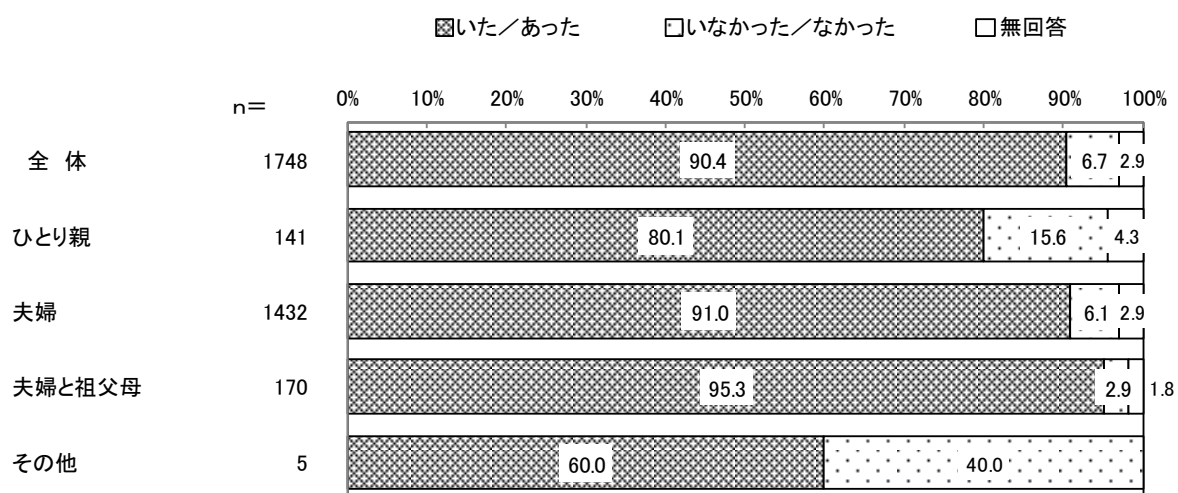
問7-1 宛名のお子さんの子育てをする上での悩みなどについて、相談できる人はいましたか。または、相談できる場所がありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表2-5



子育てに関して気軽に相談できる相手の有無は、「いた/あった」が90.4%、「いなかった/なかった」が6.7%となっている。(図表2-5)

図表2-6 子育てに関して気軽に相談できる相手の有無(家族構成別)



家族構成別にみると、ひとり親は気軽に相談できる相手が「いなかった/なかった」が15.6%で他の層よりも高くなっている。(図表2-6)

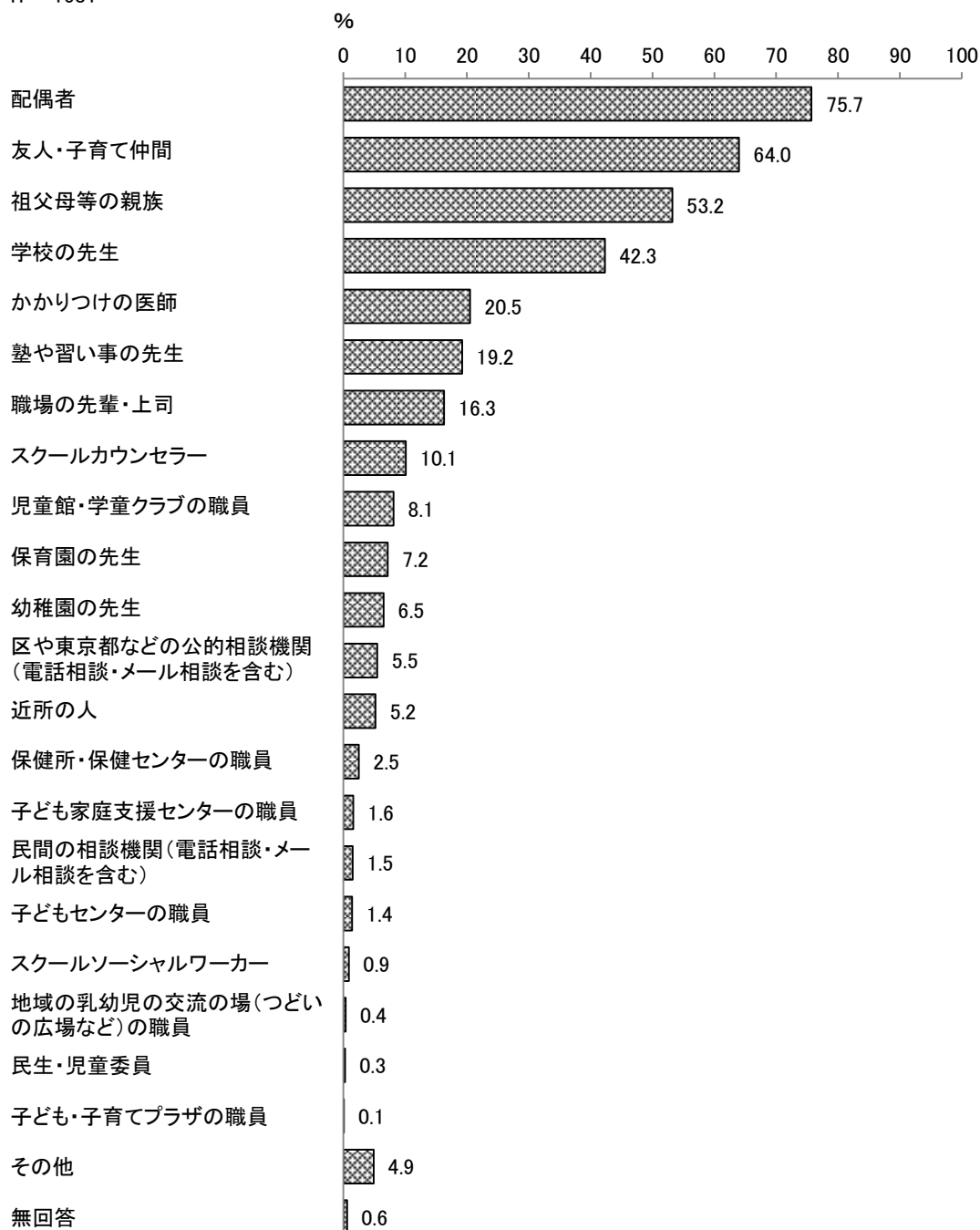
(2-2) 子育てに関する相談先

(問7-1で、「1 いた/あった」に○をつけた方にかがいます。)

問7-2 今年度(平成30年4月1日~12月31日)に、お子さんの子育てに関して相談した先は誰(どこ)ですか。当てはまるものすべてに○をつけて、[]内に相談した内容を下の表から選んで、番号(複数可)を記入してください。

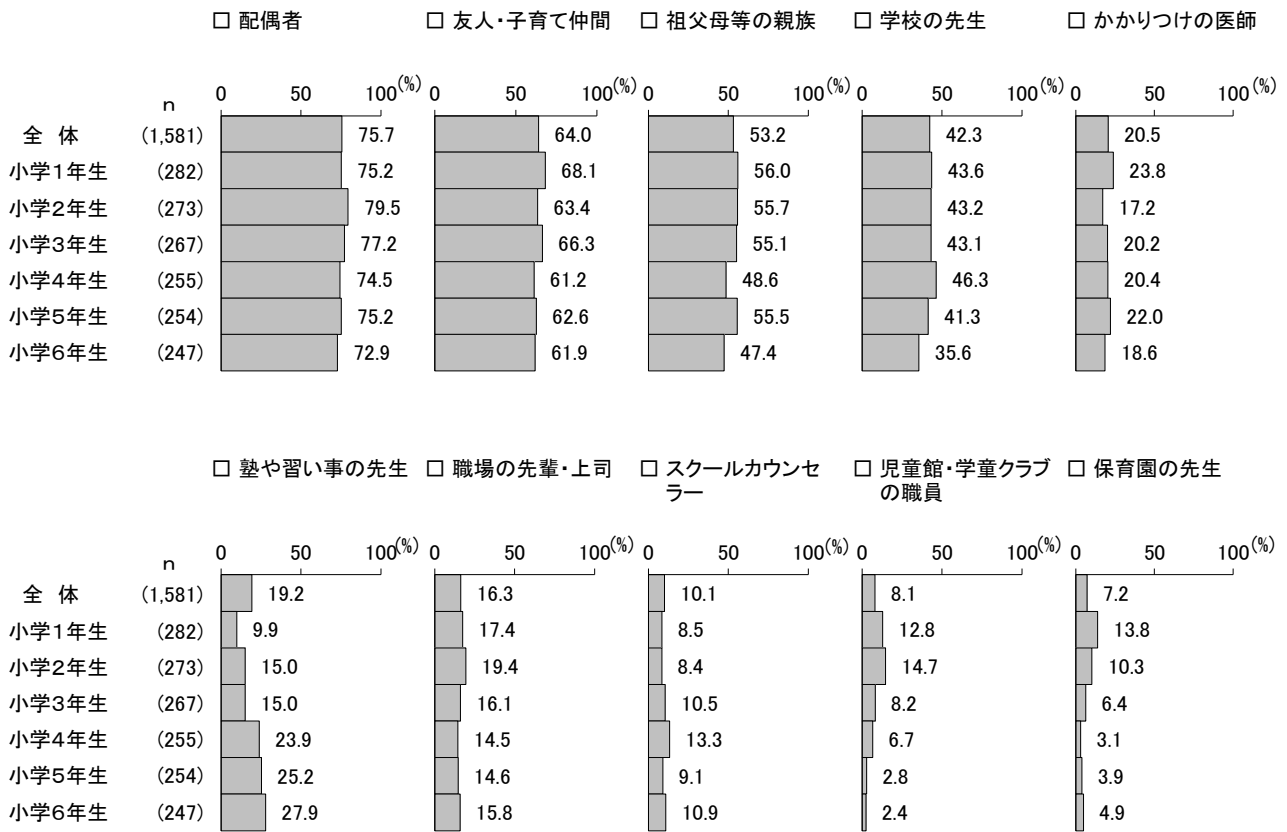
図表2-7

n = 1581



子育てに関する相談先は、「配偶者」が75.7%で最も高く、次いで「友人・子育て仲間」が64.0%、「祖父母等の親族」が53.2%となっている。(図表2-7)

図表 2-8 子育てに関する相談先（学年別）（上位 10 項目）



学年別にみると、すべての学年において「配偶者」が最も高く、小学4～6年生において「塾や習い事の先生」が高くなる傾向にある。（図表 2-8）

図表 2-9 相談した内容

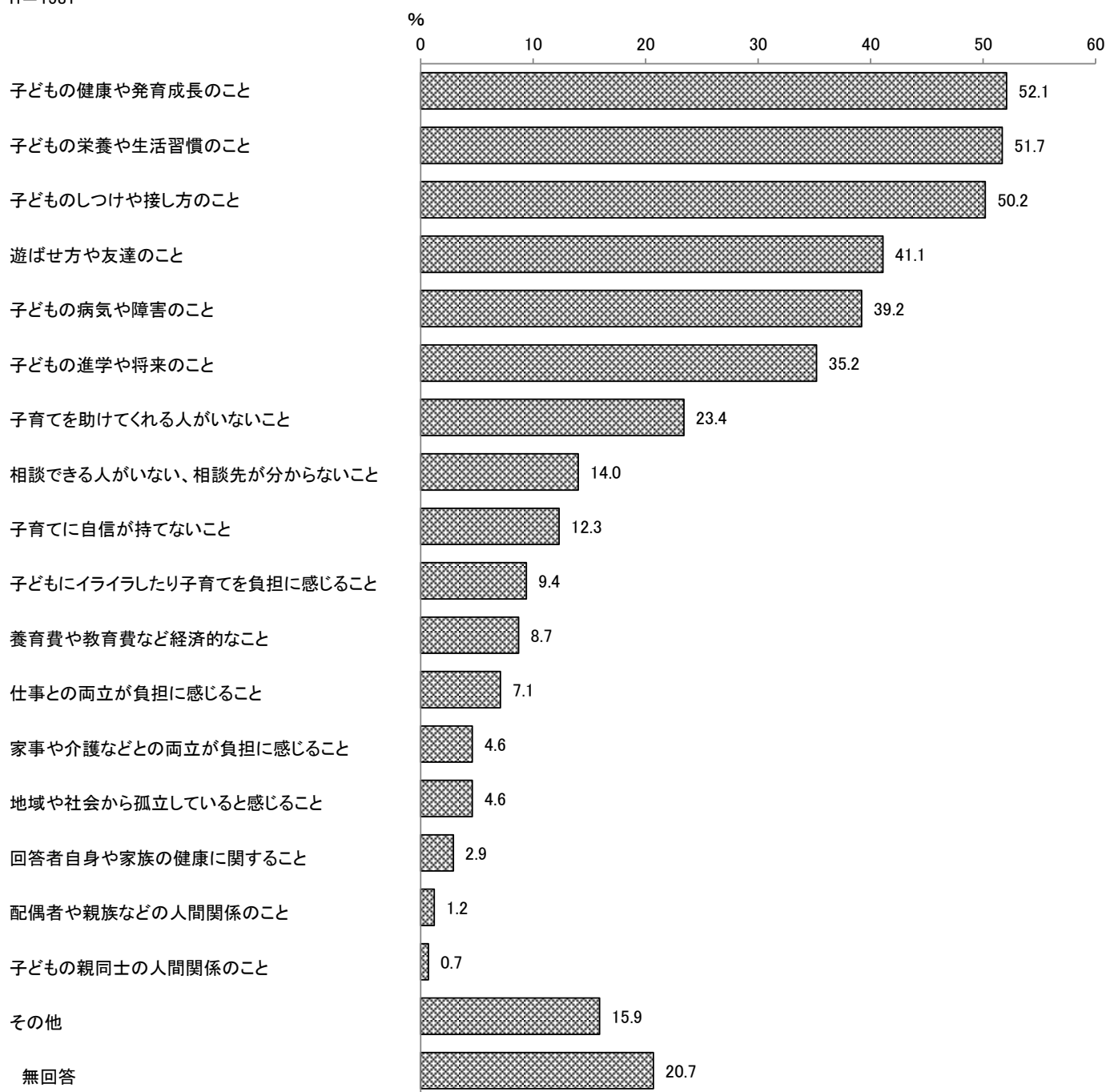
	調査数	子どもの健康や成長のこと	子どもの食事や生活習慣のこと	子どものしつけや接し方のこと	子どものいじめや友達関係のこと	子どもの病気や障害のこと	子どもの勉強や進学のこと	子どもの性格や癖に関すること	子どもの性に関すること	子どもの暴力や非行のこと	子どもが学校に行くのを嫌がること	子育てに自信が持てないこと	養育費や教育費など経済的なこと
配偶者	1,197 100.0	619 51.7	462 38.6	615 51.4	369 30.8	246 20.6	601 50.2	466 38.9	43 3.6	34 2.8	94 7.9	57 4.8	173 14.5
祖父母等の親族	841 100.0	400 47.6	265 31.5	342 40.7	156 18.5	133 15.8	271 32.2	246 29.3	10 1.2	15 1.8	55 6.5	33 3.9	65 7.7
友人・子育て仲間	1,012 100.0	325 32.1	253 25.0	344 34.0	300 29.6	110 10.9	341 33.7	245 24.2	31 3.1	17 1.7	64 6.3	38 3.8	28 2.8
職場の先輩・上司	258 100.0	73 28.3	44 17.1	78 30.2	26 10.1	24 9.3	89 34.5	48 18.6	6 2.3	4 1.6	18 7.0	8 3.1	13 5.0
近所の人	82 100.0	28 34.1	11 13.4	19 23.2	8 9.8	8 9.8	22 26.8	15 18.3	-	-	4 4.9	2 2.4	2 2.4
学校の先生	668 100.0	109 16.3	80 12.0	105 15.7	250 37.4	70 10.5	239 35.8	160 24.0	10 1.5	17 2.5	72 10.8	3 0.4	1 0.1
スクールカウンセラー	160 100.0	23 14.4	13 8.1	37 23.1	48 30.0	22 13.8	33 20.6	50 31.3	-	5 3.1	47 29.4	6 3.8	1 0.6
スクールソーシャルワーカー	15 100.0	3 20.0	1 6.7	4 26.7	3 20.0	3 20.0	3 20.0	4 26.7	-	1 6.7	3 20.0	-	-
保育園の先生	114 100.0	52 45.6	46 40.4	41 36.0	26 22.8	11 9.6	7 6.1	39 34.2	1 0.9	2 1.8	4 3.5	4 3.5	-
幼稚園の先生	103 100.0	29 28.2	27 26.2	34 33.0	18 17.5	13 12.6	6 5.8	31 30.1	1 1.0	1 1.0	6 5.8	2 1.9	-
児童館・学童クラブの職員	128 100.0	23 18.0	15 11.7	31 24.2	55 43.0	8 6.3	6 4.7	39 30.5	2 1.6	2 1.6	10 7.8	3 2.3	1 0.8
民生・児童委員	4 100.0	2 50.0	-	1 25.0	1 25.0	-	1 25.0	-	-	1 25.0	1 25.0	-	-
保健所・保健センターの職員	39 100.0	15 38.5	9 23.1	5 12.8	-	3 7.7	-	3 7.7	-	-	-	3 7.7	-
子どもセンターの職員	22 100.0	10 45.5	3 13.6	7 31.8	2 9.1	10 45.5	7 31.8	2 9.1	1 4.5	1 4.5	3 13.6	1 4.5	-
子ども・子育てプラザの職員	1 100.0	1 100.0	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
子ども家庭支援センターの職員	26 100.0	6 23.1	2 7.7	2 7.7	3 11.5	6 23.1	6 23.1	6 23.1	1 3.8	1 3.8	1 3.8	2 7.7	1 3.8
かかりつけの医師	324 100.0	167 51.5	43 13.3	26 8.0	17 5.2	168 51.9	23 7.1	37 11.4	5 1.5	5 1.5	20 6.2	2 0.6	3 0.9
地域の乳幼児の交流の場 (つどいの広場など)の職員	7 100.0	1 14.3	2 28.6	1 14.3	-	-	-	1 14.3	-	-	-	-	-
塾や習い事の先生	303 100.0	25 8.3	7 2.3	38 12.5	18 5.9	22 7.3	205 67.7	52 17.2	2 0.7	2 0.7	9 3.0	2 0.7	1 0.3
区や東京都などの公的相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	87 100.0	20 23.0	18 20.7	24 27.6	23 26.4	24 27.6	20 23.0	26 29.9	4 4.6	5 5.7	23 26.4	7 8.0	6 6.9
民間の相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	23 100.0	4 17.4	4 17.4	7 30.4	4 17.4	3 13.0	5 21.7	8 34.8	1 4.3	-	3 13.0	2 8.7	-
その他	78 100.0	25 32.1	15 19.2	22 28.2	15 19.2	25 32.1	16 20.5	18 23.1	1 1.3	3 3.8	9 11.5	4 5.1	-

相談した内容は、「子どもの健康や成長のこと」は「配偶者」で51.7%、「祖父母等の親族」で47.6%と高くなっている。「子どものしつけや接し方のこと」は「配偶者」で51.4%、「祖父母等の親族」で40.7%、「友人・子育て仲間」で34.0%と高くなっている。「子どものいじめや友達関係のこと」は「児童館・学童クラブの職員」で43.0%、「学校の先生」で37.4%と高くなっている。(図表 2-9)

	仕事との両立が負担に感じること	家事や介護などの両立が負担に感じること	地域や社会から孤立していると感じること	回答者自身や家族の健康に関すること	相談先がわからないこと	相談できる人がいないこと	子どもにイライラしたこと	子どもをイライラさせたこと	その他	無回答
配偶者	122 10.2	47 3.9	12 1.0	99 8.3	6 0.5	161 13.5	13 1.1	225 18.8		
祖父母等の親族	73 8.7	27 3.2	6 0.7	51 6.1	4 0.5	76 9.0	12 1.4	175 20.8		
友人・子育て仲間	64 6.3	24 2.4	6 0.6	36 3.6	2 0.2	115 11.4	12 1.2	252 24.9		
職場の先輩・上司	49 19.0	12 4.7	2 0.8	8 3.1	1 0.4	21 8.1	6 2.3	64 24.8		
近所の人	1 1.2	-	-	1 1.2	-	6 7.3	1 1.2	27 32.9		
学校の先生	2 0.3	-	-	1 0.1	-	5 0.7	12 1.8	148 22.2		
スクールカウンセラー	-	2 1.3	-	6 3.8	1 0.6	11 6.9	6 3.8	38 23.8		
スクールソーシャルワーカー	-	-	-	-	-	2 13.3	1 6.7	5 33.3		
保育園の先生	5 4.4	1 0.9	1 0.9	2 1.8	1 0.9	4 3.5	1 0.9	33 28.9		
幼稚園の先生	1 1.0	1 1.0	-	-	-	3 2.9	-	30 29.1		
児童館・学童クラブの職員	4 3.1	1 0.8	-	-	-	1 0.8	4 3.1	22 17.2		
民生・児童委員	-	1 25.0	-	-	-	-	-	-		
保健所・保健センターの職員	-	-	-	-	-	2 5.1	-	15 38.5		
子どもセンターの職員	-	-	-	1 4.5	-	1 4.5	-	5 22.7		
子ども・子育てプラザの職員	-	-	-	-	-	-	-	-		
子ども家庭支援センターの職員	1 3.8	1 3.8	-	2 7.7	-	2 7.7	3 11.5	5 19.2		
かかりつけの医師	2 0.6	2 0.6	-	10 3.1	-	9 2.8	5 1.5	57 17.6		
地域の乳幼児の交流の場 (つどいの広場など)の職員	-	-	-	-	-	-	-	4 57.1		
塾や習い事の先生	2 0.7	-	-	-	-	4 1.3	2 0.7	59 19.5		
区や東京都などの公的相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	3 3.4	3 3.4	1 1.1	5 5.7	4 4.6	14 16.1	7 8.0	15 17.2		
民間の相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	3 13.0	1 4.3	1 4.3	1 4.3	-	2 8.7	3 13.0	5 21.7		
その他	3 3.8	3 3.8	2 2.6	6 7.7	1 1.3	5 6.4	4 5.1	16 20.5		

図表 2-10 相談した内容（累計）

n=1581



各相談先に対して相談した内容を、相談内容ごとに累計してみると、「子どもの健康や発育成長のこと」が52.1%で最も高く、次いで「子どもの栄養や生活習慣のこと」が51.7%、「子どものしつけや接し方のこと」が50.2%となっている。(図表2-10)

図表2-11 相談した内容（累計・家族構成別）

調査数	子どもの健康や発育成長のこと	子どもの栄養や生活習慣のこと	子どものしつけや接し方のこと	遊ばせ方や友達のこと	子どもの病気や障害のこと	子どもの進学や将来のこと	子育てを助けてくれる人がいないこと	相談できる人がいないこと	子育てに自信が持てないこと	子どもにイライラしたこと	養育費や教育費など経済的なこと
全体 1,581 100.0	817 51.7	620 39.2	793 50.2	556 35.2	370 23.4	823 52.1	650 41.1	73 4.6	46 2.9	148 9.4	113 7.1
ひとり親 113 100.0	48 42.5	28 24.8	47 41.6	30 26.5	21 18.6	51 45.1	38 33.6	8 7.1	4 3.5	11 9.7	15 13.3
夫婦（子1人） 529 100.0	292 55.2	250 47.3	294 55.6	228 43.1	141 26.7	302 57.1	250 47.3	35 6.6	20 3.8	53 10.0	45 8.5
夫婦（子2人以上） 774 100.0	397 51.3	278 35.9	378 48.8	241 31.1	167 21.6	388 50.1	295 38.1	22 2.8	17 2.2	70 9.0	43 5.6
夫婦と祖父母 162 100.0	80 49.4	64 39.5	74 45.7	57 35.2	41 25.3	82 50.6	67 41.4	8 4.9	4 2.5	14 8.6	10 6.2
その他 3 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 33.3	-	-

調査数	仕事との両立が負担に感じること	家事や介護など両立が負担に感じること	地域や社会から孤立していると感じること	回答者自身や家族の健康に関すること	配偶者や親族など人間関係のこと	子どもの親同士の人間関係のこと	その他	無回答
全体 1,581 100.0	221 14.0	194 12.3	73 4.6	19 1.2	138 8.7	11 0.7	252 15.9	328 20.7
ひとり親 113 100.0	21 18.6	17 15.0	5 4.4	2 1.8	12 10.6	-	18 15.9	28 24.8
夫婦（子1人） 529 100.0	72 13.6	82 15.5	26 4.9	6 1.1	62 11.7	3 0.6	105 19.8	92 17.4
夫婦（子2人以上） 774 100.0	108 14.0	86 11.1	35 4.5	10 1.3	52 6.7	8 1.0	108 14.0	161 20.8
夫婦と祖父母 162 100.0	20 12.3	9 5.6	7 4.3	1 0.6	12 7.4	-	20 12.3	45 27.8
その他 3 100.0	-	-	-	-	-	-	1 33.3	2 66.7

相談した内容の累計結果を家族構成別にみると、すべての家族構成において、「子どもの健康や発育成長のこと」、「子どもの進学や将来のこと」が高い傾向にある。（図表2-11）

図表 2-12 相談した内容（累計・学年別）

	調査数	長の子どもの健康や発育成	慣の子どもの栄養や生活習	方の子どものしつけや接し	遊ばせ方や友達のこと	子どもの病気や障害の	子どもの進学や将来の	人がいないを助けてくれる	いい相談先が分からない	子育てに自信が持てな	り子どもにイライラした	養育費や教育費など経
全 体	1,581 100.0	817 51.7	620 39.2	793 50.2	556 35.2	370 23.4	823 52.1	650 41.1	73 4.6	46 2.9	148 9.4	113 7.1
小学1年生	282 100.0	160 56.7	121 42.9	150 53.2	85 30.1	68 24.1	118 41.8	120 42.6	3 1.1	9 3.2	32 11.3	28 9.9
小学2年生	273 100.0	127 46.5	122 44.7	159 58.2	94 34.4	64 23.4	127 46.5	121 44.3	7 2.6	8 2.9	15 5.5	18 6.6
小学3年生	267 100.0	141 52.8	97 36.3	122 45.7	106 39.7	64 24.0	137 51.3	109 40.8	11 4.1	7 2.6	28 10.5	18 6.7
小学4年生	255 100.0	145 56.9	112 43.9	124 48.6	100 39.2	66 25.9	143 56.1	111 43.5	15 5.9	9 3.5	21 8.2	11 4.3
小学5年生	254 100.0	113 44.5	82 32.3	126 49.6	88 34.6	47 18.5	148 58.3	103 40.6	18 7.1	7 2.8	30 11.8	23 9.1
小学6年生	247 100.0	130 52.6	85 34.4	111 44.9	81 32.8	60 24.3	150 60.7	86 34.8	19 7.7	6 2.4	20 8.1	15 6.1

	調査数	感じ事との両立が負担に	立家が事や介護などに感じるとの両	て地域や社会から孤立し	康回答者自身や家族の健	間関係者や親族などの人	関子どもの親同士の人間	その他	無回答
全 体	1,581 100.0	221 14.0	194 12.3	73 4.6	19 1.2	138 8.7	11 0.7	252 15.9	328 20.7
小学1年生	282 100.0	35 12.4	44 15.6	13 4.6	5 1.8	31 11.0	2 0.7	61 21.6	54 19.1
小学2年生	273 100.0	28 10.3	42 15.4	13 4.8	1 0.4	19 7.0	1 0.4	43 15.8	59 21.6
小学3年生	267 100.0	41 15.4	27 10.1	11 4.1	5 1.9	25 9.4	1 0.4	41 15.4	61 22.8
小学4年生	255 100.0	38 14.9	30 11.8	15 5.9	3 1.2	19 7.5	2 0.8	37 14.5	51 20.0
小学5年生	254 100.0	44 17.3	23 9.1	11 4.3	2 0.8	19 7.5	2 0.8	39 15.4	56 22.0
小学6年生	247 100.0	35 14.2	28 11.3	10 4.0	3 1.2	25 10.1	3 1.2	31 12.6	46 18.6

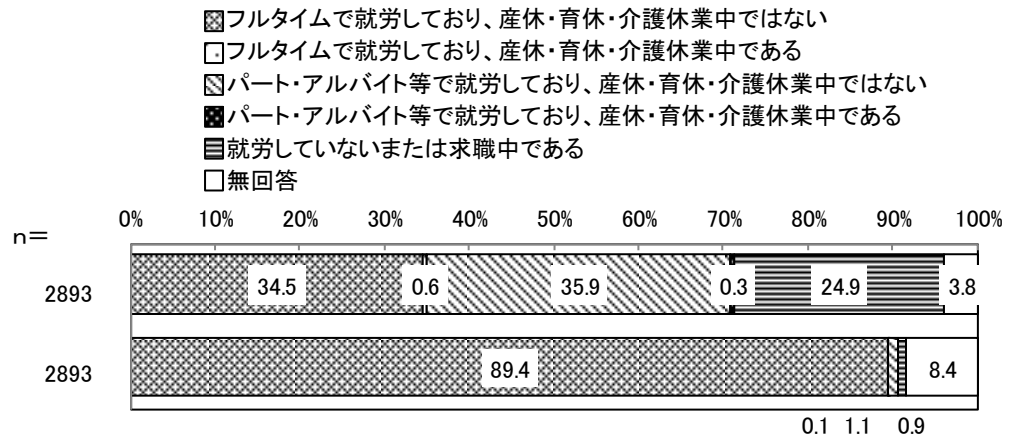
相談した内容の累計結果を学年別にみると、「子どもの健康や発育成長のこと」や「子どもの進学や将来のこと」はどの学年でも高い傾向にあるが、「子どもの進学や将来のこと」は学年が上がるにつれ、高くなる傾向にある。「子どものしつけや接し方のこと」は小学1年生、2年生で半数を超えて高くなっている。（図表 2-12）

3. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

問8 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

図表3-1



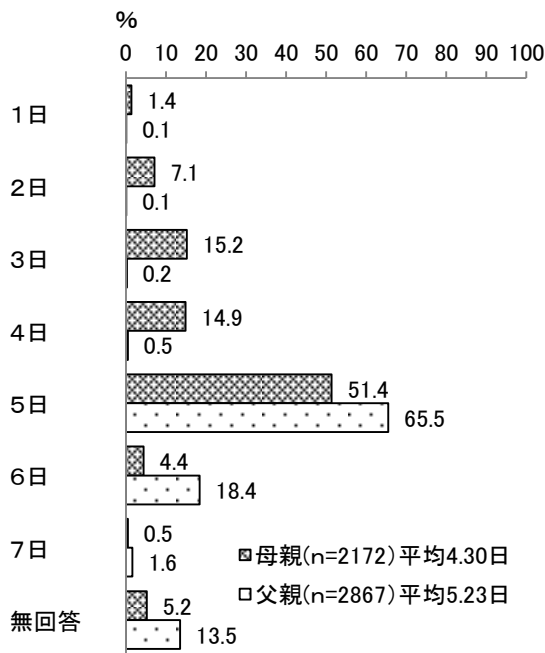
保護者の就労状況は、母親では「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が35.9%で最も高く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が34.5%、「就労していないまたは求職中である」が24.9%となっている。一方、父親は「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が89.4%で最も高くなっている。(図表3-1)

(1-1) 1週あたりの就労日数・1日あたりの就労時間

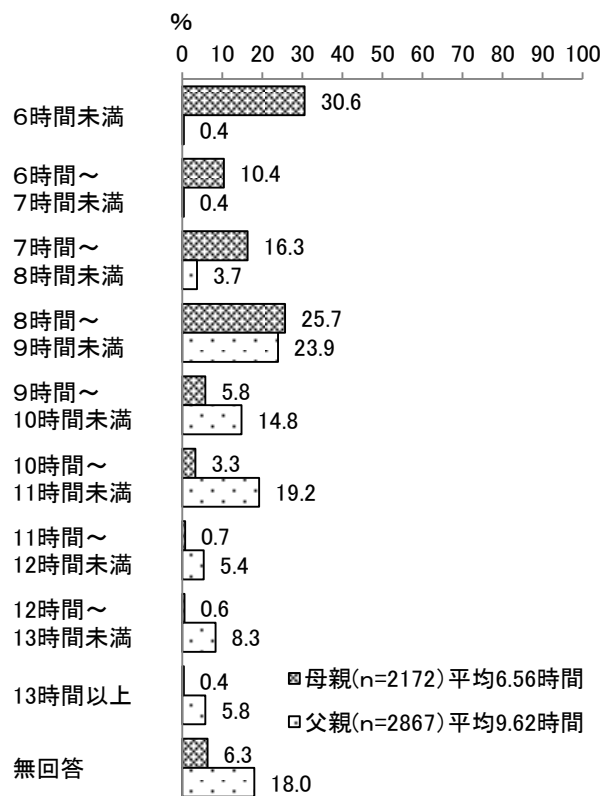
(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は(例)8～18時のように24時間制でご記入ください。

図表3-2 1週あたりの就労日数



図表3-3 1日あたりの就労時間



1週あたりの就労日数は、母親・父親ともに「5日」が最も高くなっている。次いで母親は、「3日」が15.2%、「4日」が14.9%となっており、父親は「6日」が18.4%となっている。

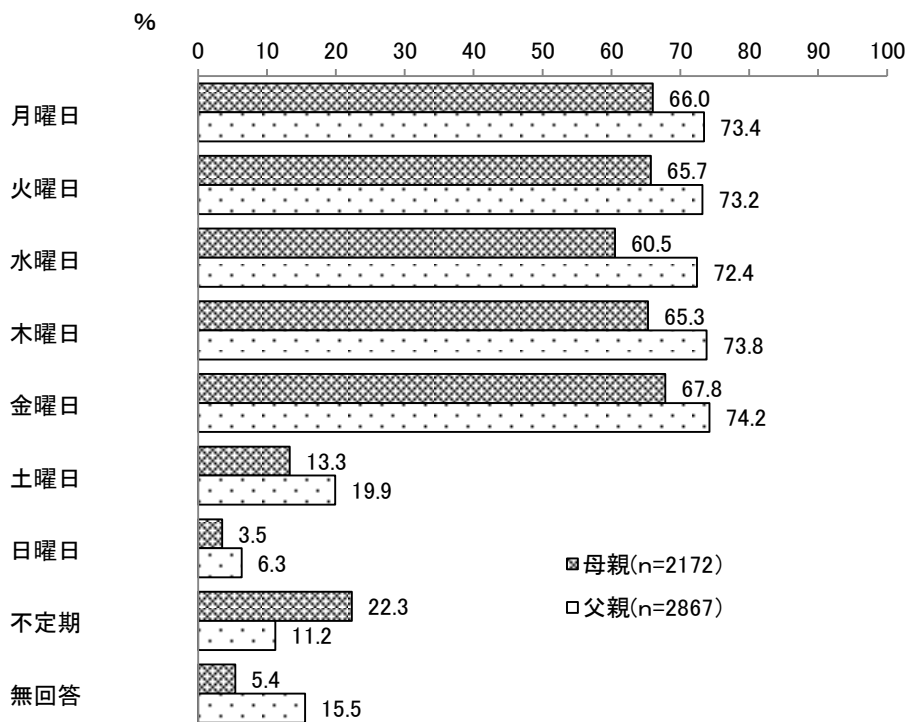
1日あたりの就労時間は、母親では「6時間未満」が30.6%で最も高く、次いで「8時間～9時間未満」が25.7%、「7時間～8時間未満」が16.3%となっている。一方、父親は「8時間～9時間未満」が23.9%で最も高く、次いで「10時間～11時間未満」が19.2%、「9時間～10時間未満」が14.8%となっており、総体的に父親の方が長時間労働の傾向にある。(図表3-2・3)

(1-2) 就労している曜日

(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図表3-4



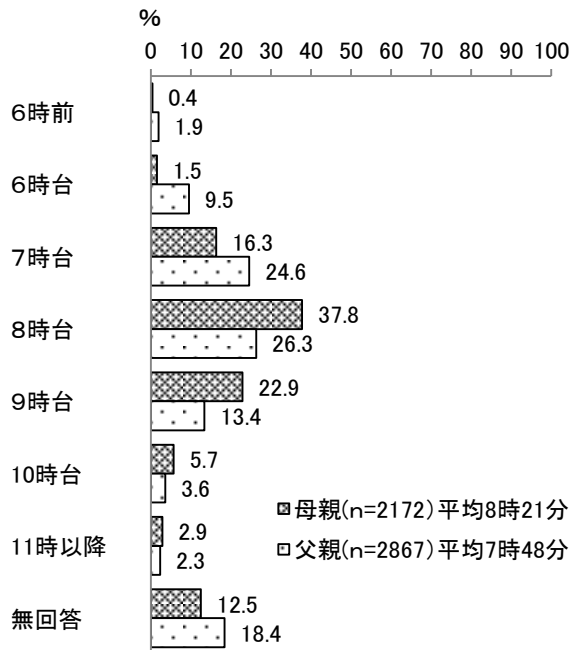
就労している曜日は、母親・父親ともに、「月曜日」から「金曜日」までが高くなっている。また、母親は父親と比較して「不定期」が高く、11.1ポイント高くなっている。(図表3-4)

(1-3) 出勤時刻と帰宅時刻

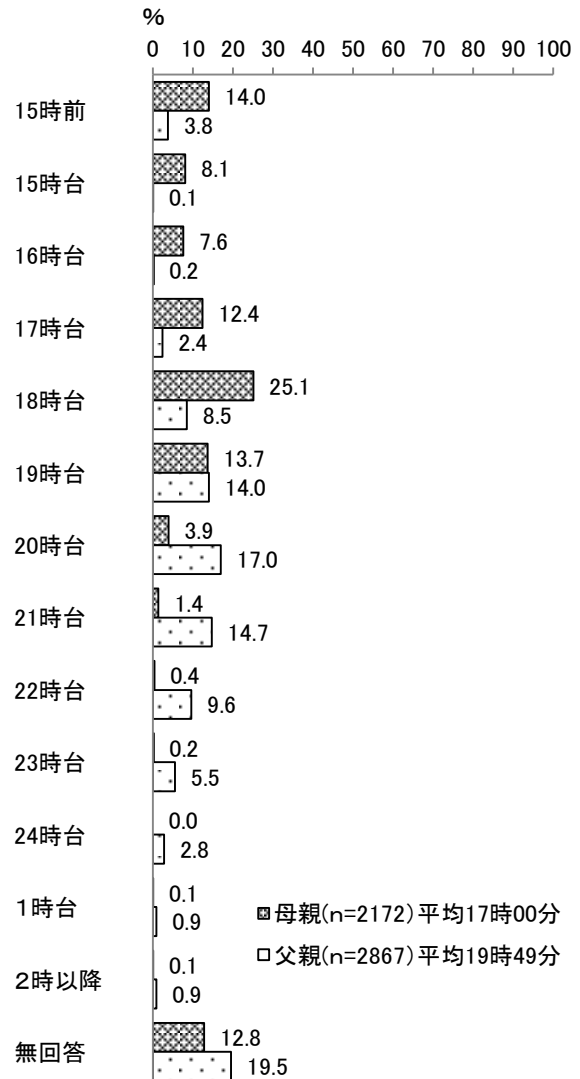
(問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。)

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間(残業時間を含む)などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

図表3-5 出勤時刻



図表3-6 帰宅時刻



出勤時刻は、母親・父親ともに「8時台」が最も高くなっている。次いで母親では「9時台」が22.9%、「7時台」が16.3%となっており、父親は「7時台」が24.6%、「9時台」が13.4%となっている。帰宅時刻は、母親では「18時台」が25.1%で最も高く、次いで「15時前」が14.0%、「19時台」が13.7%となっている。一方、父親は「20時台」が17.0%で最も高く、次いで「21時台」が14.7%、「19時台」が14.0%となっている。(図表3-5・6)

4. 子どもの放課後の過ごし方

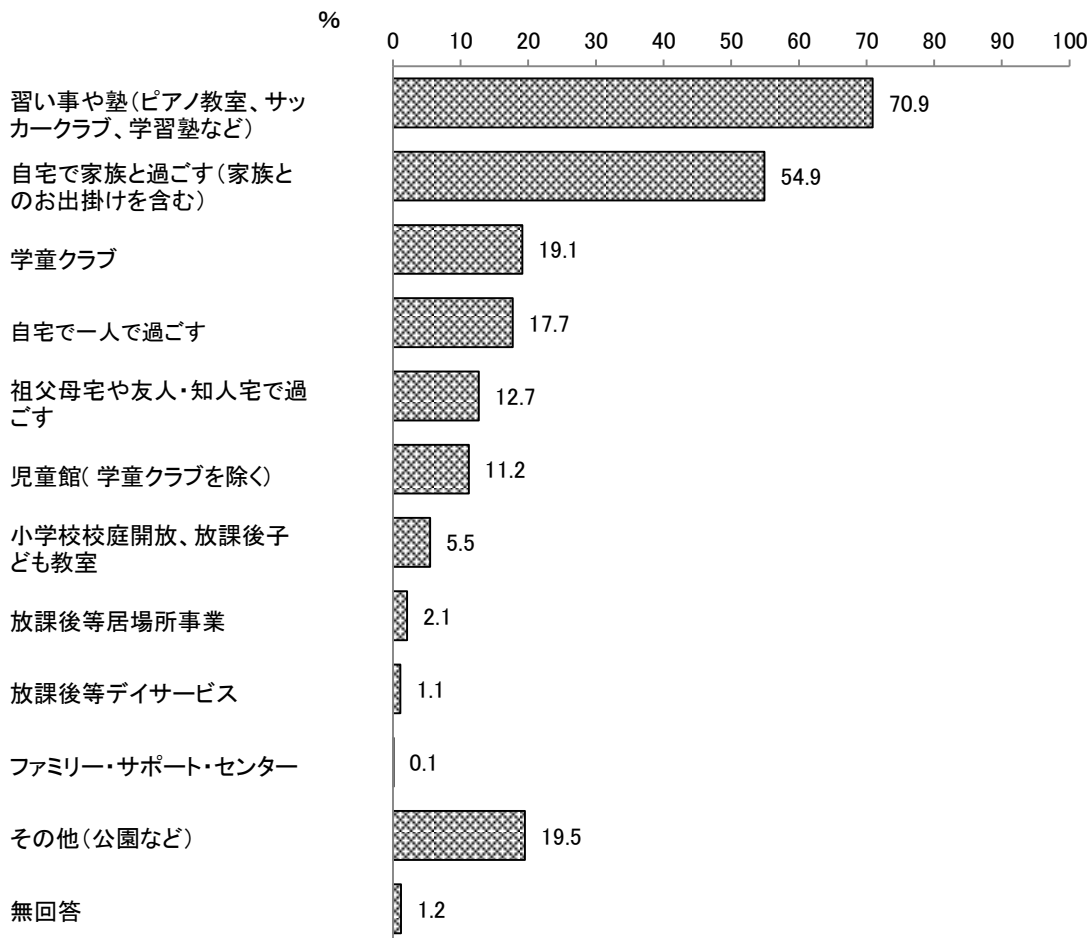
(1) 現在の放課後の過ごし方

問9 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）をどのように（どこで）過ごしていますか。当てはまる過ごし方にすべて○をつけるとともに、週当たりの日数を口内にご記入ください。

（合計が5日になるようにご記入ください。）また、「学童クラブ」の場合には、利用している時間（24時間制）もご記入ください。

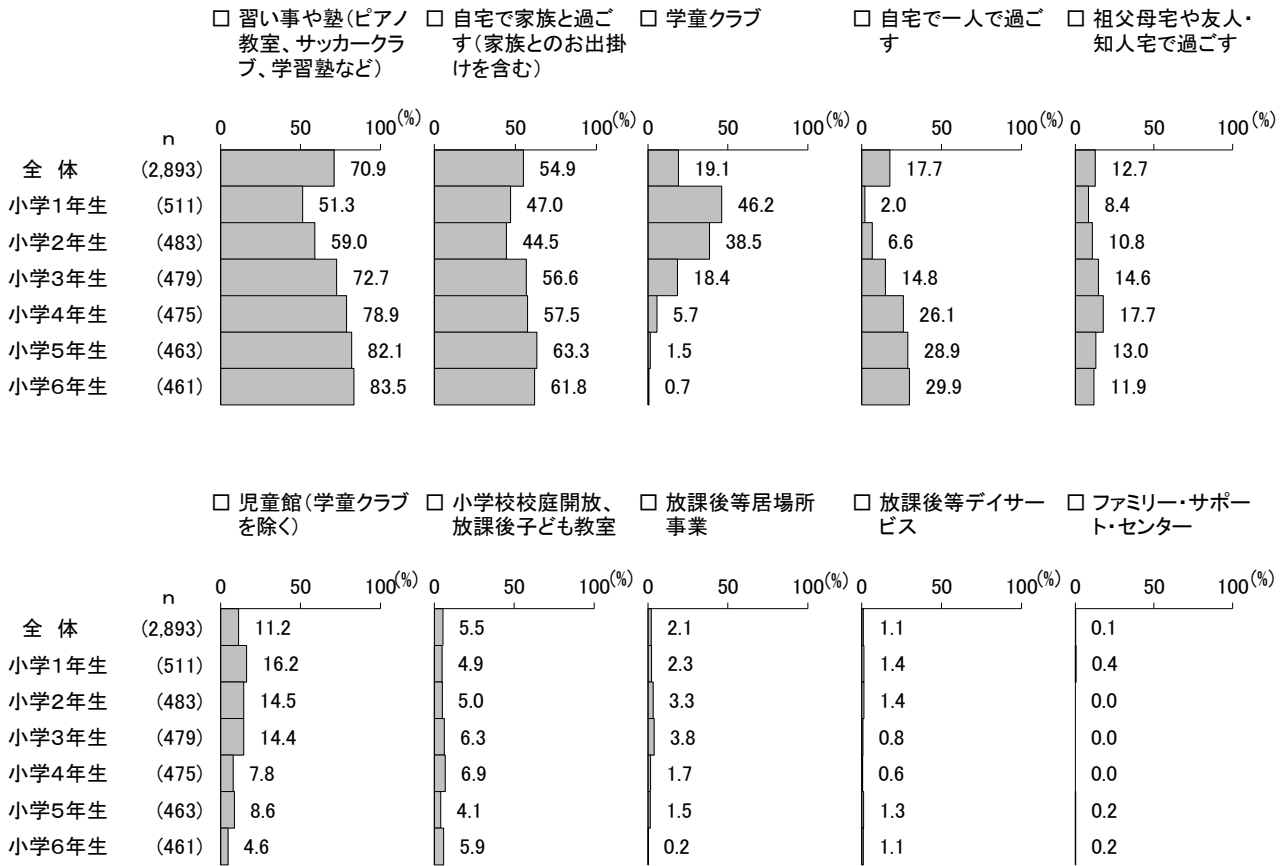
図表4-1

n = 2893



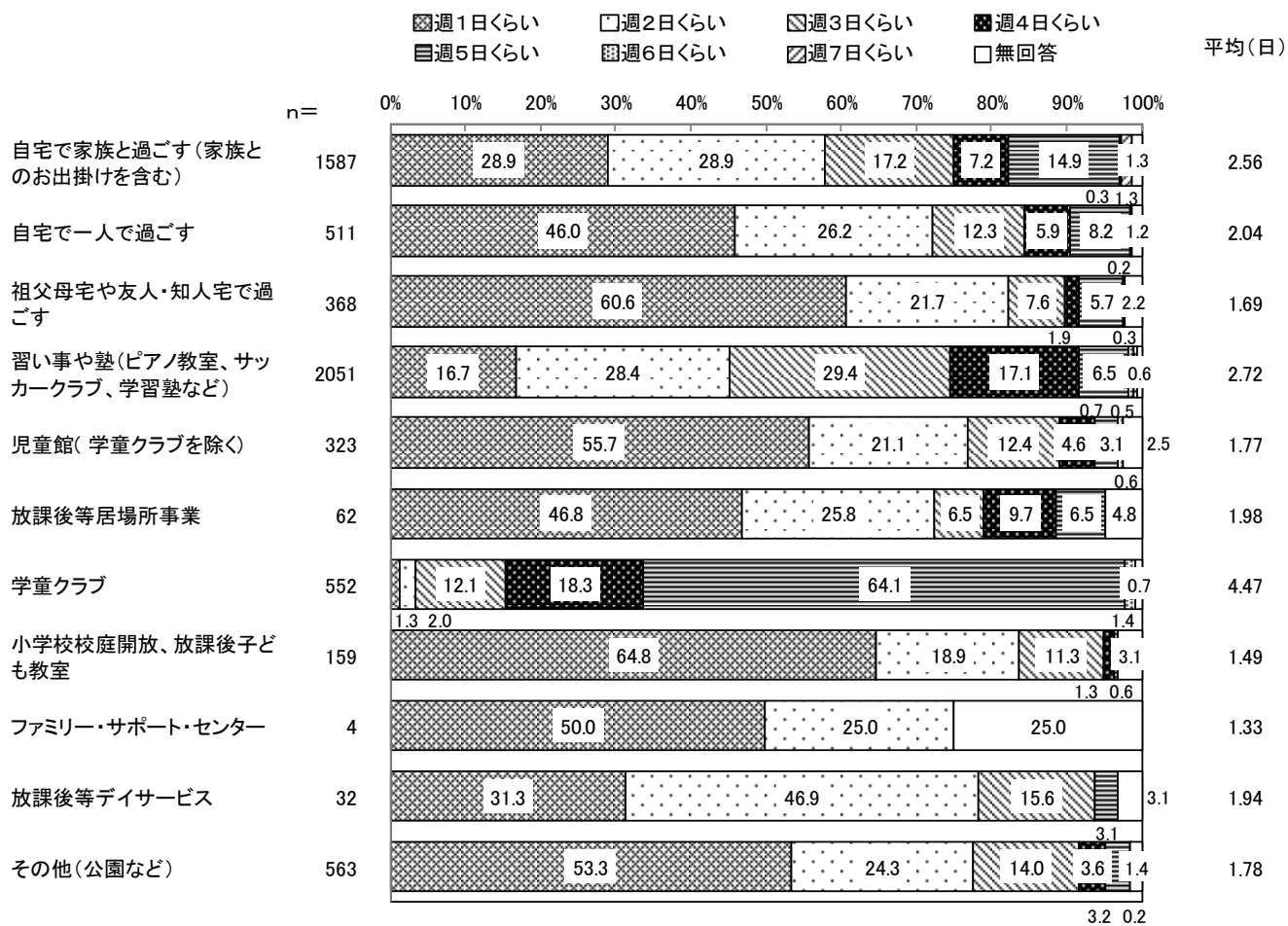
現在の放課後の過ごし方は、「習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が70.9%で最も高く、次いで「自宅で家族と過ごす（家族とお出掛けを含む）」が54.9%、「学童クラブ」が19.1%となっている。（図表4-1）

図表 4-2 現在の放課後の過ごし方（学年別）



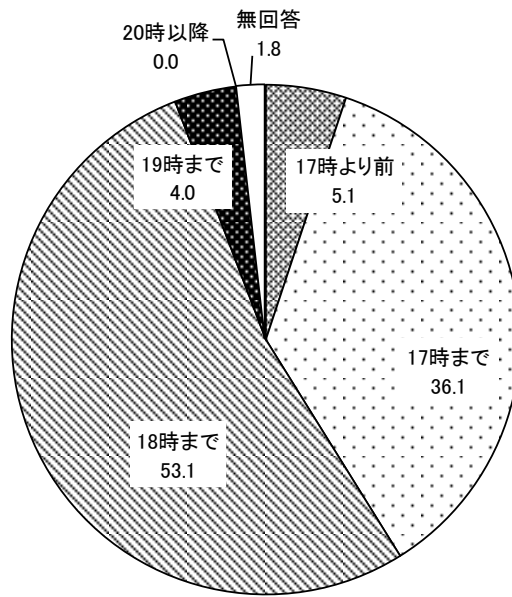
学年別にみると、「習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」、「自宅で家族と過ごす（家族とのお出掛けを含む）」、「自宅で一人で過ごす」は学年が上がるにつれて高くなる傾向にある。一方、小学1年生では「学童クラブ」や「児童館（学童クラブを除く）」の割合が、他の学年よりも高くなっている。（図表 4-2）

図表 4-3 利用日数



利用日数は、「週5日くらい」は“学童クラブ”で64.1%と高くなっている。「週2日くらい」は“放課後等デイサービス”で46.9%と高くなっている。「週1日くらい」は“小学校校庭開放、放課後子ども教室”で64.8%、“祖父母宅や友人・知人宅で過ごす”で60.6%、“児童館(学童クラブを除く)”で55.7%、“その他(公園など)”で53.3%と高くなっている。(図表4-3)

図表 4-4 学童クラブの利用時間



n = 552

%

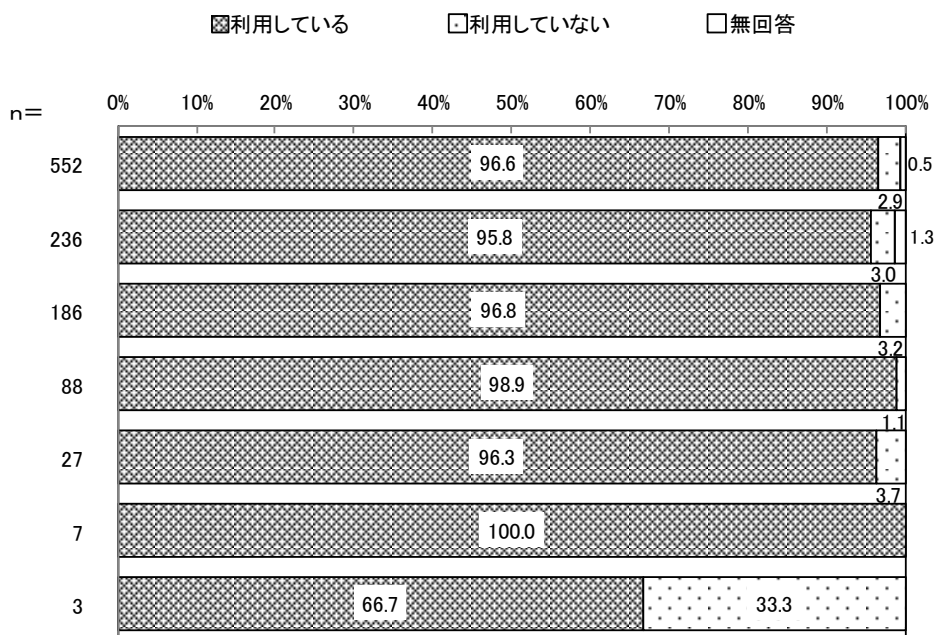
学童クラブの下校時からの利用時間は、「18時まで」が53.1%で最も高く、次いで「17時まで」が36.1%となっている。4.0%は19時まで利用している。(図表4-4)

(1-1) 学童クラブの長期休暇中の利用

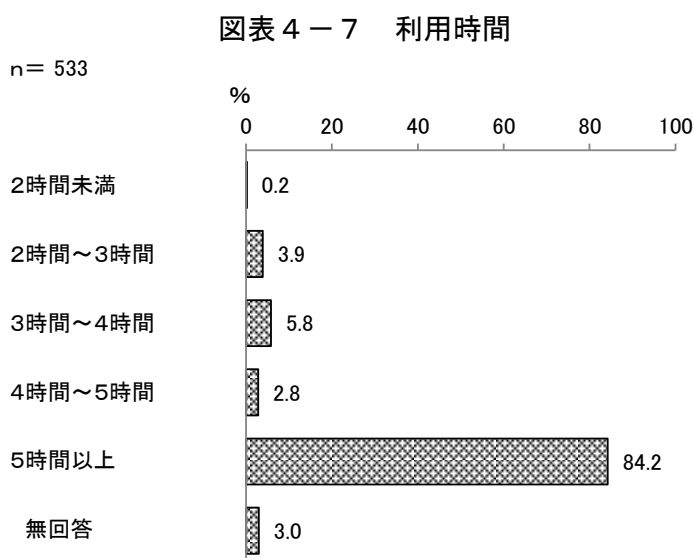
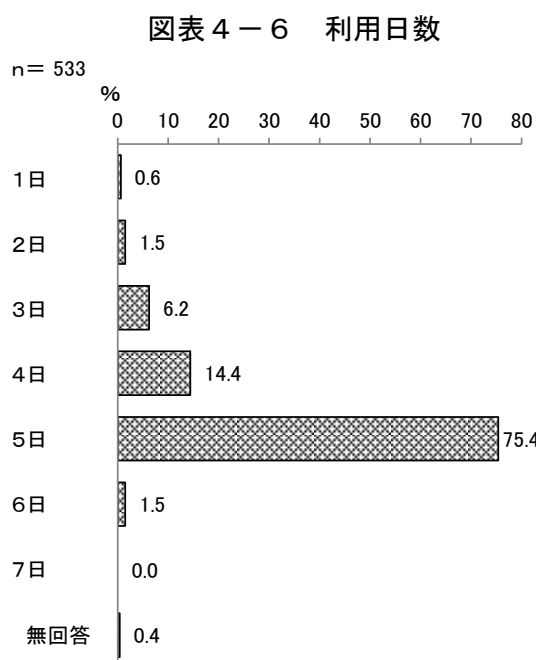
(問9 問9で、「7 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。)

問9-1 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に学童クラブを利用していますか。利用している場合は、1週当たり何日及び1日当たり何時間(何時から何時まで)かを、□に数字(24時間制)でご記入ください。

図表4-5

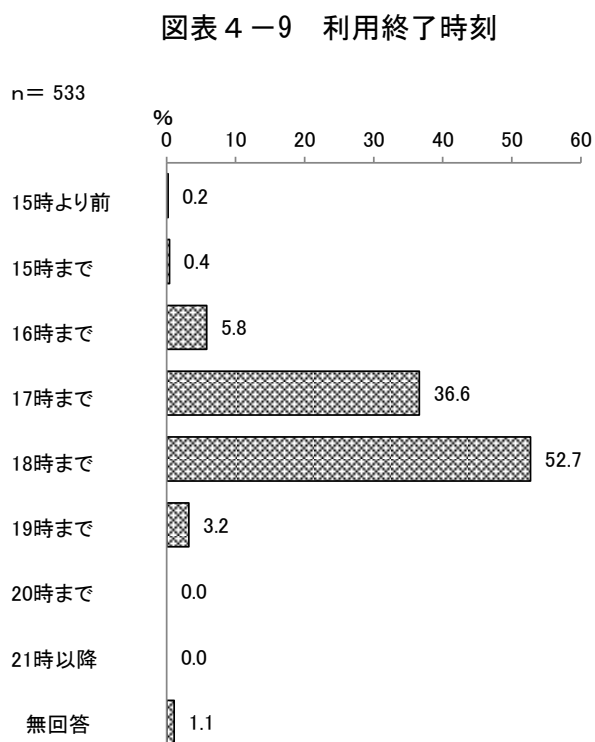
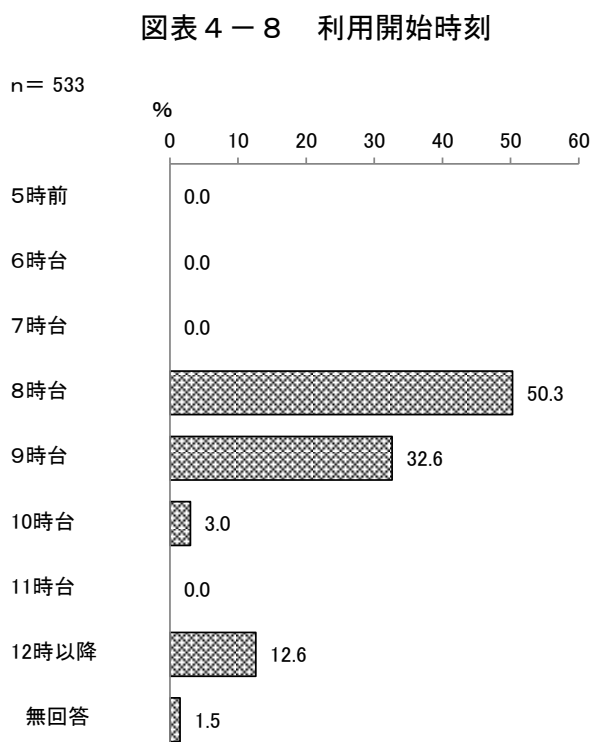


学童クラブの長期休暇中の利用は、「利用している」が96.6%、「利用していない」が2.9%となっている。(図表4-5)



長期休暇中の週あたりの利用日数は、「5日」が75.4%で最も高く、次いで「4日」が14.4%となっている。

1日あたりの利用時間は、「5時間以上」が84.2%となっている。(図表4-6・7)



利用開始時刻は、「8時台」が50.3%で最も高く、次いで「9時台」が32.6%となっている。

利用終了時刻は、「18時まで」が52.7%で最も高く、次いで「17時まで」が36.6%となっている。

(図表4-8・9)

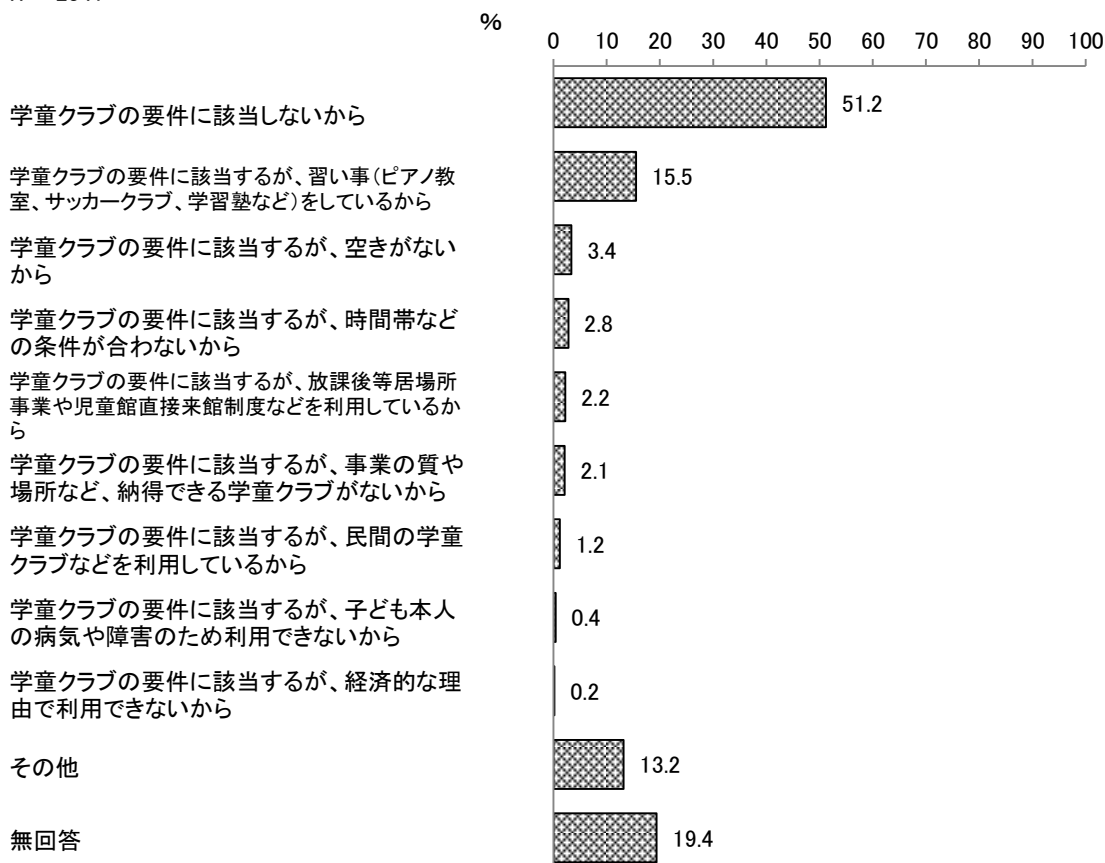
(2) 学童クラブを利用しない理由

(問9で、「7 学童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。)

問10 学童クラブを利用していない(利用しない)理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

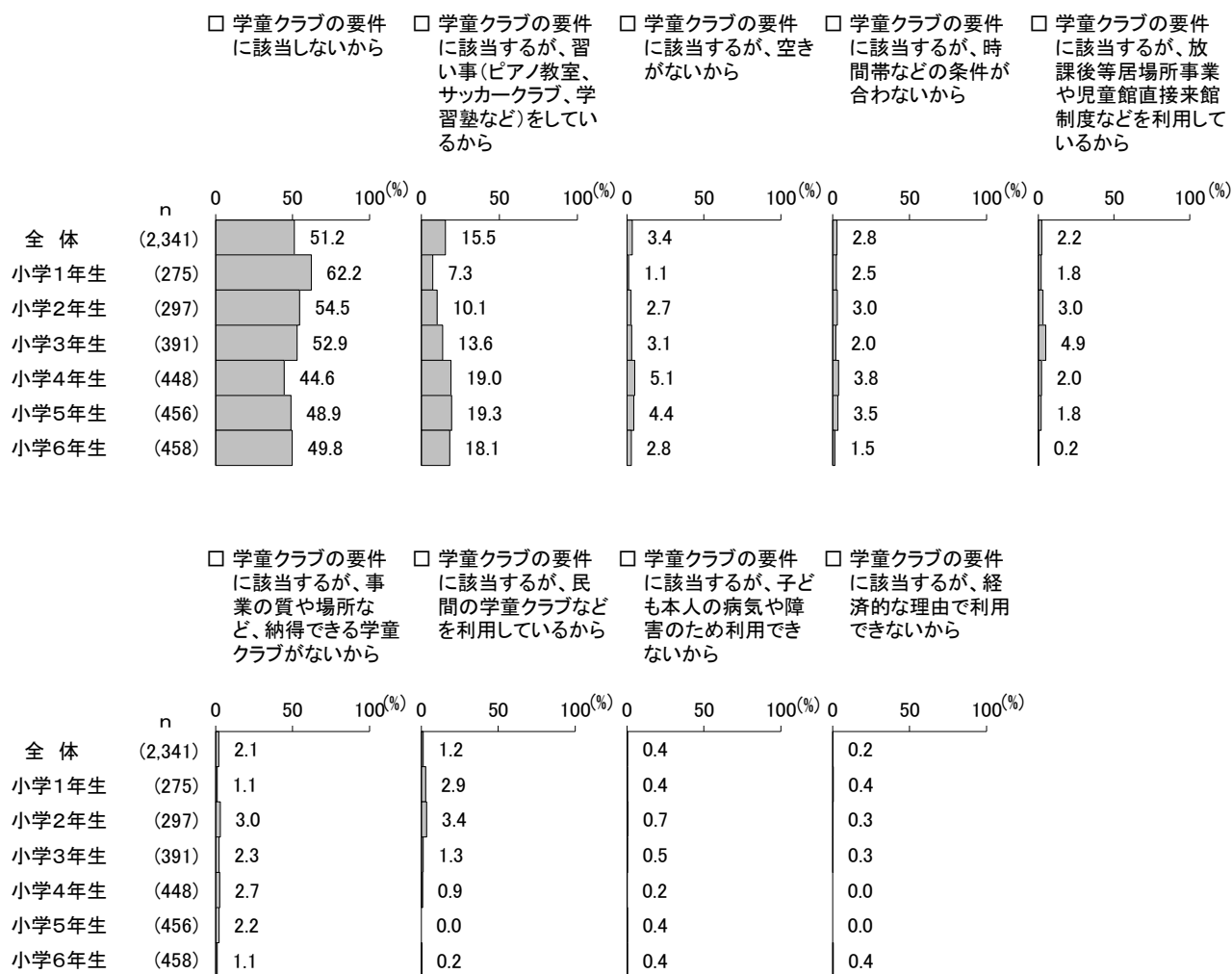
図表4-10

n = 2341



学童クラブを利用しない理由は、「学童クラブの要件に該当しないから」が51.2%で最も高くなっているが、それ以外では「学童クラブの要件に該当するが、習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)をしているから」が15.5%となっている。(図表4-10)

図表 4-11 学童クラブを利用しない理由（学年別）



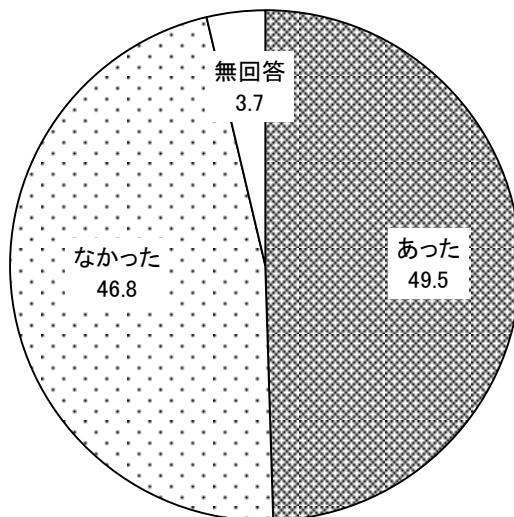
学年別にみると、学年が上がるにつれて、「学童クラブの要件に該当するが、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）をしているから」が高くなっている。（図表 4-11）

5. 一時預かり等の利用状況

(1) この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験の有無

問11 宛名のお子さんについて、保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で、家族以外にみてもらわなければならないことがありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表5-1



n = 2893

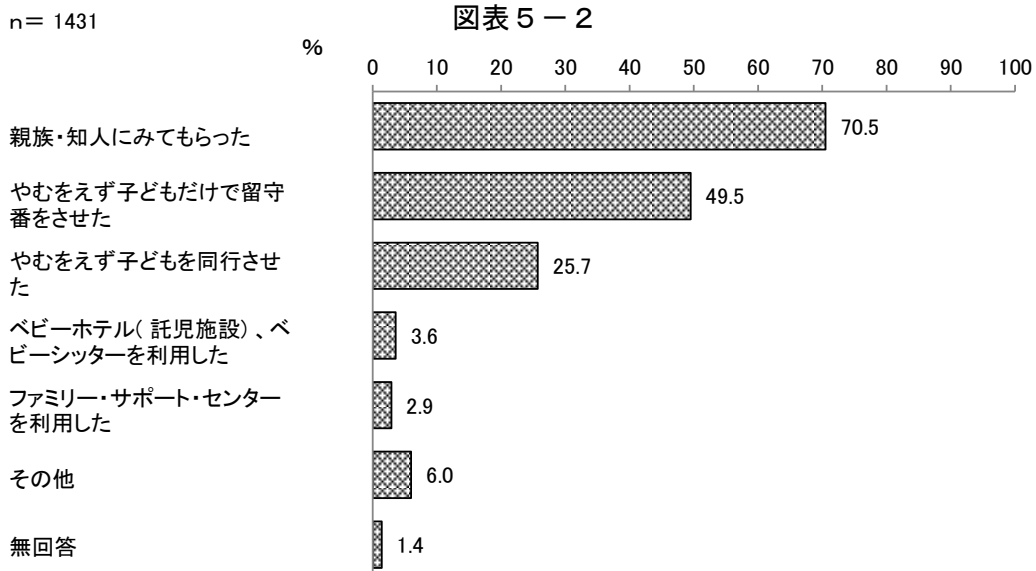
%

この1年間に保護者の私用で子どもを預けた経験の有無は、「あった」が49.5%、「なかった」が46.8%となっている。（図表5-1）

(1-1) この1年間に保護者の私用で子どもを預けた際の行動

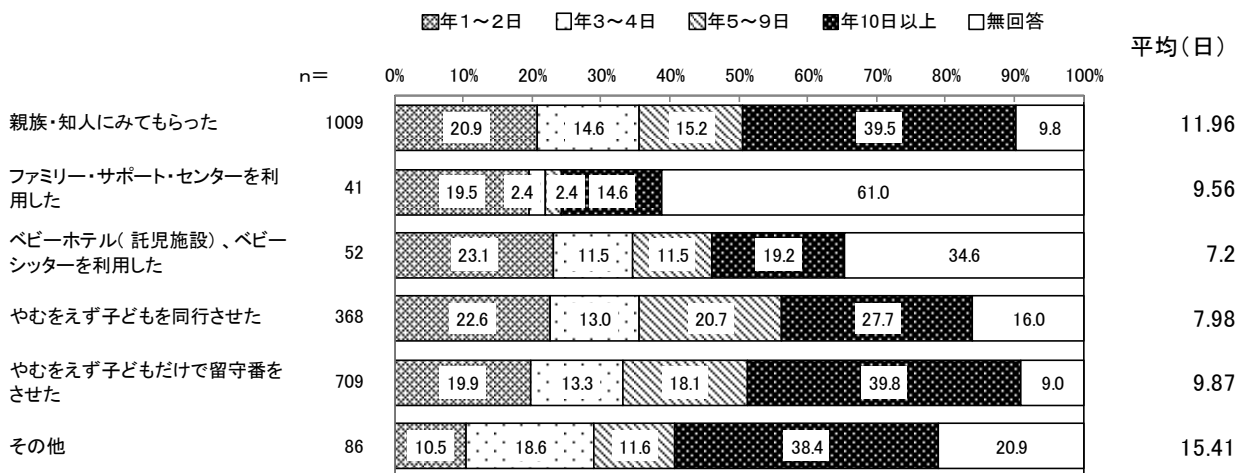
(問11で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。)

問11-1 その際にとった行動で、当てはまるものすべてに○をつけ、今年度(平成30年4月1日~12月31日)の利用日数(おおよそ)も口内に数字でご記入ください。



この1年間に保護者の私用で子どもを預けた際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が70.5%で最も高く、次いで「やむをえず子どもだけで留守番をさせた」が49.5%、「やむをえず子どもを同行させた」が25.7%となっている。(図表5-2)

図表5-3 子どもを預けた日数



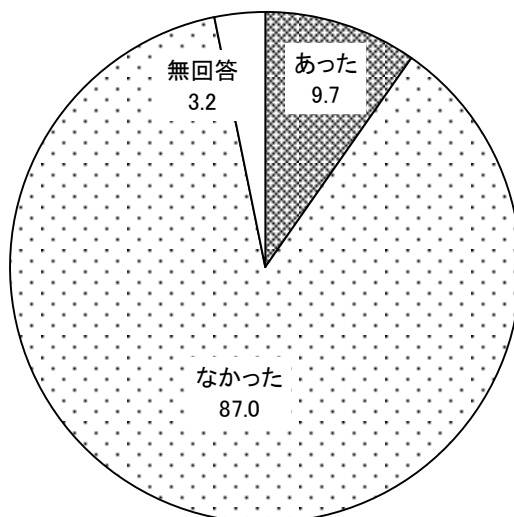
子どもを預けた日数は、「年10日以上」は「やむをえず子どもだけで留守番をさせた」で39.8%、「親族・知人にみてもらった」で39.5%と高くなっている。「年5~9日」は「やむをえず子どもを同行させた」で20.7%、「やむをえず子どもだけで留守番させた」で18.1%と高くなっている。

(図表5-3)

(2) この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無

問12 今年度（平成30年4月1日～12月31日）に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表5-4



n = 2893

%

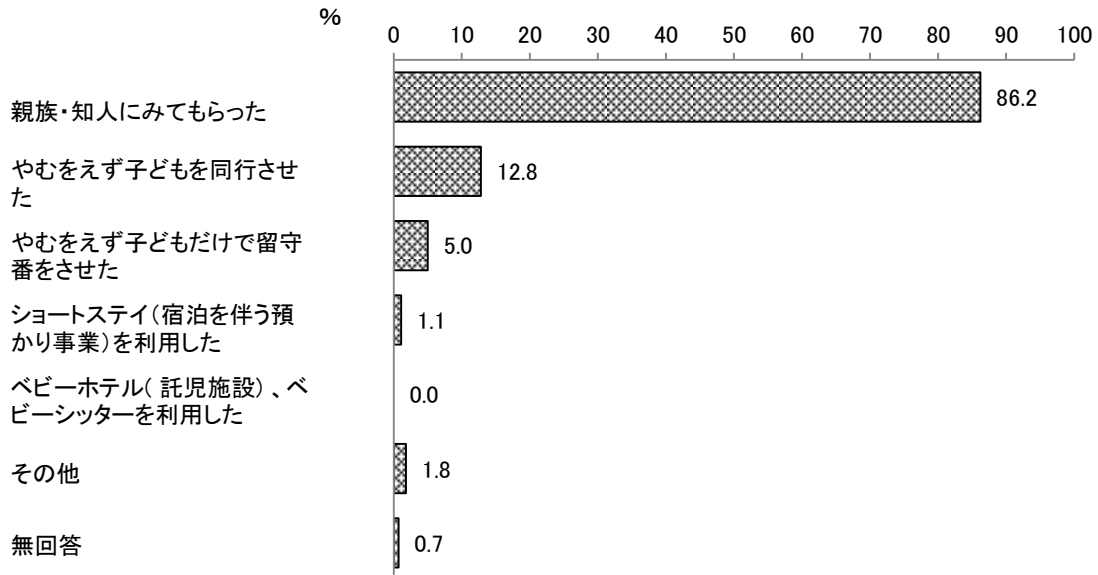
この1年間に宿泊を伴って子どもを預けた経験の有無は、「あった」が9.7%、「なかった」が87.0%となっている。（図表5-4）

(2-1) 宿泊を伴って子どもを預けた際の行動

(問12で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。)

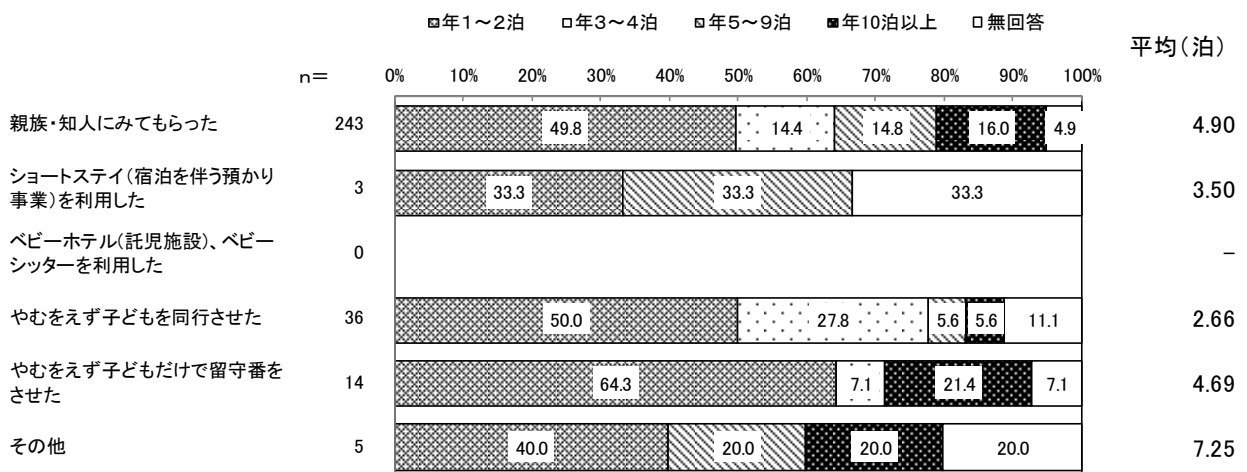
問12-1 その際にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。

図表5-5



宿泊を伴って子どもを預けた際の行動は、「親族・知人にみてもらった」が86.2%で最も高く、次いで「やむをえず子どもを同行させた」が12.8%となっている。(図表5-5)

図表5-6 子どもを預けた日数(泊)



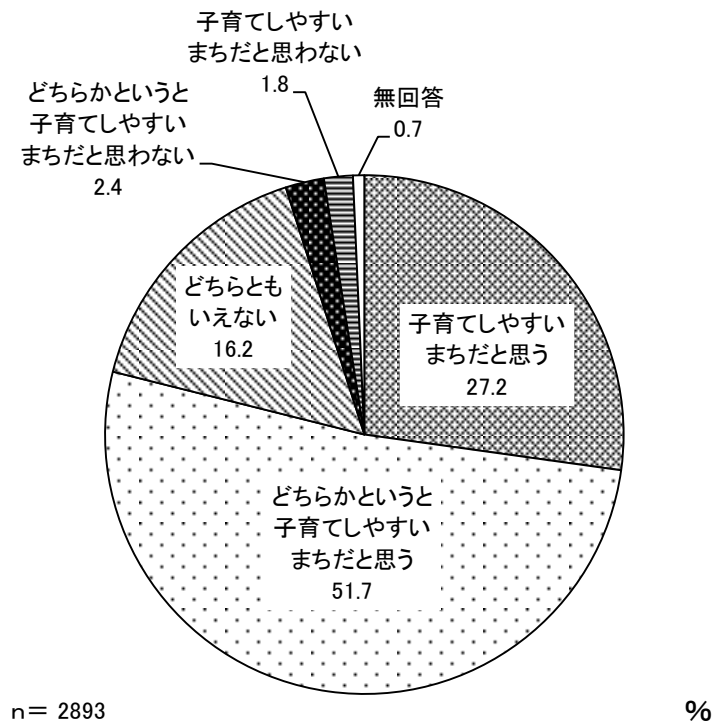
子どもを預けた日数は、「年1~2泊」が「やむをえず子どもだけで留守番をさせた」で64.3%、「やむをえず子どもを同行させた」で50.0%、「親族・知人にみてもらった」で49.8%と高くなっている。(図表5-6)

6. 杉並区の子育てについて

(1) 杉並区の子育てのしやすさ

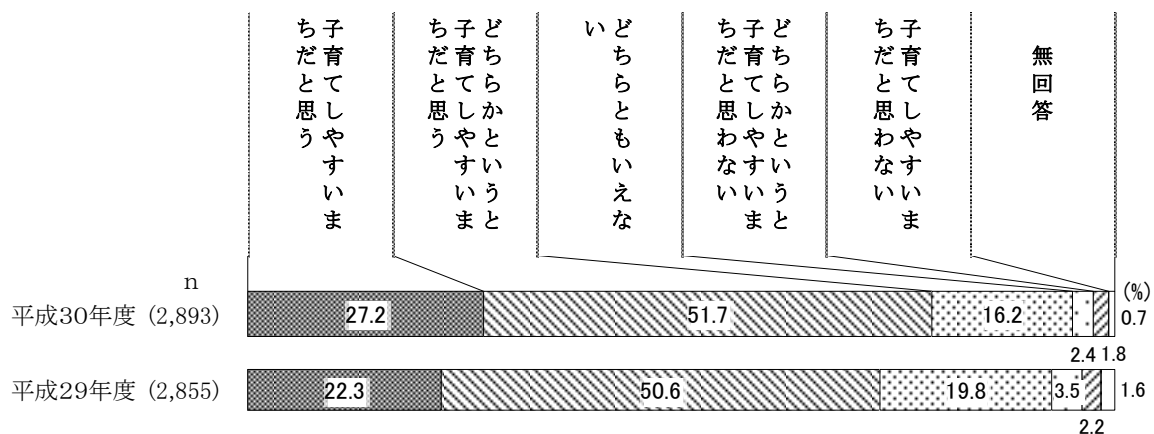
問 13 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表 6-1



杉並区の子育てのしやすさは、「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」が51.7%で最も高く、次いで「子育てしやすいまちだと思う」が27.2%となっており、「子育てしやすいまちだと思う」と「どちらかという子育てしやすいまちだと思う」をあわせた『子育てしやすいまちだと思う(計)』は78.9%となっている。(図表6-1)

図表 6-2 杉並区の子育てのしやすさ (経年比較)

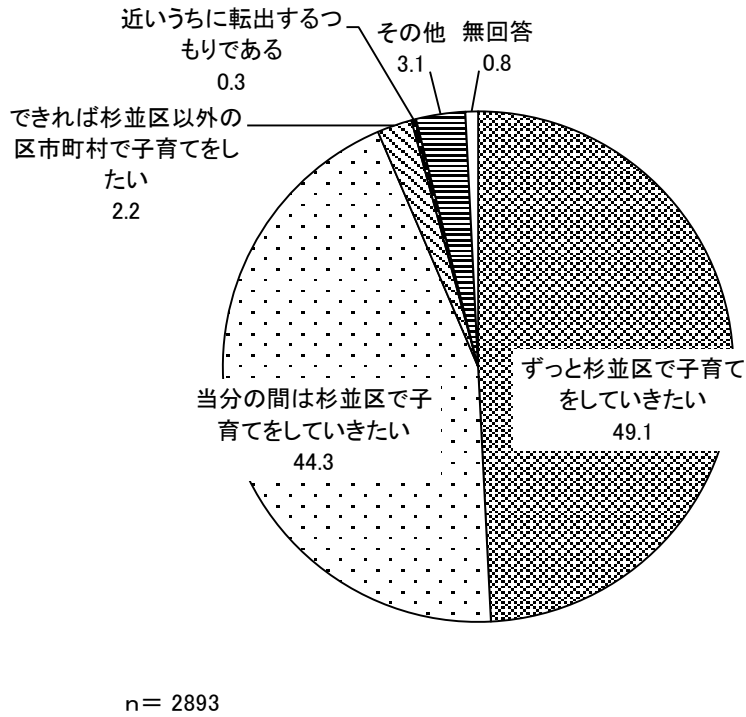


前回調査(平成29年度)と比較すると、『子育てしやすいまちだと思う(計)』は6.0ポイント増加している。(図表6-2)

(2) 杉並区での子育ての継続意向

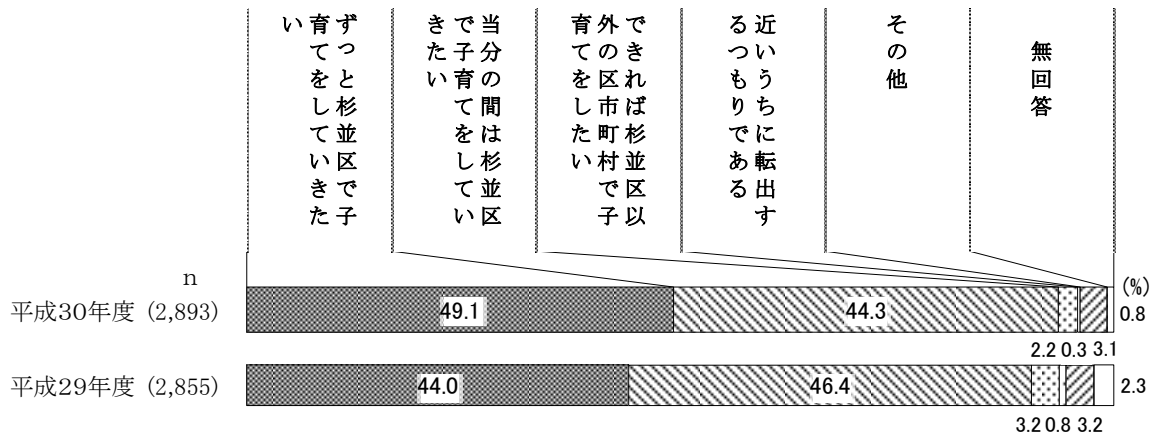
問 14 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

図表 6-3



杉並区の子育ての継続意向は、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」が49.1%で最も高く、次いで「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」が44.3%となっており、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」と「当分の間は杉並区で子育てをしていきたい」をあわせた『杉並区で子育てをしていきたい (計)』は93.4%となっている。(図表6-3)

図表 6-4 杉並区での子育ての継続意向 (経年比較)



前回調査(平成29年度)と比較すると、「ずっと杉並区で子育てをしていきたい」は5.1ポイント増加している。(図表6-4)

(3) 杉並区の子育て環境や支援に関する意見

問 15 すべての方に伺います。最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

杉並区の子育て環境や支援に関する意見を自由に記述していただいたところ、1,376人から1,713件の回答が寄せられた。以下に主なものを抜粋して掲載する。

1 学童クラブに関するご意見

○不足・拡充に関すること (78件)

- ・ 保育園の充実は大変熱心に行われているが、卒園後の学童クラブの拡大が不十分。
- ・ 3年生までは確実に入会できるよう希望する。
- ・ 可能なら小学1年生から6年生まで、希望する全員が利用出来るとありがたい。

○運営に関すること (41件)

- ・ 毎日通うとなるとマンネリで、つまらない。
- ・ 学童が混み過ぎている。

○運営時間に関すること (32件)

- ・ 学童クラブの利用時間が長くなることは、とても助かる。
- ・ 延長の利用時間が19時までになるのは助かるが、保育園の延長のように19時半までになるとありがたい。

○長期休業中やスポット利用に関すること (27件)

- ・ 学校が長期休暇の際、パートで働いている場合でも学童クラブで預かってほしい。
- ・ 学級閉鎖や学校休業日など、学童クラブでのスポット預かりがあると大変助かる。

○小学校内設置に関すること (22件)

- ・ 小学校内に設置してほしい。学校から学童クラブまでの距離があり、不安である。

2 放課後等居場所事業に関するご意見

○実施に関すること (103件)

- ・ 放課後等居場所事業は、実施している小学校が少ないので、どの学校でも実施されると、親・子それぞれに学びや時間の有効活用の選択肢が広がってよい。

○実施回数等に関するご意見 (7件)

- ・ 居場所事業が月1回程度しかないので、週1回くらいのペースであれば、助かる。
- ・ パートの就労に大変役立っており、夏休み中は助かっている。冬休み・春休みも実施してほしい。

3 児童館に関するご意見

○運営に関すること（43件）

- ・仕事のため、日・祝日の児童館を利用させたいが、大人が一緒でないと利用できないので、改善してほしい。
- ・小学校の振替休日（月曜）が児童館の休館日と重なるので、児童館の休館日を違う曜日にしてほしい。小学校の長期休業のとき、昼時間、児童館に残れるようにしてほしい。

○廃止に関すること（37件）

- ・児童館の廃止は非常に残念。悪天候でも、徒歩で行ける身近さが大切。

4 障害等がある児童への支援に関するご意見（65件）

- ・グレーゾーンにいる子どもや、心配事を抱える保護者が気軽に相談できる窓口が少ない。
- ・発達障害の子の居場所がないことに困っている。習い事や放課後等デイサービスも空きがない。送迎も必要で、親が体調不良の時など困る。

5 一時預かりに関するご意見

○不足等に関すること（36件）

- ・保護者会のときなど、低学年は一人で留守番させることが不安なので、一時預かりがあると助かる。

○日時に関すること（5件）

- ・土、日に出勤しなければならない場合や、夜遅くまで仕事がある場合の預け先がない。

6 公園整備等に関するご意見

○遊具や遊びに関すること（89件）

- ・公園があっても子ども用の遊具が少ない。ボールやバット禁止の公園が多いので、使える公園を増やしてほしい。

○不足等に関すること（11件）

- ・公園が少なく、狭い。

第 4 章 調査票

杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査

【就学前児用】

調査へのご協力をお願い

日頃より、杉並区の子育て支援施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。さて、区では、国の子ども・子育て支援法に基づく「杉並区子ども・子育て支援事業計画」を策定し、幼稚園や保育施設のほか、乳幼児の一時預かりや学童クラブなど、地域のニーズに応じた総合的な子ども・子育て支援事業を実施しているところです。

この度、第二期となる同計画（平成32～36年度（2020～2024年度））の策定等に資するため、「杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査」を実施することといたしました。

調査票は、区内にお住まいの0歳から5歳までのお子さんを無作為に選び、その保護者の方にご記入いただくよう、お送りしています。なお、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、個々の内容やプライバシーに関する内容を公表したり、他の目的に利用することは一切ありません。

お忙しい中ご負担をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成31年1月

杉並区長

田 中 良

～ご記入にあたってのお願い～

- 1 この調査は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 2 特にことわり書きがない設問は、封筒の宛名のお子さんについてお答えください。また、親族の続柄の記載がある設問は、封筒の宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
- 3 選択肢に番号がある設問は、該当の番号に○印を付けてください。○印の数は「1つに○を」「すべてに○を」と表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選択された場合は、（ ）内にその内容をご記入ください。
- 4 □がある欄には、設問の答えとなる数字をご記入ください。なお、時間（時刻）を記入いただく欄は、24時間制（例：午後6時は18時）でご記入ください。
- 5 同封の「『施設』『事業』のあらまし」に、施設や事業の説明が書かれていますので、調査回答前にお読みくださいますよう、お願いいたします。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**1月28日(月)**までに
ご投函ください。(切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません。)
※平成31年1月31日(木)到着分までが、集計結果に反映されます。

【問い合わせ先】

杉並区保健福祉部 子育て支援課 計画推進担当 電話 03-3312-2111 (代表)
(内線1398)

はじめに封筒の宛名のお子さんをご家族についてうかがいます

問1 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。

平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生まれ
----	----------------------	---	----------------------	------

問2 宛名のお子さんのご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。

ご家族とは、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

1 母親	2 父親
3 兄・姉 → () 人	4 弟・妹 → () 人
5 母方の祖母	6 母方の祖父
7 父方の祖母	8 父方の祖父
9 母親または父親の兄弟・姉妹 → () 人	10 その他 → () 人

※お子さんの兄弟・姉妹の人数には、宛名のお子さんを含みません。

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する口内に丁目を数字で記入してください。

1 阿佐谷北 <input type="text"/> 丁目	2 阿佐谷南 <input type="text"/> 丁目	3 天 沼 <input type="text"/> 丁目
4 井 草 <input type="text"/> 丁目	5 和 泉 <input type="text"/> 丁目	6 今 川 <input type="text"/> 丁目
7 梅 里 <input type="text"/> 丁目	8 永 福 <input type="text"/> 丁目	9 大 宮 <input type="text"/> 丁目
10 荻 窪 <input type="text"/> 丁目	11 上 井 草 <input type="text"/> 丁目	12 上 荻 <input type="text"/> 丁目
13 上高井戸 <input type="text"/> 丁目	14 久我山 <input type="text"/> 丁目	15 高円寺北 <input type="text"/> 丁目
16 高円寺南 <input type="text"/> 丁目	17 清 水 <input type="text"/> 丁目	18 下 井 草 <input type="text"/> 丁目
19 下高井戸 <input type="text"/> 丁目	20 松 庵 <input type="text"/> 丁目	21 善福寺 <input type="text"/> 丁目
22 高井戸西 <input type="text"/> 丁目	23 高井戸東 <input type="text"/> 丁目	24 成 田 西 <input type="text"/> 丁目
25 成 田 東 <input type="text"/> 丁目	26 西 荻 北 <input type="text"/> 丁目	27 西 荻 南 <input type="text"/> 丁目
28 浜 田 山 <input type="text"/> 丁目	29 方 南 <input type="text"/> 丁目	30 堀ノ内 <input type="text"/> 丁目
31 本天沼 <input type="text"/> 丁目	32 松ノ木 <input type="text"/> 丁目	33 南荻窪 <input type="text"/> 丁目
34 宮 前 <input type="text"/> 丁目	35 桃 井 <input type="text"/> 丁目	36 和 田 <input type="text"/> 丁目

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 母親	2 父親	3 その他 ()
------	------	-----------

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。

「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

母 親	父 親
1 一緒に住んでいる	1 一緒に住んでいる
2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる	2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる
3 別居している	3 別居している
4 死亡、離婚、未婚などでいない	4 死亡、離婚、未婚などでいない

子育ての環境についてうかがいます

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 父母ともに	2 主に母親	3 主に父親
4 主に祖父母	5 その他 ()	

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 ある/あった	2 ない/なかった ⇒問8へ
----------	----------------

問7で、「1 ある/あった」に○をつけた方にうかがいます。

問7-1 宛名のお子さんの子育てをする上での悩みなどについて、相談できる人はいましたか。または、相談できる場所がありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 いた/あった ⇒問7-2へ	2 いなかった/なかった ⇒問8へ
-----------------	-------------------

保護者の就労状況についてうかがいます

宛名のお子さんの保護者の現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。ひとり親家庭の場合は、該当する保護者の欄にご記入ください。

ここで言う「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。
「パート・アルバイト等」とはフルタイム以外の就労をさします。

問8 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ ○をつけてください。

就労状況	母親	父親
(1) フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
(2) フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	2	2
(3) パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
(4) パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	4	4
(5) 就労していないまたは求職中である	5	5

問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間（残業時間を含む）などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
時間は(例) 8～18時のように24時間制でご記入ください。

就労状況	母親	父親
平均的な仕事の 日数、時間	1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	1週当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 日 1日当たり <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時間 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
就労している曜日に ○をつけてください	月 火 水 木 金 土 日 不定期	月 火 水 木 金 土 日 不定期
出勤・帰宅の時刻	出勤時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	出勤時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 帰宅時刻 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分
在宅勤務の方は 仕事開始・終了時刻	仕事開始 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 終了 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分	仕事開始 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分 終了 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 時 <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> 分

宛名のお子さんの保育園・幼稚園等の利用状況についてうかがいます

問9 宛名のお子さんは現在、保育園や幼稚園など問9-1に示した施設・事業を、定期的に利用されていますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

※「定期的」とは、月単位で継続して利用されている場合をさします。

1 利用している ⇒問9-1、2、3へ

2 利用していない ⇒問9-4へ

問9で、「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 宛名のお子さんは、どのような施設・事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業すべてに○をつけてください。12、14 以外は施設の名称等もお書きください。

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

- | | | |
|------------------------------------|-------------------|---|
| 1 認可保育所 | → (施設名 |) |
| 2 小規模保育事業所 | → (施設名 |) |
| 3 家庭的保育事業所 | → (施設名 |) |
| 4 事業所内保育事業所 | → (施設名 |) |
| 5 居宅訪問型保育事業 | → (施設名 |) |
| 6 認証保育所 | → (施設名 |) |
| 7 杉並区保育室 | → (施設名 |) |
| 8 グループ保育室 | → (施設名 |) |
| 9 家庭福祉員 (保育ママ)、家庭福祉グループ | → (福祉員の氏名またはグループ名 |) |
| 10 定期利用保育事業 | → (施設名 |) |
| 11 企業主導型保育事業 | → (施設名 |) |
| 12 ベビーシッター | | |
| 13 その他の認可外の保育施設 (ベビーホテル等) | → (施設名 |) |
| 14 ファミリー・サポート・センター | | |
| 15 幼稚園 | → (施設名 |) |
| 16 幼稚園の長時間預かり保育 (教育時間を含め8時間以上の預かり) | → (施設名 |) |
| 17 区立子供園 (短時間保育) | → (施設名 |) |
| 18 区立子供園 (長時間保育) | → (施設名 |) |
| 19 認定こども園 | → (施設名 |) |
| 20 その他 (| |) |

問9で、「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問9-2 問9-1で○をつけた施設・事業について、どのくらい利用していますか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間 (何時から何時まで) かを、□に数字 (24時間制) でご記入ください。複数の施設・事業を利用している場合は、それらを合計した時間をご記入ください。

1週当たり □ □ 日 1日当たり □ □ 時間 (□ □ 時～ □ □ 時)

問9で、「1 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問9-3 延長保育を利用していますか。当てはまるものに○をつけてください。月極めの場合は口内に1か月当たり何日利用するか記入してください。

1 利用している	(月極め	1か月当たり	<input type="text"/>	日)
2 利用している	(不定期)			
3 利用していない				

問9で、「2 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問9-4 利用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1 母親または父親がみている
2 子どもの祖父母や親族の人がみている
3 近所の人や父母の友人・知人がみている
4 利用したいが、施設や事業に空きがない
5 利用したいが、経済的な理由で施設・事業を利用できない
6 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる施設・事業がない
8 利用したいが、子ども本人の病気や障害のため利用できない
9 利用したいが、利用資格がない(就労していないなど)
10 その他 (<input type="text"/>)

宛名のお子さんの一時預かり等の利用についてうかがいます

問10 宛名のお子さんについて、保護者の私用(買い物、リフレッシュ等)、通院、不規則の就労等の目的で、不規則に利用している預かり事業はありますか。ある場合は、当てはまるものすべてに○をつけ、今年度(平成30年4月1日~12月31日)に利用したおおよその日数を口内に数字でご記入ください。

不規則に利用している預かり事業	日 数
1 保育園の一時保育やひととき保育、子ども・子育てプラザの一時預かり	<input type="text"/> 日
2 幼稚園・子供の園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業で長時間預かり保育の定期利用を除くもの)	<input type="text"/> 日
3 区立保育園の緊急一時保育(保護者の病気や出産などで一時的に預かる制度)	<input type="text"/> 日
4 ファミリー・サポート・センター	<input type="text"/> 日
5 ベビーシッター	<input type="text"/> 日
6 その他 (<input type="text"/>)	<input type="text"/> 日
7 利用していない ⇒問10-3へ	

問10で、1～6までのいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問10-1 利用する際の理由で当てはまる番号にすべてに○をつけ、今年度（平成30年4月1日～12月31日）のおおよその利用日数をご記入ください。

目 的	日 数
1 私用（買物、習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> 日
2 冠婚葬祭、学校行事、一時的な通院等	<input type="text"/> 日
3 定期的な通院や療育など	<input type="text"/> 日
4 不定期の就労	<input type="text"/> 日
5 保護者が出産または病気で入院した	<input type="text"/> 日
6 親族が入院したため、保護者が看護にあたった	<input type="text"/> 日
7 幼稚園・子供園の長期休暇期間中	<input type="text"/> 日
8 その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> 日

問10で1～3までのいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問10-2 利用した施設・事業の実施場所（町名）すべてに○をつけ、該当する口内に丁目を数字で記入してください。

1 阿佐谷北 <input type="text"/> 丁目	2 阿佐谷南 <input type="text"/> 丁目	3 天 沼 <input type="text"/> 丁目
4 井 草 <input type="text"/> 丁目	5 和 泉 <input type="text"/> 丁目	6 今 川 <input type="text"/> 丁目
7 梅 里 <input type="text"/> 丁目	8 永 福 <input type="text"/> 丁目	9 大 宮 <input type="text"/> 丁目
10 荻 窪 <input type="text"/> 丁目	11 上井草 <input type="text"/> 丁目	12 上 荻 <input type="text"/> 丁目
13 上高井戸 <input type="text"/> 丁目	14 久我山 <input type="text"/> 丁目	15 高円寺北 <input type="text"/> 丁目
16 高円寺南 <input type="text"/> 丁目	17 清 水 <input type="text"/> 丁目	18 下井草 <input type="text"/> 丁目
19 下高井戸 <input type="text"/> 丁目	20 松 庵 <input type="text"/> 丁目	21 善福寺 <input type="text"/> 丁目
22 高井戸西 <input type="text"/> 丁目	23 高井戸東 <input type="text"/> 丁目	24 成 田 西 <input type="text"/> 丁目
25 成 田 東 <input type="text"/> 丁目	26 西 荻 北 <input type="text"/> 丁目	27 西 荻 南 <input type="text"/> 丁目
28 浜 田 山 <input type="text"/> 丁目	29 方 南 <input type="text"/> 丁目	30 堀ノ内 <input type="text"/> 丁目
31 本天沼 <input type="text"/> 丁目	32 松ノ木 <input type="text"/> 丁目	33 南荻窪 <input type="text"/> 丁目
34 宮 前 <input type="text"/> 丁目	35 桃 井 <input type="text"/> 丁目	36 和 田 <input type="text"/> 丁目
37 杉並区以外		

問10で「7 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問10-3 利用していない理由は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 利用する必要がない
- 2 利用したいが、施設や事業に空きがない
- 3 利用したいが、経済的な理由で施設・事業を利用できない
- 4 利用したいが、夜間等の時間帯や休日などの条件が合わない
- 5 利用したいが、近くに利用できる施設・事業がない
- 6 利用したいが、子ども本人の病気や障害のため利用できない
- 7 その他 ()

問11 今年度（平成30年4月1日～12月31日）に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 あった

2 なかった ⇒問12へ

問11で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

問11-1 その際にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

行 動	日 数
1 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
2 ショートステイ（宿泊を伴う預かり事業）を利用した	<input type="text"/> 泊
3 ベビーホテル（託児施設）、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 泊
4 やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
5 やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
6 その他 ()	<input type="text"/> 泊

問11で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

問11-2 泊りがけで家族以外にみてもらわなければならない理由についてうかがいます。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | | |
|----------|-----------|
| 1 育児疲れ | 2 冠婚葬祭 |
| 3 保護者の病気 | 4 家族の看護 |
| 5 家族の入院 | 6 その他 () |

宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます
(定期的に保育園・幼稚園等を利用する方のみ)

問9で、「利用している」に○をつけた方(定期的に施設・事業を利用していると答えた方)にうかがいます。利用していらない方は、問13へお進みください。

問12 今年度(平成30年4月1日~12月31日)で、宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している施設・事業が利用できなかったことはありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 あった

2 なかった ⇒問13へ

問12で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかった場合に、今年度(平成30年4月1日~12月31日)にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください(半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください)。

対処方法	日 数
1 父親が仕事を休んだ	□ 日
2 母親が仕事を休んだ	□ 日
3 父親または母親のうち就労していない方が子どもを見た	□ 日
4 (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□ 日
5 病児・病後児の保育を利用した	□ 日
6 ベビーシッターを利用した	□ 日
7 ファミリー・サポート・センターを利用した	□ 日
8 やむをえず子どもだけで留守番をさせた	□ 日
9 その他 ()	□ 日

問12-1で、「5」以外のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問12-2 お子さんが病気やけがで普段利用している施設・事業が利用できなかった際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

(病児・病後児保育とは、一時的な病気等で通常の施設等が利用できない場合に、お子さんを預かる事業です。事前に登録が必要で、当日医師が利用の判断をします。1日2,500円かかります。)

1 できれば病児・病後児保育施設等を利用したいと思った ⇒問13へ

2 利用したいとは思わなかった ⇒問12-3へ

問12-2で、「2 利用したいとは思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問12-3 そう思われる理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 病気の子を他人にみてもらうのは不安だから
- 2 利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくないから
- 3 利用料がかかる・高いから
- 4 親が仕事を休んで対応できるから
- 5 その他（）

宛名のお子さんの地域での親子の集まりの利用状況についてうかがいます

問13 宛名のお子さんは、現在、親子が集まって過ごす、以下の施設・事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を□内に数字でご記入ください。

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

1 つどいの広場
 ↳ 1週当たり 回程度 もしくは 1か月当たり 回程度

2 児童館のゆうキッズ
 ↳ 1週当たり 回程度 もしくは 1か月当たり 回程度

3 子ども・子育てプラザ
 ↳ 1週当たり 回程度 もしくは 1か月当たり 回程度

4 きずなサロン
 ↳ 1週当たり 回程度 もしくは 1か月当たり 回程度

5 その他の親子の集まりの場（具体名：）
 ↳ 1週当たり 回程度 もしくは 1か月当たり 回程度

6 利用していない

→ 問13で、「1～5」に○をつけた方にうかがいます。

問13-1 問13で回答した施設・事業を利用した際に、それらを利用する上で大事だと思った点はどのようなことですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

- 1 自宅に近い
- 2 子どもを遊ばせるプログラムがある
- 3 保護者も楽しめるプログラムがある
- 4 知り合いがいる
- 5 利用者同士がゆっくり話したり過ごすことができる
- 6 子育ての情報がたくさんある
- 7 保育士・保健師・助産師などによる専門的な相談ができる
- 8 気軽に育児の相談ができる
- 9 料金が安い
- 10 子育て応援券が使える
- 11 その他（）

杉並区の子育て支援等についてうかがいます

問14 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに〇をつけてください。

- 1 子育てしやすいまちだと思う
- 2 どちらかという子育てしやすいまちだと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかという子育てしやすいまちだと思わない
- 5 子育てしやすいまちだと思わない

問15 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに〇をつけてください。

- 1 ずっと杉並区で子育てをしていきたい
- 2 当分の間は杉並区で子育てをしていきたい
- 3 できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい
- 4 近いうちに転出するつもりである
- 5 その他 ()

問16 すべての方に伺います。最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、**1月28日(月)まで**にご投函ください。

※平成31年1月31日(木)到着分までが、集計結果に反映されます。

杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査

【小学生用】

調査へのご協力をお願い

日頃より、杉並区の子育て支援施策にご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。
さて、区では、国の子ども・子育て支援法に基づく「杉並区子ども・子育て支援事業計画」を策定し、幼稚園や保育施設のほか、乳幼児の一時預かりや学童クラブなど、地域のニーズに応じた総合的な子ども・子育て支援事業を実施しているところです。

この度、第二期となる同計画（平成32～36年度（2020～2024年度））の策定等に資するため、「杉並区子ども・子育て支援事業の利用状況等に関する調査」を実施することといたしました。

調査票は、区内にお住まいの小学生のお子さんをお無作為に選び、その保護者の方にご記入いただくよう、お送りしています。なお、ご回答いただいた内容は、すべて統計的に処理し、個々の内容やプライバシーに関する内容を公表したり、他の目的に利用することは一切ありません。

お忙しい中ご負担をおかけいたしますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます

平成31年1月

杉並区長 田中良

～ご記入にあたってのお願い～

- 1 この調査は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
- 2 特にことわり書きがない設問は、封筒の宛名のお子さんについてお答えください。また、親族の続柄の記載がある設問は、封筒の宛名のお子さんからみた関係でお答えください。
- 3 選択肢に番号がある設問は、該当の番号に○印を付けてください。○印の数は「1つに○を」「すべてに○を」と表示していますので、それに合わせてください。また、「その他」を選択された場合は、() 内にその内容をご記入ください。
- 4 □がある欄には、設問の答えとなる数字をご記入ください。なお、時間（時刻）を記入いただく欄は、24時間制（例：午後6時は18時）でご記入ください。
- 5 同封の『施設』『事業』のあらましに、施設や事業の説明が書かれていますので、調査回答前にお読みくださいますよう、お願いいたします。

ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**1月28日(月)**までにご投函ください。(切手を貼らずにお出しください。住所・氏名を記入する必要はありません。)
※平成31年1月31日(木)到着分までが、集計結果に反映されます。

【問い合わせ先】

杉並区保健福祉部 子育て支援課 計画推進担当 電話 03-3312-2111 (代表)
(内線1398)

はじめに封筒の宛名のお子さんをご家族についてうかがいます

問1 宛名のお子さんの生年月、学年をご記入ください。

平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月生まれ	小学	<input type="text"/>	年生
----	----------------------	---	----------------------	------	----	----------------------	----

問2 宛名のお子さんのご家族について、当てはまる方すべてに○をつけてください。

ご家族とは、ふだんひとつの住居で生活している方を指します。

※宛名のお子さんの母親と父親とのご関係は、配偶関係、パートナー、内縁関係の方などを含みます。

※単身赴任・入院・入所の方を含め、家計を一緒にしたり、定期的に帰宅する方は家族に含めてください。

1 母親	2 父親
3 兄・姉 → () 人	4 弟・妹 → () 人
5 母方の祖母	6 母方の祖父
7 父方の祖母	8 父方の祖父
9 母親または父親の兄弟・姉妹 → () 人	10 その他 → () 人

※お子さんの兄弟・姉妹の人数には、宛名のお子さんを含みません。

問3 お住まいの町名をおうかがいします。当てはまるもの1つに○をつけ、該当する口内に丁目を数字で記入してください。

1 阿佐谷北 <input type="text"/> 丁目	2 阿佐谷南 <input type="text"/> 丁目	3 天 沼 <input type="text"/> 丁目
4 井 草 <input type="text"/> 丁目	5 和 泉 <input type="text"/> 丁目	6 今 川 <input type="text"/> 丁目
7 梅 里 <input type="text"/> 丁目	8 永 福 <input type="text"/> 丁目	9 大 宮 <input type="text"/> 丁目
10 荻 窪 <input type="text"/> 丁目	11 上 井 草 <input type="text"/> 丁目	12 上 荻 <input type="text"/> 丁目
13 上高井戸 <input type="text"/> 丁目	14 久我山 <input type="text"/> 丁目	15 高円寺北 <input type="text"/> 丁目
16 高円寺南 <input type="text"/> 丁目	17 清 水 <input type="text"/> 丁目	18 下 井 草 <input type="text"/> 丁目
19 下高井戸 <input type="text"/> 丁目	20 松 庵 <input type="text"/> 丁目	21 善福寺 <input type="text"/> 丁目
22 高井戸西 <input type="text"/> 丁目	23 高井戸東 <input type="text"/> 丁目	24 成 田 西 <input type="text"/> 丁目
25 成 田 東 <input type="text"/> 丁目	26 西 荻 北 <input type="text"/> 丁目	27 西 荻 南 <input type="text"/> 丁目
28 浜 田 山 <input type="text"/> 丁目	29 方 南 <input type="text"/> 丁目	30 堀ノ内 <input type="text"/> 丁目
31 本天沼 <input type="text"/> 丁目	32 松ノ木 <input type="text"/> 丁目	33 南荻窪 <input type="text"/> 丁目
34 宮 前 <input type="text"/> 丁目	35 桃 井 <input type="text"/> 丁目	36 和 田 <input type="text"/> 丁目

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 母親	2 父親	3 その他 ()
------	------	-----------

問5 宛名のお子さんの保護者の状況についてうかがいます。

「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ○をつけてください。

母 親	父 親
1 一緒に住んでいる	1 一緒に住んでいる
2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる	2 単身赴任や入院などで一時的に別に住んでいる
3 別居している	3 別居している
4 死亡、離婚、未婚などでいない	4 死亡、離婚、未婚などでいない

子育ての環境についてうかがいます

問6 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 父母ともに	2 主に母親	3 主に父親
4 主に祖父母	5 その他 ()	

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、心配や悩みがありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 ある/あった	2 ない/なかった ⇒問8へ
----------	----------------

問7で、「1 ある/あった」に○をつけた方うかがいます。

問7-1 宛名のお子さんの子育てをする上での悩みなどについて、相談できる人はいましたか。または、相談できる場所がありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 いた/あった ⇒問7-2へ	2 いなかった/なかった ⇒問8へ
-----------------	-------------------

問7-1で、「1 いた/あった」に○をつけた方にうかがいます。

問7-2 今年度（平成30年4月1日～12月31日）に、お子さんの子育てに関して相談した先は誰（どこ）ですか。当てはまるものすべてに○をつけて、[]内に相談した内容を右ページの表から選んで、番号（複数可）を記入してください。

1	配偶者	[]
2	祖父母等の親族	[]
3	友人・子育て仲間	[]
4	職場の先輩・上司	[]
5	近所の人	[]
6	学校の先生	[]
7	スクールカウンセラー	[]
8	スクールソーシャルワーカー	[]
9	保育園の先生	[]
10	幼稚園の先生	[]
11	児童館・学童クラブの職員	[]
12	民生・児童委員	[]
13	保健所・保健センターの職員	[]
14	子どもセンターの職員	[]
15	子ども・子育てプラザの職員	[]
16	子ども家庭支援センターの職員	[]
17	かかりつけの医師	[]
18	地域の乳幼児の交流の場 (つどいの広場など) の職員	[]
19	塾や習い事の先生	[]
20	区や東京都などの公的相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	[]
21	民間の相談機関 (電話相談・メール相談を含む)	[]
22	その他 ()	[]

【相談した内容】

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| 1 子どもの健康や成長のこと | 2 子どもの食事や生活習慣のこと |
| 3 子どものしつけや接し方のこと | 4 子どものいじめや友達関係のこと |
| 5 子どもの病気や障害のこと | 6 子どもの勉強や進学のこと |
| 7 子どもの性格や癖に関すること | 8 子どもの性に関すること |
| 9 子どもの暴力や非行のこと | 10 子どもが学校に行くのを嫌がること |
| 11 子育てに自信が持てないこと | 12 養育費や教育費など経済的なこと |
| 13 仕事との両立が負担に感じること | 14 家事や介護などとの両立が負担に感じること |
| 15 地域や社会から孤立していると感じること | 16 回答者自身や家族の健康に関すること |
| 17 相談できる人がいない、相談先がわからないこと | 18 子どもにイライラしたり子育てを負担に感じること |
| 19 その他 () | |

保護者の就労状況についてうかがいます

宛名のお子さんの保護者の現在の就労（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。ひとり親家庭の場合は、該当する保護者の欄にご記入ください。

ここで言う「フルタイム」とは1週間に5日・1日8時間程度の仕事をさします。
「パート・アルバイト等」とはフルタイム以外の就労をさします。

問8 当てはまる就労状況を、「母親」「父親」それぞれについて、当てはまるものにそれぞれ1つずつ ○をつけてください。

就労状況	母親	父親
(1)フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1	1
(2)フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	2	2
(3)パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	3	3
(4)パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	4	4
(5)就労していないまたは求職中である	5	5

問8の「母親」「父親」のいずれかの欄で、「フルタイムまたはパート・アルバイト等で就労している」に○をつけた方にうかがいます。

問8-1 1週あたりの就労日数・就労時間（残業時間を含む）などをお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

時間は(例) 8～18時のように24時間制でご記入ください。

就労状況	母 親	父 親
平均的な仕事の 日数、時間	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間 <input type="text"/> 分
就労している曜日に ○をつけてください	月 火 水 木 金 土 日 不定期	月 火 水 木 金 土 日 不定期
出勤・帰宅の時刻	出勤時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	出勤時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 帰宅時刻 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
在宅勤務の方は 仕事開始・終了時刻	仕事開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分	仕事開始 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 終了 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分

お子さんの放課後の過ごし方についておうかがいします

問9 宛名のお子さんは現在、放課後（平日の小学校終了後）をどのように（どこで）過ごしていますか。当てはまる過ごし方にすべて○をつけるとともに、週当たりの日数を□内にご記入ください。（合計が5日になるようにご記入ください。）

また、「学童クラブ」の場合には、利用している時間（24時間制）もご記入ください。

※施設・事業の詳しい説明は、同封した「『施設』『事業』のあらまし」をご覧ください。

放課後の過ごし方	週当たり日数 (合計5日間)
1 自宅で家族と過ごす（家族とのお出掛けを含む）	週 <input type="text"/> 日くらい
2 自宅で一人で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
3 祖父母宅や友人・知人宅で過ごす	週 <input type="text"/> 日くらい
4 習い事や塾（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週 <input type="text"/> 日くらい
5 児童館（学童クラブを除く）	週 <input type="text"/> 日くらい
6 放課後等居場所事業	週 <input type="text"/> 日くらい
7 学童クラブ	週 <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
8 小学校校庭開放、放課後子ども教室	週 <input type="text"/> 日くらい
9 ファミリー・サポート・センター	週 <input type="text"/> 日くらい
10 放課後等デイサービス	週 <input type="text"/> 日くらい
11 その他（公園など）	週 <input type="text"/> 日くらい

問9で、「7 学童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。

問9-1 夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に学童クラブを利用していますか。利用している場合は、1週当たり何日及び1日当たり何時間（何時から何時まで）かを、□に数字（24時間制）でご記入ください。

1 利用している	1週当たり <input type="text"/> 日 1日当たり <input type="text"/> 時間 （ <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時）
2 利用していない	

問9で、「7 学童クラブ」に○をつけなかった方にうかがいます。

該当しない方は、問11へお進みください。

問10 学童クラブを利用していない（利用しない）理由について、当てはまるものすべてに○をつけてください。

- | |
|--|
| 1 学童クラブの要件に該当しないから（要件については「『施設』『事業』のあらまし」参照） |
| 2 学童クラブの要件に該当するが、民間の学童クラブなどを利用しているから |
| 3 学童クラブの要件に該当するが、放課後等居場所事業や児童館直接来館制度などを利用しているから |
| 4 学童クラブの要件に該当するが、習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）をしているから |
| 5 学童クラブの要件に該当するが、空きがないから |
| 6 学童クラブの要件に該当するが、経済的な理由で利用できないから |
| 7 学童クラブの要件に該当するが、時間帯などの条件が合わないから |
| 8 学童クラブの要件に該当するが、事業の質や場所など、納得できる学童クラブがないから |
| 9 学童クラブの要件に該当するが、子ども本人の病気や障害のため利用できないから |
| 10 その他（ ） |

宛名のお子さんの一時預かり等の利用についておうかがいします

問11 宛名のお子さんについて、保護者の私用（買い物、リフレッシュ等）、通院、不定期の就労等の目的で、家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

1 あった

2 なかった ⇒問12へ

問11で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

問11-1 その際にとった行動で、当てはまるものすべてに○をつけ、今年度（平成30年4月1日～12月31日）の利用日数（おおよそ）も□内に数字でご記入ください。

行 動	日 数
1 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 日
2 ファミリー・サポート・センターを利用した	<input type="text"/> 日
3 ベビーホテル(託児施設)、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 日
4 やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/> 日
5 やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 日
6 その他（ ）	<input type="text"/> 日

問12 今年度（平成30年4月1日～12月31日）に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。

1 あった

2 なかった ⇒問13へ

問12で、「1 あった」に○をつけた方にうかがいます。

問12-1 その際にとった行動として当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数も□内に数字でご記入ください。

行 動	日 数
1 親族・知人にみてもらった	<input type="text"/> 泊
2 ショートステイ（宿泊を伴う預かり事業）を利用した	<input type="text"/> 泊
3 ベビーホテル(託児施設)、ベビーシッターを利用した	<input type="text"/> 泊
4 やむをえず子どもを同行させた	<input type="text"/> 泊
5 やむをえず子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> 泊
6 その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> 泊

杉並区の子育て支援等についてうかがいます

問13 杉並区は子育てしやすいまちだと思いますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 子育てしやすいまちだと思う
- 2 どちらかという子育てしやすいまちだと思う
- 3 どちらともいえない
- 4 どちらかという子育てしやすいまちだと思わない
- 5 子育てしやすいまちだと思わない

問14 今後も、杉並区で子育てをしていきたいと思いませんか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

- 1 ずっと杉並区で子育てをしていきたい
- 2 当分の間は杉並区で子育てをしていきたい
- 3 できれば杉並区以外の区市町村で子育てをしたい
- 4 近いうちに転出するつもりである
- 5 その他（）

問15 すべての方に伺います。最後に、杉並区の子育て環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上で終わりです。調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。

切手は貼らずに同封の封筒に入れ、1月28日(月)までにご投函ください。

※平成31年1月31日(木)到着分までが、集計結果に反映されます。

杉並区子ども・子育て支援事業の
利用状況等に関する調査

平成31年3月発行

登録印刷物番号

30-0125



杉並区

発行 杉並区 保健福祉部 子育て支援課
東京都杉並区阿佐谷南1-15-1
電話：03-3312-2111（代）

実施 株式会社サーベイリサーチセンター
東京都荒川区西日暮里2-40-10
電話：03-3802-6711

・この印刷物は、無線とじ製本したものです。
